

令和5年度

学校体育報告書

一児童生徒の体力向上を目指して一

令和6年3月

愛知県教育委員会

は じ め に

子供の体力や運動能力は、全国的に低下傾向にあり、その背景には、少子化の進展とテレビゲームやスマートフォンの普及など、子供を取り巻く環境の変化があります。特に小学生では、体を動かすのは体育の授業だけという子供が増えており、中長期的には、さらなる体力や運動能力の低下が危惧されます。

本県の今年度の体力・運動能力調査の結果によりますと、小・中・高等学校男女の全項目のうちの、半数程度で昨年度を上回ったものの、全国との差は依然として大きく、今後も適切な対策を講じていく必要があります。

今年度、県教育委員会では、中京大学の教授の協力を得て、令和4年度の新体力テストのデータを分析した結果、本県の児童生徒は、握力や上体起こしなどの筋力を測る項目が弱いことや、全力で体を動かす機会が不足していることがわかりました。また、本県では、「運動やスポーツが好き」、「運動が大切」、「体育の授業にいつも進んで参加している」と答えた割合が、小・中学生の男女ともに低く、これらの3つの項目は体力測定値が上位の県では高いことが明らかになりました。

こうした結果を踏まえ、来年度から「あいっ子・体力向上作戦」をキャッチフレーズとして、「タグラグビー」や「フラッグフットボール」などの、運動が苦手な児童生徒でも、楽しみながら思い切り体を動かすことができる種目を、体育授業に積極的に取り入れるよう奨励するとともに、児童生徒の主体性を伸ばす指導方法を学ぶ講習会などを実施してまいります。

本報告書では、体力・運動能力調査結果、特別支援学校の体力テスト結果だけでなく、体力づくり優良校において実践された体力向上への具体的な取組を紹介していますので、各校において、積極的に御活用いただきたいと思えます。

末尾となりましたが、本報告書の作成にあたり御協力いただきました各校の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

令和6年3月
愛知県教育委員会

目 次

I 児童生徒の体力・運動能力調査結果

1	調査の概要	2
2	集計の結果	
	握力・上体起こし	5
	長座体前屈・反復横とび	6
	20mシャトルラン・持久走	7
	50m走・立ち幅とび	8
	ボール投げ（ソフトボール・ハンドボール）	9
	令和5年度本県平均と令和4年度全国平均とのTスコアによる比較	10
3	平成16年度～令和5年度の体力テスト結果県平均の推移	14
4	10年前との比較	23
5	令和5年度本県と令和4年度全国との合計点平均値比較	25
6	結果のまとめ	26
	※資料 1 本県令和5年度と本県令和4年度の平均値比較	28
	2 本県令和5年度と全国令和4年度の平均値比較	28

II 特別支援学校児童生徒の体力テスト調査結果

1	調査の概要	30
2	集計の結果	32

III 体力づくり優良校実践報告

・	名古屋市立御器所小学校	37
・	名古屋市立前山小学校	39
・	日進市立香久山小学校	41
・	南知多町立内海小学校	43
・	豊田市立浄水小学校	45
・	新城市立東陽小学校	47
・	名古屋市立高針台中学校	49
・	江南市立宮田中学校	51
・	津島市立神守中学校	53
・	豊川市立一宮中学校	55
・	愛知県立春日井高等学校	57
・	愛知県立一宮西高等学校	59
・	愛知県立西尾高等学校	61

・ 愛知県立新城有教館高等学校	63
・ 愛知県立豊橋特別支援学校	65
・ 私立東邦高等学校	67
○ 体力づくり優良校一覧 （昭和53年度～令和5年度）	69
○ 学校体育研究委嘱校の研究主題一覧 （小・中学校 昭和33年度～平成30年度）	74
（高等学校 昭和32年度～平成10年度）	77

I 児童生徒の体力・運動能力調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

体力テストを実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の実態を明らかにするとともに指導及び行政上の資料とする。

(2) 調査の対象と人数

校種	性別	男			女			計		
	対象	A	B	A/B	A	B	A/B	A	B	A/B
		調査人数	総数	(%)	調査人数	総数	(%)	調査人数	総数	(%)
小学校	6歳	721	32,567	2.2	725	30,982	2.3	1,446	63,549	2.3
	7歳	723	33,377	2.2	723	31,910	2.3	1,446	65,287	2.2
	8歳	723	33,513	2.2	720	31,867	2.3	1,443	65,380	2.2
	9歳	722	33,711	2.1	723	32,194	2.2	1,445	65,905	2.2
	10歳	721	34,597	2.1	723	32,782	2.2	1,444	67,379	2.1
	11歳	723	34,933	2.1	720	33,387	2.2	1,443	68,320	2.1
	計	4,333	202,698	2.1	4,334	193,122	2.2	8,667	395,820	2.2
中学校	12歳	730	35,372	2.1	727	33,661	2.2	1,457	69,033	2.1
	13歳	733	35,314	2.1	733	33,671	2.2	1,466	68,985	2.1
	14歳	730	35,693	2.0	729	34,003	2.1	1,459	69,696	2.1
	計	2,193	106,379	2.1	2,189	101,335	2.2	4,382	207,714	2.1
高等学校 (全日制)	15歳	18,433	30,817	59.8	16,998	29,834	57.0	35,431	60,651	58.4
	16歳	17,674	29,622	59.7	16,412	29,479	55.7	34,086	59,101	57.7
	17歳	17,086	28,412	60.1	15,929	28,173	56.5	33,015	56,585	58.3
	計	53,193	88,851	59.9	49,339	87,486	56.4	102,532	176,337	58.1
高等学校 (定時制)	15歳	633	870	72.8	494	684	72.2	1,127	1,554	72.5
	16歳	510	694	73.5	386	540	71.5	896	1,234	72.6
	17歳	426	590	72.2	299	456	65.6	725	1,046	69.3
	18歳	359	459	78.2	186	231	80.5	545	690	79.0
	計	1,928	2,613	73.8	1,365	1,911	71.4	3,293	4,524	72.8
総数	61,647	400,541	15.4	57,227	383,854	14.9	118,874	784,395	15.2	

※B総数は令和5年度愛知県学校基本調査による。

(3) 調査の実施期間

令和 5 年 5 月～7 月

(4) 調査の方法・内容・項目

ア 調査の対象は、公立の小学校 50 校、中学校 40 校を抽出し、各学校から性別、年齢別に無作為に小学校は各 20 名、中学校は各 25 名を選んだ。ただし、調査対象学年が対象数に満たない場合は、その人数を調査対象とする。（抽出校は P 4 に掲載）
なお、高等学校は平成 20 年度から全校を対象とした。

イ 調査項目

(ア) 小学校 1 年～3 年

- ① 50m 走 ② 立ち幅とび ③ ソフトボール投げ

(イ) 小学校 4 年

- ① 長座体前屈 ② 反復横とび ③ 50m 走 ④ 立ち幅とび
⑤ ソフトボール投げ

(ウ) 小学校 5・6 年

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20m シャトルラン ⑥ 50m 走 ⑦ 立ち幅とび
⑧ ソフトボール投げ

(エ) 中学校・高等学校

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20m シャトルラン 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m）
⑥ 50m 走 ⑦ 立ち幅とび ⑧ ハンドボール投げ

(5) 小学校、中学校、高等学校における抽出校一覧表

	小学校	中学校	高等学校
名古屋	内山、旭丘、杉村、庄内、丸の内、瑞穂、千年、豊治、明德、宝、西城、貴船、天白	千種台、天神山、豊国、駒方、日比野、山王、桜田、守山北、千鳥丘、神丘	県立高等学校、豊橋市立豊橋高等学校
尾張	浅野、三条、小正、古知野北、高雄、長根、坂下、一色、二村台、星の宮、師勝南、志水	萩原、尾西第一、治郎丸、大口、光陵、高森台、東（尾張旭）、日進西、天神、東郷	
海部	甚目寺、須西、大治南	天王、佐織	
知多	藤江、緑丘、乙川東、大府	富貴、常滑、成岩、旭南	
西三河	矢作東、新川、亀城、寺部、錦町、八ツ面、知立、知立西、港、天王、幸田	六ツ美、中央（碧南）、朝日、崇化館、安祥、寺津、三好丘、北部（幸田）	
東三河	鷹丘、飯村、平尾、塩津、神戸	北部（豊橋）、代田、蒲郡、福江	
新城設楽支所 設楽教育指導室	千郷、津具・豊根	新城・作手、津具・豊根	

2 集計の結果

(N・・・標本数、M・・・平均値、S.D・・・標準偏差)

		握 力									上 体 起 こ し											
		県						国			県						国					
		令和5年度			令和4年度			令和4年度			令和5年度			令和4年度			令和4年度					
		N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D			
男	子	小学校	6	/						1,038	9.1	2.20	/						1,042	11.8	4.78	
			7							1,059	10.8	2.40							1,067	14.5	5.13	
			8							1,037	12.5	2.89							1,076	16.1	5.67	
		9	1,066	14.3	3.09	1,083	18.0	5.51														
		10	721	15.8	4.10	949	16.1	3.85	1,049	16.7	3.67	721	18.8	6.06	965	17.9	6.06	1,087	20.0	5.25		
		11	723	19.7	9.04	956	19.0	4.99	1,049	19.5	4.66	723	21.7	6.09	969	20.6	5.97	1,083	21.6	5.34		
	中学校	12	730	23.3	6.45	974	24.0	6.32	1,287	24.7	6.23	730	23.0	6.17	974	23.2	5.97	1,389	23.7	5.37		
		13	733	28.6	7.00	974	28.8	7.33	1,228	30.2	7.11	733	25.1	5.68	974	25.8	6.18	1,350	26.6	5.66		
		14	730	33.8	6.83	976	34.0	7.35	1,276	34.5	7.32	730	27.3	5.93	975	28.5	5.80	1,397	28.6	5.73		
	高等学校	15	18,433	36.4	7.13	18,465	36.3	7.06	1,142	36.6	7.04	18,386	27.9	5.87	18,402	27.8	5.76	1,261	28.0	5.87		
		16	17,674	38.7	7.33	17,470	38.8	7.34	1,131	38.8	7.23	17,582	29.9	5.94	17,382	29.9	5.98	1,241	30.0	5.92		
		(全) 17	17,086	40.2	7.53	18,194	40.5	7.49	1,151	40.9	7.43	17,009	31.1	6.11	18,104	31.4	5.95	1,262	31.3	6.04		
	(定)	高等学校	15	632	34.8	8.31	704	35.1	8.15	154	35.8	7.28	633	22.7	6.58	688	23.5	6.76	170	24.7	5.95	
			16	510	36.9	7.56	513	37.3	8.47	153	37.3	7.62	503	23.4	6.74	496	23.5	6.49	171	23.9	5.81	
			17	426	37.9	8.09	591	38.2	8.36	165	39.1	8.42	414	23.9	7.35	584	24.4	6.81	182	24.1	6.02	
			18	359	39.3	8.50	386	41.0	8.08	141	38.0	8.08	357	23.5	6.73	381	24.3	7.38	164	23.5	6.60	
	女	子	小学校	6	/						1,020	8.5	2.01	/						1,039	11.8	4.68
				7							1,060	10.1	2.23							1,072	13.6	4.95
8				998							11.8	2.53	1,035							15.7	5.12	
9			1,064	13.9	3.07	1,080	17.3	5.25														
10			723	15.8	3.93	940	16.2	4.01	1,031	16.5	3.81	723	17.9	5.79	950	17.1	5.56	1,080	18.5	4.72		
11			720	18.6	4.35	928	19.0	4.62	1,053	18.7	4.56	720	19.5	5.37	937	19.1	5.04	1,069	19.5	4.99		
中学校		12	727	21.0	4.57	965	21.0	4.32	1,188	21.4	4.44	727	19.8	5.58	965	19.5	5.27	1,336	19.9	5.17		
		13	733	24.0	7.37	970	23.4	4.45	1,236	24.0	4.47	733	21.7	7.49	970	21.7	5.46	1,367	22.5	5.58		
		14	728	24.7	4.65	971	24.9	4.67	1,216	25.2	4.44	729	22.3	5.92	971	23.4	5.71	1,367	24.0	5.63		
高等学校		15	16,998	25.3	4.79	16,980	25.4	4.72	1,086	25.5	4.52	16,958	22.3	5.86	16,919	22.7	5.66	1,195	22.4	5.67		
		16	16,412	26.2	4.89	16,358	26.3	4.83	1,127	26.3	4.72	16,358	24.0	5.88	16,268	24.1	5.75	1,256	23.8	6.01		
		(全) 17	15,929	26.6	4.93	17,428	26.8	4.89	1,103	26.7	4.67	15,844	24.7	5.97	17,322	25.2	5.79	1,226	24.4	6.28		
(定)		高等学校	15	494	23.2	5.30	489	23.3	5.45	152	24.0	4.51	485	15.5	6.23	478	16.5	6.19	169	18.2	5.60	
			16	386	24.3	5.32	369	24.0	5.16	149	25.5	5.07	376	16.7	6.48	362	16.8	6.20	168	18.9	5.73	
			17	299	24.6	5.55	362	24.4	5.30	155	24.2	4.84	295	16.8	6.38	345	17.1	6.60	169	18.8	5.57	
			18	186	25.4	5.08	188	25.2	5.47	133	26.0	4.78	173	18.6	6.56	183	16.7	6.92	137	18.7	5.40	

		長座体前屈						単位：cm			反復横とび						単位：回				
		県						国			県						国				
		令和5年度			令和4年度			令和4年度			令和5年度			令和4年度			令和4年度				
		N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D		
男	小学校	6	/						1,091	26.6	6.90	/						1,071	27.4	5.07	
		7							1,089	28.2	6.96							1,094	31.1	6.21	
		8							1,093	29.9	7.00							1,102	34.6	7.68	
		9	721	31.4	7.95	921	31.7	8.99	1,117	32.0	7.47	722	36.2	7.64	928	35.7	8.05	1,108	38.3	8.13	
		10	721	35.1	7.85	965	34.8	8.49	1,110	34.4	8.03	721	40.8	8.14	965	40.3	7.96	1,099	42.7	7.09	
		11	723	37.5	8.50	969	36.2	8.48	1,118	36.6	8.27	723	45.4	7.14	969	43.3	7.91	1,095	45.5	7.12	
	中学校	12	730	39.3	9.77	974	39.6	9.91	1,397	40.7	9.94	729	49.0	7.55	974	48.3	8.16	1,380	50.1	6.80	
		13	733	44.2	10.34	974	44.8	11.02	1,362	45.1	10.76	733	52.6	7.83	974	52.5	7.64	1,348	53.0	7.31	
		14	730	48.0	11.53	976	49.2	11.51	1,399	49.2	11.21	730	55.2	7.17	976	56.0	7.60	1,391	56.0	7.09	
	高等学校	15	18,413	50.0	11.49	18,440	49.1	11.44	1,263	47.9	10.84	18,348	56.1	6.89	18,373	56.0	6.71	1,261	55.4	7.25	
		16	17,629	52.7	11.91	17,430	51.9	11.82	1,242	49.3	11.08	17,522	57.7	6.91	17,342	57.7	6.90	1,246	57.3	7.53	
		(全) 17	17,050	54.3	11.86	18,157	54.0	11.60	1,264	51.8	11.16	16,978	58.5	7.24	18,055	58.9	6.86	1,256	58.5	7.12	
	(定)	15	630	42.8	12.20	701	43.2	12.14	170	43.8	11.23	627	46.7	9.91	694	47.5	8.86	168	50.8	8.16	
		16	504	45.5	12.45	507	42.9	12.55	174	43.6	10.62	509	49.2	8.46	506	48.1	9.52	172	49.2	7.46	
		17	421	44.4	12.83	588	43.7	11.86	186	42.9	10.46	414	49.7	9.95	585	50.5	9.34	180	50.6	8.25	
		18	355	43.3	12.67	383	44.8	12.63	165	42.6	10.62	355	49.2	9.77	381	48.4	10.56	166	49.2	8.79	
	女	小学校	6	/						1,074	28.5	6.77	/						1,073	26.9	4.87
			7							1,089	30.6	6.95							1,086	29.9	5.52
8			1,062							33.1	7.31	1,062							33.3	7.19	
9			722	34.7	8.25	925	35.4	10.19	1,118	35.7	7.84	723	34.2	7.42	932	33.9	7.35	1,113	36.9	7.19	
10			723	39.2	8.90	951	39.2	8.56	1,100	37.8	8.20	723	38.8	7.70	951	38.8	6.93	1,103	39.9	6.65	
11			720	41.3	9.54	937	41.2	8.95	1,101	41.1	8.50	720	41.8	6.25	937	41.3	6.46	1,103	42.2	6.69	
中学校		12	727	42.4	10.55	965	43.0	10.11	1,333	44.4	9.97	727	45.2	6.77	965	44.6	14.67	1,326	45.2	6.01	
		13	733	45.2	12.10	970	47.4	10.52	1,370	47.3	10.31	733	46.0	7.37	970	47.7	6.27	1,361	47.9	6.05	
		14	729	49.9	10.02	971	48.4	10.25	1,369	49.4	10.03	728	47.7	7.26	971	49.0	6.47	1,360	48.6	6.12	
高等学校		15	16,984	49.7	10.71	16,960	49.6	10.38	1,195	47.8	10.01	16,927	48.0	5.90	16,902	48.7	5.63	1,188	47.7	6.02	
		16	16,390	51.4	10.52	16,323	50.9	10.46	1,254	49.9	10.28	16,318	48.7	6.10	16,232	49.3	5.96	1,255	48.7	6.39	
		(全) 17	15,900	52.5	10.55	17,392	52.2	10.33	1,231	50.5	10.03	15,795	49.1	6.32	17,274	49.8	6.02	1,226	48.9	6.42	
(定)		15	492	41.7	10.63	486	41.8	11.08	170	44.0	10.03	482	39.3	8.24	476	40.5	7.91	170	43.1	5.95	
		16	385	43.5	11.58	371	43.3	11.53	173	42.7	10.15	379	40.1	8.06	366	39.8	8.40	164	42.9	7.13	
		17	293	43.1	11.03	357	44.4	11.63	175	45.0	10.18	286	40.8	7.67	351	41.8	8.28	173	42.2	6.44	
		18	180	44.6	10.02	185	43.2	10.92	145	43.1	10.09	175	42.2	6.91	183	40.1	8.68	136	40.6	5.91	

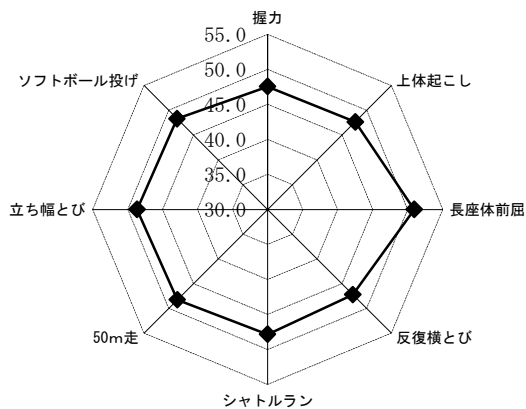
		20mシャトルラン						単位：回			持久走(男子…1500m、女子…1000m)									単位：秒						
		県						国			県						国									
		令和5年度			令和4年度			令和4年度			令和5年度			令和4年度			令和4年度									
		N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D							
男	小学校	6	/						1,055	18.1	9.15	/														
		7							1,088	27.7	13.80															
		8							1,089	35.2	16.72															
		9							1,100	42.8	18.70															
		10							720	46.6	21.35										958	44.2	20.76	1,110	51.2	21.15
		11							723	57.2	23.27										969	53.0	21.79	1,112	57.5	23.50
	中学校	12	175	65.9	22.62	395	59.5	23.51	1,052	67.2	24.03	555	456.7	89.23	579	444.4	80.65	477	418.5	59.82						
		13	196	76.6	24.64	396	74.1	25.14	1,004	83.1	24.77	557	416.7	77.05	578	410.6	72.01	497	396.5	57.03						
		14	198	87.4	24.88	398	82.6	24.45	1,027	90.8	24.15	555	397.9	63.48	577	387.9	62.85	517	378.1	51.10						
	高等学校	15	11,573	81.1	22.54	10,785	81.7	21.80	895	81.3	25.43	6,415	397.9	60.16	7,222	398.2	60.38	454	385.7	52.55						
		16	10,811	87.7	24.02	9,831	88.3	24.21	856	90.3	25.69	6,589	385.8	59.25	7,358	386.8	62.57	479	371.7	50.93						
		(全) 17	10,156	87.3	24.75	10,168	88.9	24.73	889	91.7	26.74	6,636	385.2	63.17	7,734	381.0	61.52	466	371.2	52.64						
	(定)	15	426	52.3	23.06	529	52.8	24.18	163	57.0	23.42	176	543.2	159.57	128	496.7	115.49	11	431.1	56.40						
		16	329	56.7	24.55	374	53.7	23.86	165	56.6	24.42	159	487.9	98.11	105	519.2	118.26	11	415.6	45.92						
		17	277	54.7	24.44	442	55.9	24.22	177	59.0	26.04	121	561.5	197.41	122	472.3	106.74	15	395.3	72.08						
		18	254	52.6	23.36	261	57.6	23.45	155	50.0	21.03	79	490.4	135.83	104	527.0	136.26	9	447.2	76.37						
	女	小学校	6	/						1,034	15.6	6.58	/													
			7							1,081	21.6	9.47														
8			1,048							27.8	12.88															
9			1,102							34.0	14.57															
10			723							36.1	15.91	942										34.6	15.21	1,092	40.4	16.35
11			718							41.8	17.12	937										42.9	17.24	1,094	45.1	17.88
中学校		12	199	42.9	17.78	394	40.5	15.54	985	49.4	18.30	551	325.4	51.89	571	321.1	52.68	483	308.7	39.38						
		13	175	47.4	17.05	395	49.9	18.35	1,021	56.3	19.65	558	312.2	49.67	575	301.9	43.45	505	289.7	40.51						
		14	198	50.2	19.21	388	51.9	18.90	1,000	56.2	20.06	552	309.3	50.45	583	297.7	43.97	502	294.2	40.25						
高等学校		15	10,706	47.6	16.18	10,111	49.5	15.92	845	48.6	17.78	5,885	313.4	42.32	6,437	310.9	42.74	431	304.2	40.06						
		16	10,014	50.3	17.50	9,278	51.8	17.58	864	51.0	19.31	6,060	309.9	47.63	6,751	305.8	45.14	465	304.3	47.82						
		(全) 17	9,522	49.4	18.11	9,836	50.7	18.23	851	50.5	19.67	6,045	308.5	46.06	7,210	308.0	49.26	442	304.3	44.93						
(定)		15	350	25.2	17.86	408	26.2	12.86	163	30.6	14.84	97	449.9	117.87	32	413.8	97.94	10	334.3	40.67						
		16	240	25.5	13.39	311	27.3	12.92	165	31.0	16.03	93	408.6	105.99	29	477.6	119.05	9	330.3	40.59						
		17	196	27.4	13.37	307	29.2	14.94	168	30.5	14.30	68	420.8	124.15	22	404.3	143.46	12	354.3	47.89						
		18	133	29.1	13.90	155	26.3	12.81	135	25.4	12.44	28	393.3	83.63	15	466.6	110.13	6	368.2	30.93						

		50m 走									立ち幅とび										
		単位：秒									単位：cm										
		県						国			県						国				
		令和5年度			令和4年度			令和4年度			令和5年度			令和4年度			令和4年度				
		N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D		
男	小学校	6	721	11.6	1.16	758	11.6	3.90	1,091	11.5	1.06	721	113.9	17.41	759	112.7	18.56	1,045	117.0	18.87	
		7	723	10.8	1.42	919	10.7	3.09	1,102	10.6	0.86	723	125.4	18.33	919	126.3	19.72	1,058	127.4	18.81	
		8	723	10.2	1.84	919	10.3	1.05	1,099	10.1	0.86	723	136.2	19.08	920	133.9	19.05	1,041	136.6	18.61	
		9	722	9.9	1.18	928	9.9	1.01	1,115	9.7	0.88	721	143.8	20.94	927	145.5	46.35	1,063	145.3	19.38	
		10	720	9.5	1.03	965	9.5	1.01	1,122	9.3	0.89	720	153.3	22.46	965	151.0	27.30	1,055	156.0	20.58	
		11	723	8.9	0.93	969	9.0	1.01	1,119	8.9	0.91	723	166.6	22.87	969	162.3	23.88	1,062	166.1	22.39	
	中学校	12	730	8.7	1.10	973	8.7	0.99	1,374	8.4	0.79	729	181.2	27.49	974	179.9	27.12	1,394	186.1	25.35	
		13	733	8.0	0.90	974	8.1	0.81	1,336	7.8	0.68	733	199.7	27.23	974	196.2	26.04	1,347	203.8	24.75	
		14	730	7.6	0.68	975	7.6	0.70	1,393	7.5	0.65	730	214.2	25.52	976	210.6	25.20	1,396	217.3	24.53	
	高等学校	15	18,308	7.6	0.67	18,285	7.6	0.68	1,248	7.5	0.66	18,363	215.4	25.65	18,367	214.6	25.10	1,245	218.4	24.49	
		16	17,465	7.4	0.67	17,299	7.4	0.70	1,236	7.3	0.61	17,531	222.1	25.43	17,351	221.5	25.48	1,235	225.7	24.31	
		(全) 17	16,910	7.3	0.68	17,974	7.3	0.66	1,254	7.2	0.60	16,978	226.5	26.08	18,082	226.6	24.93	1,254	230.1	24.26	
	(定)	15	611	8.2	1.60	670	9.3	27.21	163	7.7	0.68	625	195.9	35.45	691	200.0	32.20	165	209.9	25.45	
		16	492	8.0	1.16	485	8.1	1.26	167	7.7	0.67	496	204.4	33.37	497	200.9	33.02	169	211.2	25.09	
		17	410	8.1	1.35	571	8.0	1.34	175	7.7	0.72	408	204.6	32.73	578	207.9	33.04	184	210.2	27.02	
		18	332	8.0	1.37	372	8.4	4.16	152	7.8	0.73	350	205.6	33.50	381	207.5	35.89	156	210.1	26.03	
	女	小学校	6	725	12.0	1.19	742	11.9	1.53	1,079	11.8	1.03	725	107.1	17.09	742	105.0	17.23	1,028	108.4	16.84
			7	722	11.1	1.07	930	11.1	1.05	1,104	11.0	0.87	723	117.7	18.34	930	117.3	18.58	1,046	119.6	17.25
8			720	10.6	0.97	896	10.6	0.96	1,070	10.4	0.83	720	127.9	18.50	896	129.2	17.75	1,002	128.3	18.10	
9			723	10.2	1.02	932	10.2	0.94	1,120	10.0	0.84	723	136.5	19.52	932	138.1	18.57	1,065	138.0	18.69	
10			723	9.7	0.93	951	9.7	0.84	1,102	9.6	0.81	723	146.8	21.24	951	146.0	24.98	1,031	148.7	18.89	
11			718	9.3	0.83	937	9.2	0.81	1,110	9.3	0.82	718	154.6	20.91	937	157.4	53.90	1,033	154.7	21.86	
中学校		12	727	9.2	0.83	965	9.3	0.89	1,326	9.0	0.75	727	165.3	20.77	965	160.1	22.52	1,338	167.1	21.38	
		13	733	9.1	0.88	970	8.9	0.79	1,363	8.8	0.74	733	168.2	23.87	970	169.7	22.77	1,365	173.0	21.96	
		14	728	8.9	1.08	971	8.8	0.86	1,350	8.7	0.73	729	172.9	24.92	971	173.1	23.76	1,362	176.0	23.00	
高等学校		15	16,887	9.1	0.84	16,830	9.0	0.77	1,184	8.9	0.76	16,942	168.5	23.23	16,897	169.9	22.21	1,198	172.5	22.19	
		16	16,241	9.0	0.86	16,164	8.9	0.87	1,242	8.8	0.77	16,310	170.3	23.12	16,227	171.3	22.71	1,258	175.4	22.39	
		(全) 17	15,710	9.0	0.87	17,175	8.9	0.90	1,215	8.9	0.80	15,800	171.2	23.53	17,298	172.7	23.01	1,227	174.0	23.46	
(定)		15	455	9.9	1.26	461	10.0	1.46	157	9.4	0.90	476	146.9	26.90	483	146.5	25.41	166	155.9	22.55	
		16	351	10.1	1.50	348	10.2	2.02	152	9.4	0.85	377	145.9	26.79	359	149.5	24.11	168	156.6	21.91	
		17	267	10.1	1.56	339	10.0	1.66	153	9.4	0.77	292	149.4	27.61	350	151.8	28.03	173	154.7	25.56	
		18	165	10.2	1.88	178	10.5	1.82	125	9.7	0.89	176	151.5	27.12	186	147.2	28.16	138	150.7	23.18	

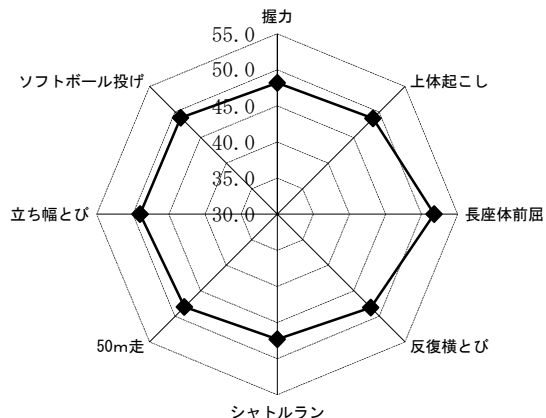
		ボール投げ(小…ソフトボール,中…ハンドボール)									単位: m		
		県						国					
		令和5年度			令和4年度			令和4年度					
		N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D			
男	小学校	6	721	7.9	3.42	758	7.6	3.39	1,108	8.3	3.34		
		7	723	10.8	4.64	919	10.9	4.60	1,121	11.4	4.44		
		8	723	14.5	6.11	918	13.4	5.68	1,110	15.0	5.95		
		9	722	16.9	6.62	928	16.5	6.68	1,127	18.2	7.11		
		10	721	20.5	8.57	965	19.9	8.10	1,123	21.9	8.24		
		11	723	24.3	9.38	969	23.0	9.01	1,123	25.4	9.69		
	中学校	12	730	16.7	5.30	974	17.7	7.27	1,404	18.0	5.39		
		13	733	20.0	5.88	974	20.1	5.89	1,330	21.0	5.91		
		14	730	22.0	5.93	976	22.9	6.45	1,374	23.8	6.01		
	高等学校	15	18,368	23.7	6.22	18,367	23.5	6.02	1,205	23.5	6.38		
		16	17,584	25.5	6.61	17,368	25.3	6.60	1,196	25.1	6.42		
		(全)17	16,996	26.6	6.85	18,091	26.6	6.77	1,212	26.2	6.48		
	(定)	高等学校	15	617	21.5	6.70	691	21.4	6.34	164	21.1	5.88	
			16	487	21.9	6.33	498	22.4	6.63	168	21.7	6.51	
			17	414	23.2	6.70	581	22.7	6.41	182	21.7	6.35	
		18	349	23.5	5.95	375	24.6	15.61	157	21.5	5.77		
	女	小学校	6	725	5.4	2.12	742	5.1	2.12	1,084	5.6	1.94	
			7	723	7.3	2.68	930	7.0	2.53	1,105	7.4	2.41	
8			719	9.2	3.35	896	8.7	3.07	1,073	9.3	3.04		
9			723	10.8	3.90	932	10.5	3.68	1,110	11.5	3.86		
10			723	13.0	4.68	951	12.8	4.95	1,091	13.4	4.24		
11			720	14.8	5.51	937	14.8	5.45	1,086	15.2	5.32		
中学校		12	727	10.9	3.62	965	11.0	3.77	1,307	11.6	3.75		
		13	733	12.3	4.00	970	12.7	4.22	1,345	13.3	4.25		
		14	728	13.4	4.19	971	13.7	4.23	1,319	14.1	4.32		
高等学校		15	16,958	13.8	4.21	16,925	13.8	4.14	1,138	13.6	4.12		
		16	16,305	14.6	4.57	16,282	14.6	4.40	1,194	14.5	4.36		
		(全)17	15,834	15.0	4.56	17,325	15.1	4.60	1,170	14.6	4.39		
(定)		高等学校	15	470	11.4	3.67	466	11.4	3.85	163	11.8	3.93	
			16	361	11.9	4.41	360	11.8	3.95	166	12.0	3.78	
			17	283	12.1	4.03	349	12.3	4.34	171	11.9	3.82	
		18	177	13.0	4.29	184	12.4	4.18	138	11.7	3.61		

＜令和5年度本県平均と令和4年度全国平均とのTスコアによる比較（グラフ）＞

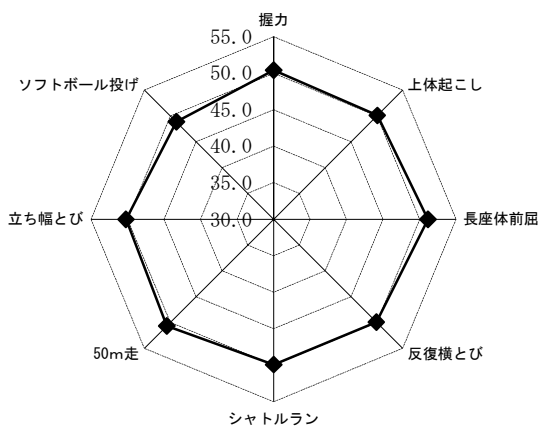
小5男(10歳)



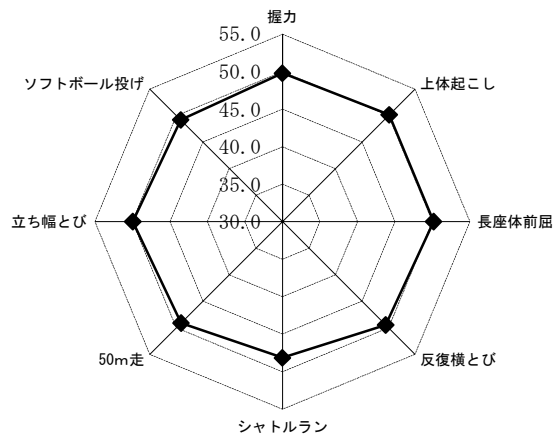
小5女(10歳)



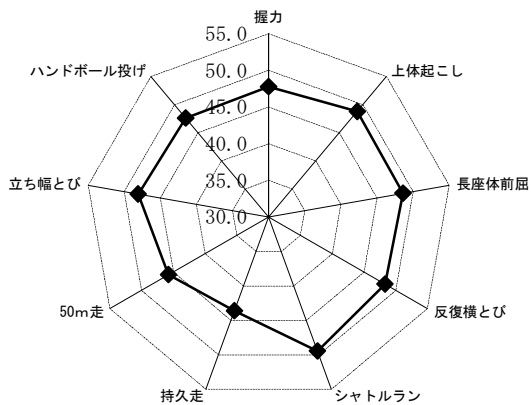
小6男(11歳)



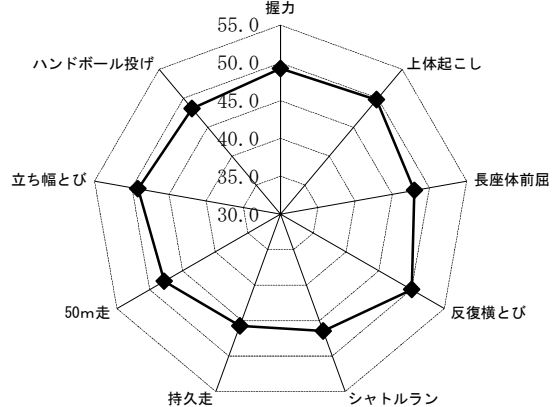
小6女(11歳)



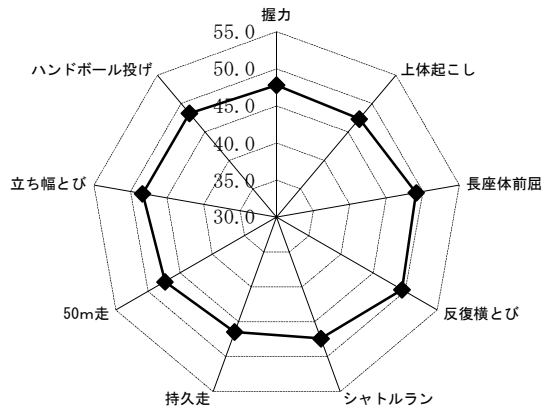
中1男(12歳)



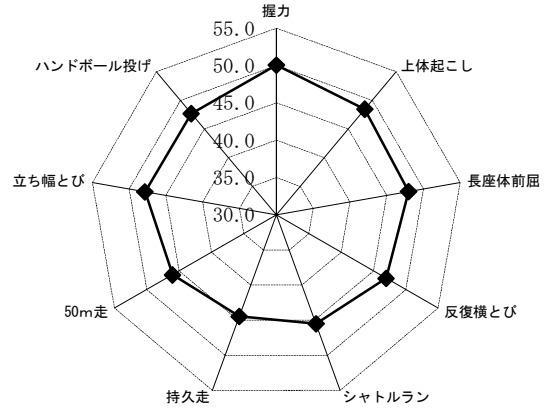
中1女(12歳)



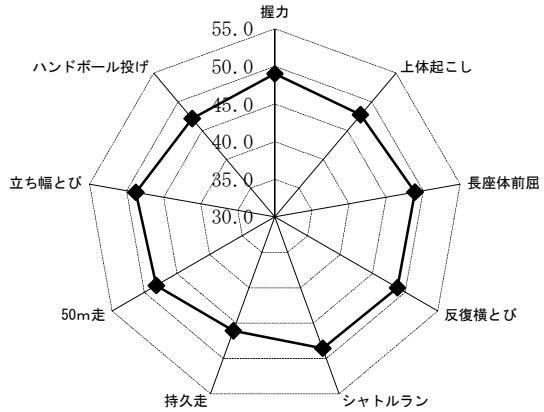
中2男(13歳)



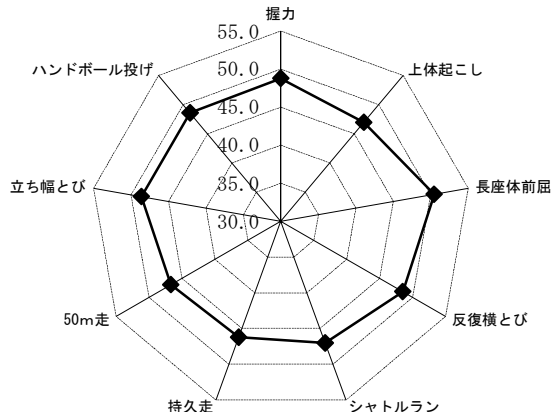
中2女(13歳)



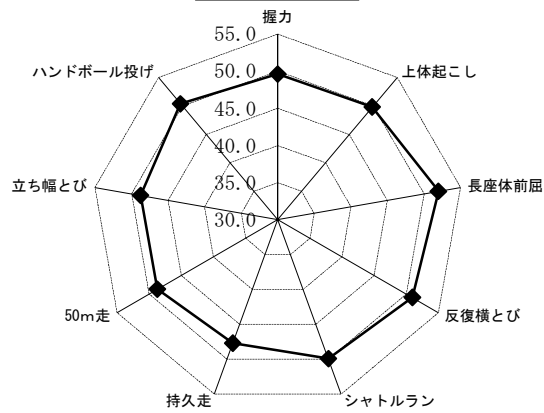
中3男(14歳)



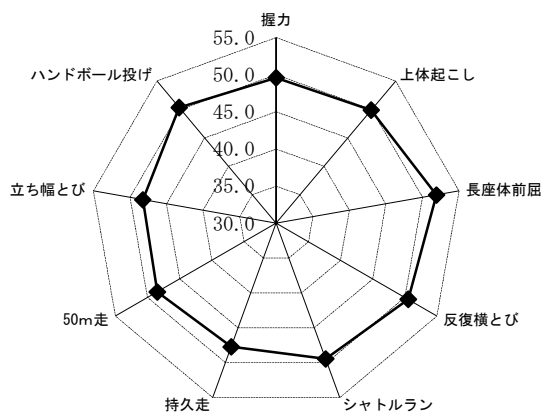
中3女(14歳)



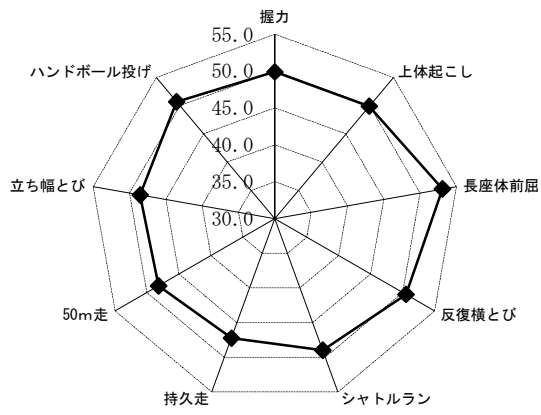
全高1男(15歳)



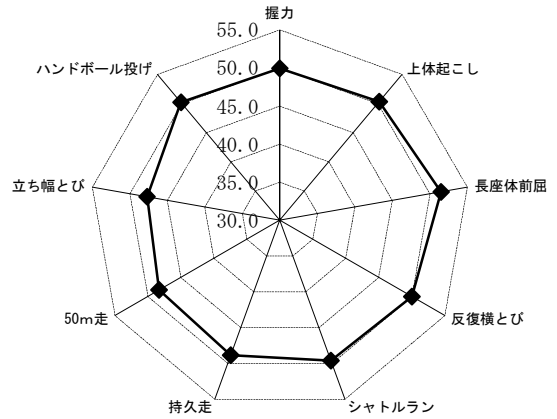
全高1女(15歳)



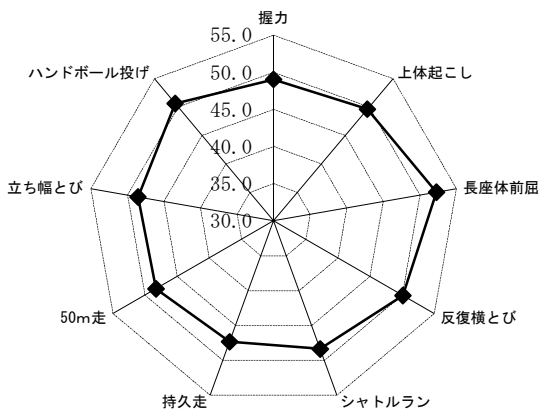
全高2男(16歳)



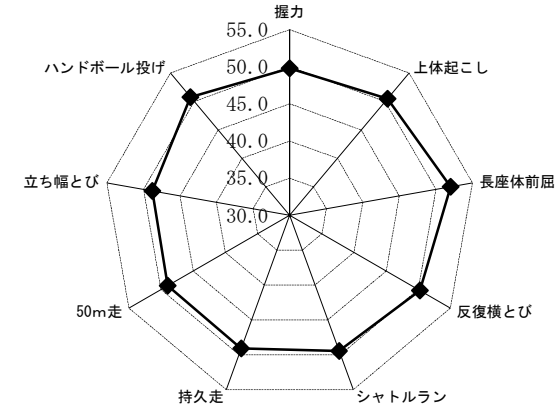
全高2女(16歳)



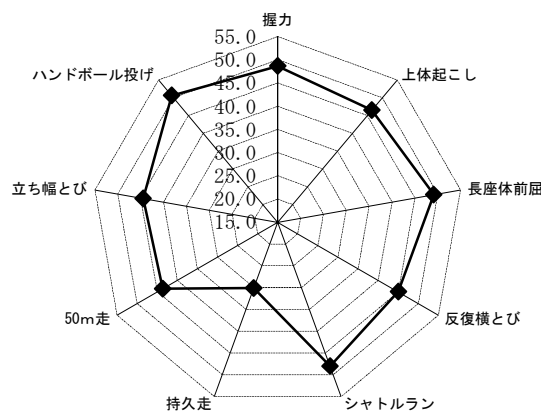
全高3男(17歳)



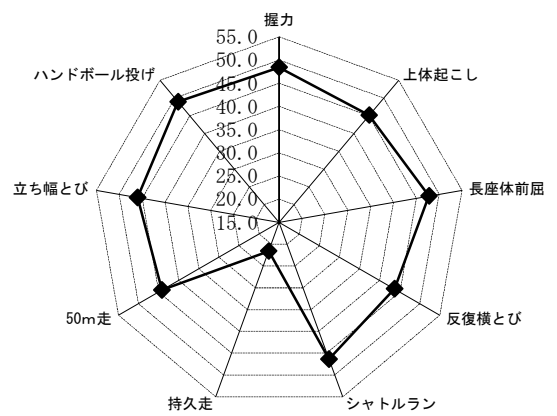
全高3女(17歳)



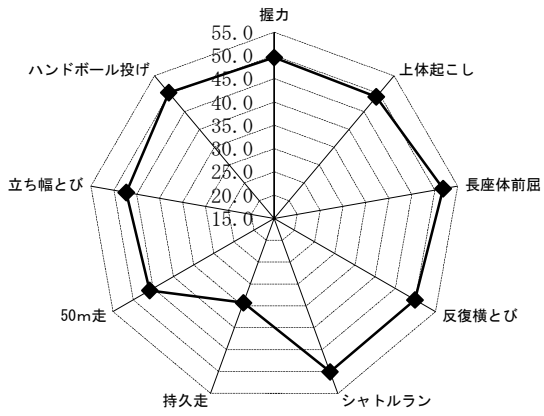
定高1男(15歳)



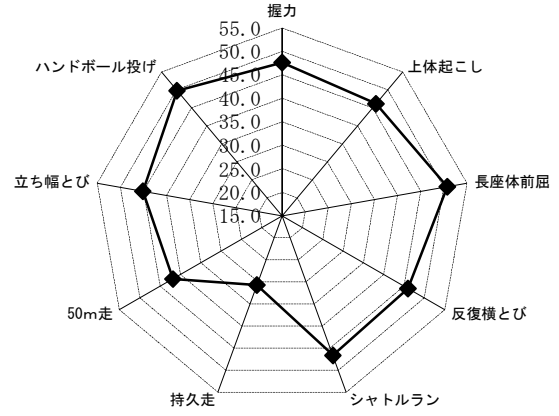
定高1女(15歳)



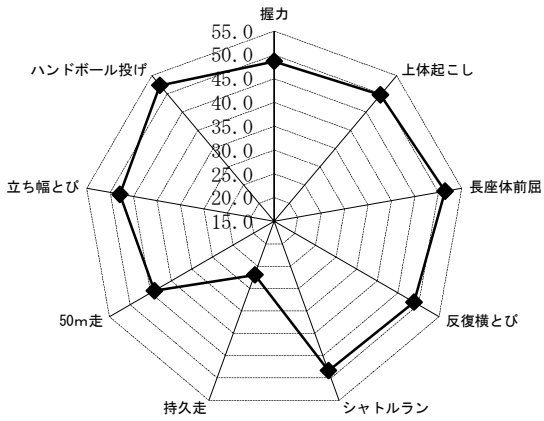
定高2男(16歳)



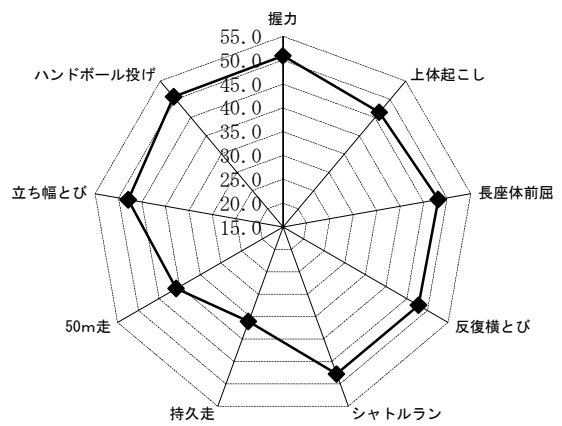
定高2女(16歳)



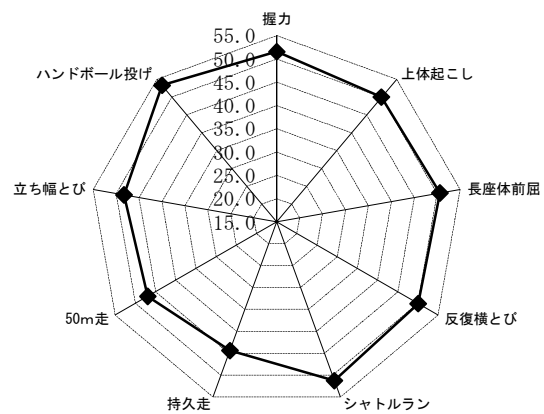
定高3男(17歳)



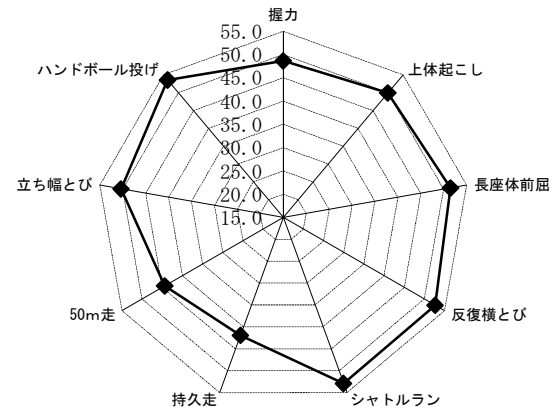
定高3女(17歳)



定高4男(18歳)

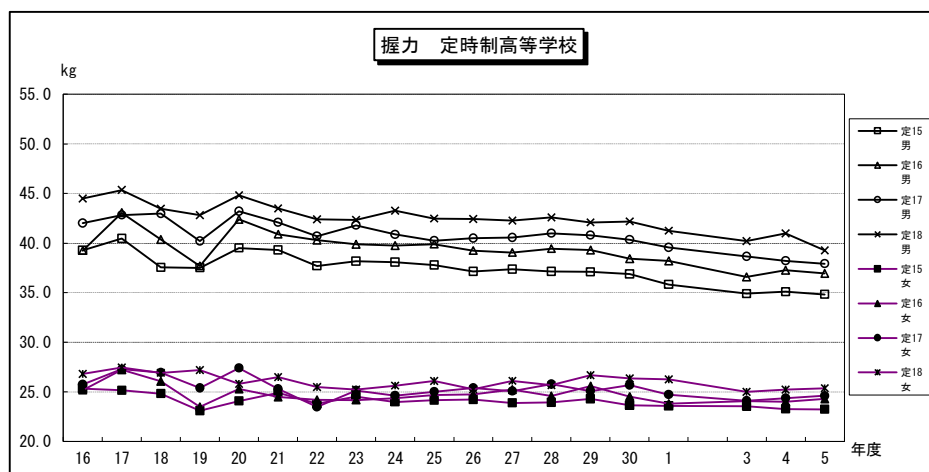
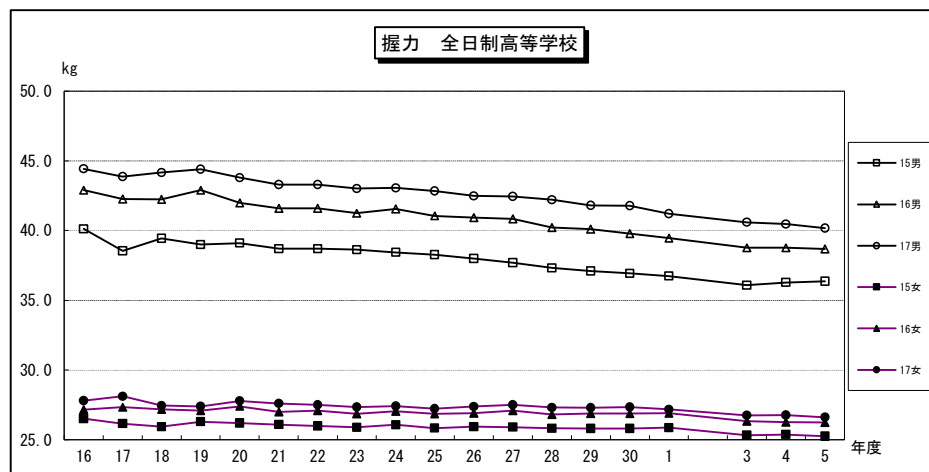
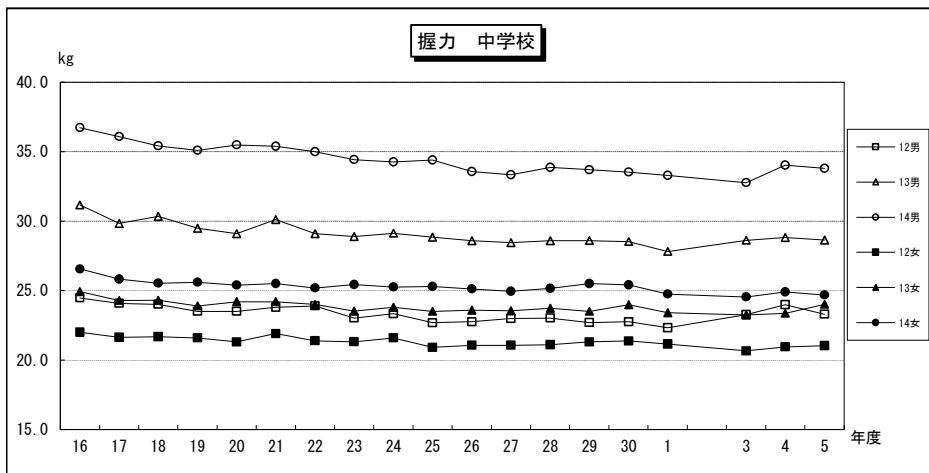
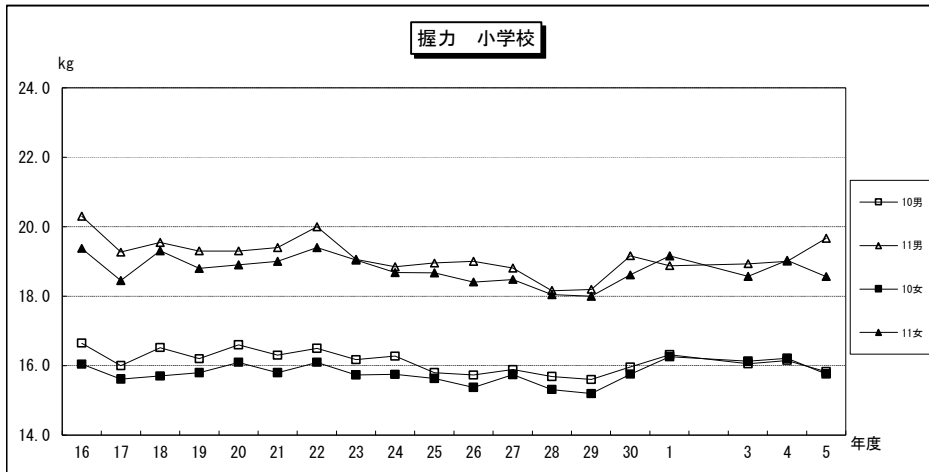


定高4女(18歳)

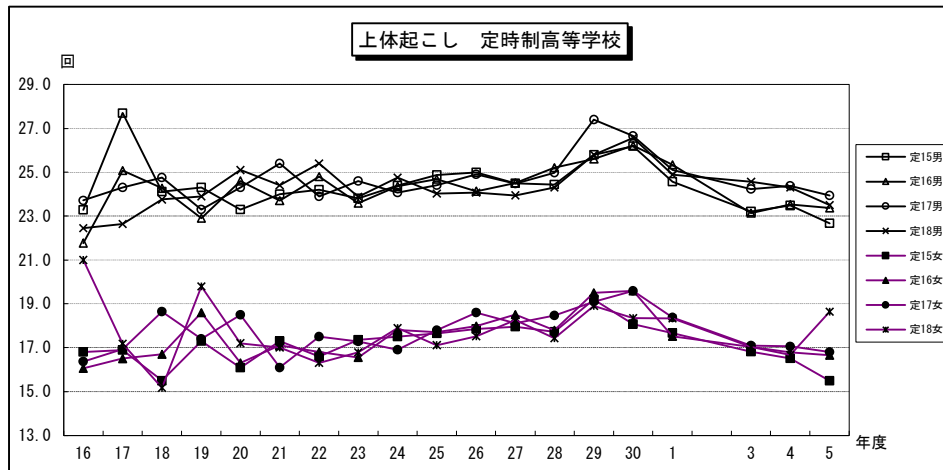
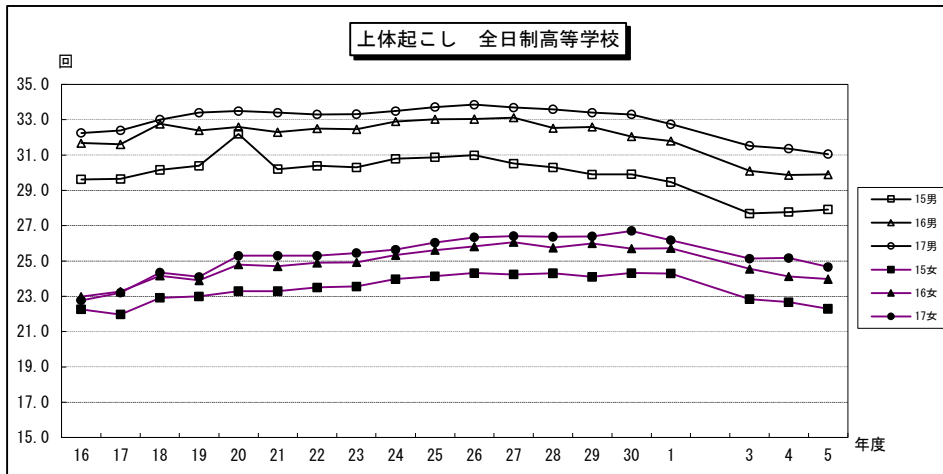
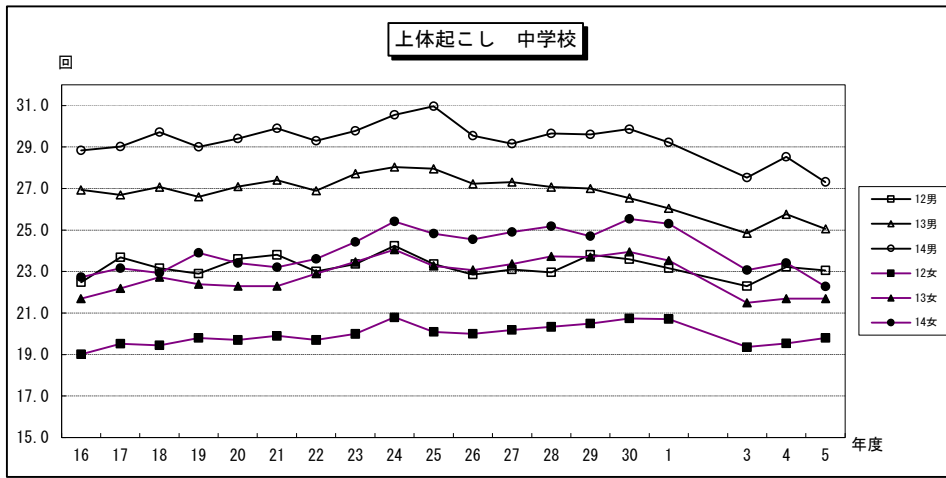
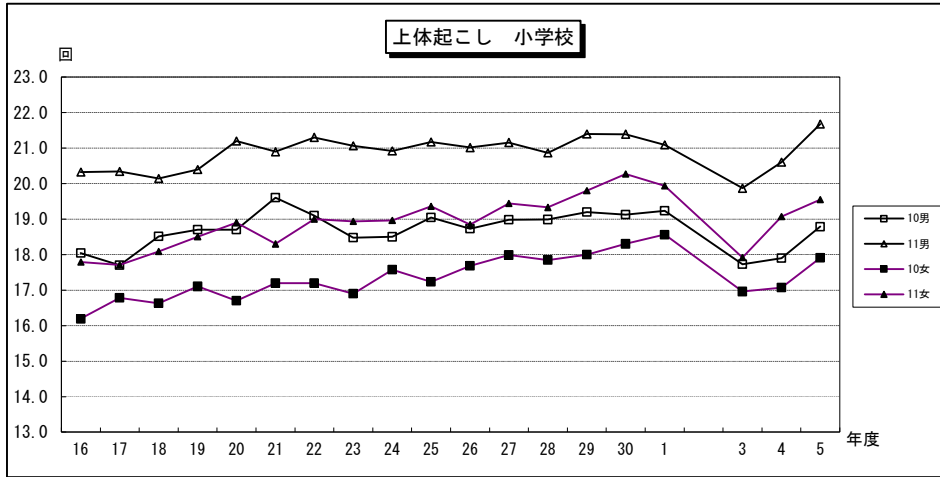


3 平成16年度～令和5年度の体力テスト結果県平均の推移

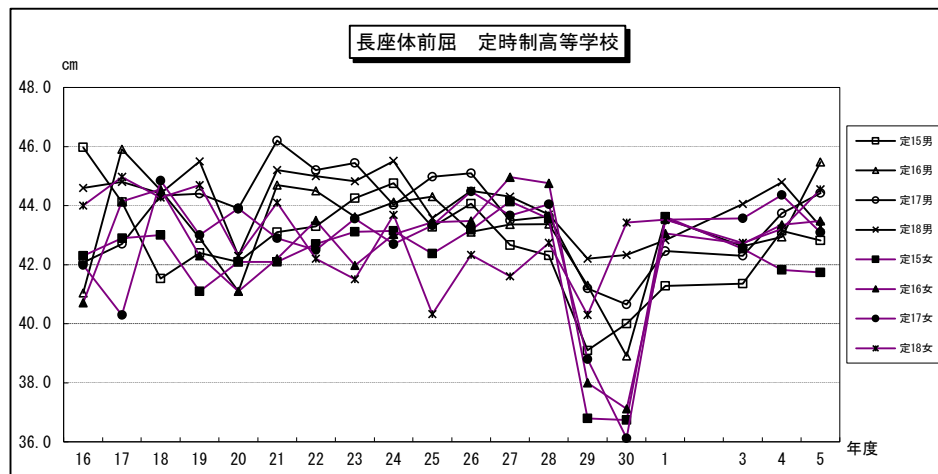
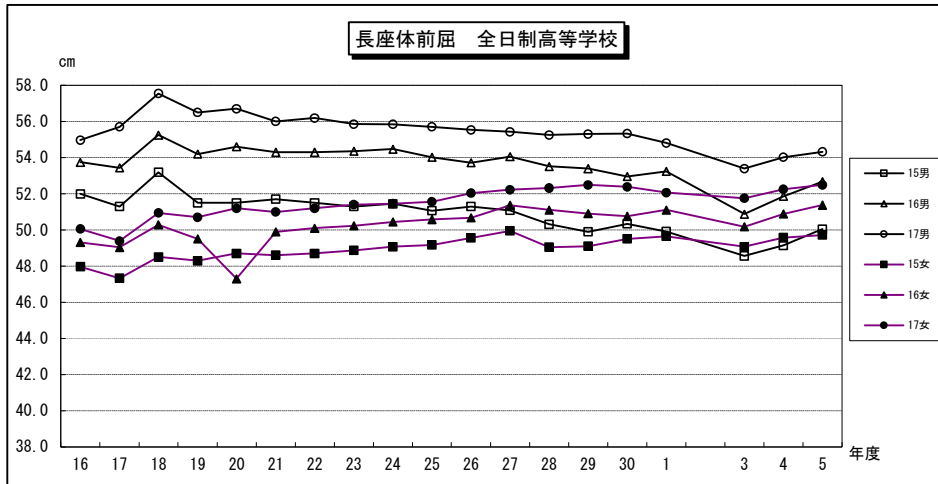
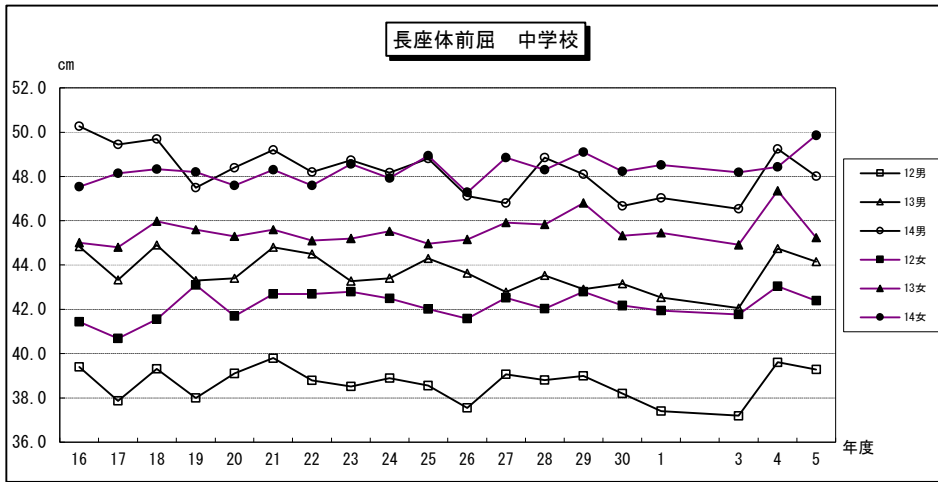
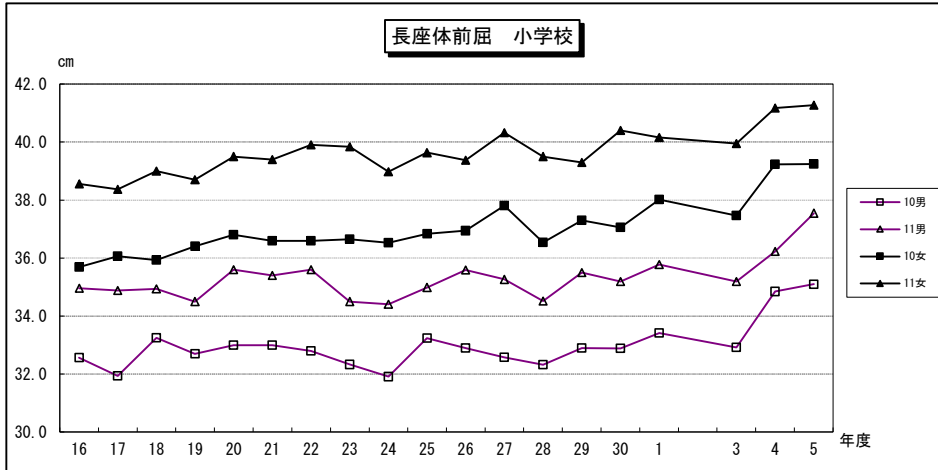
【握力】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



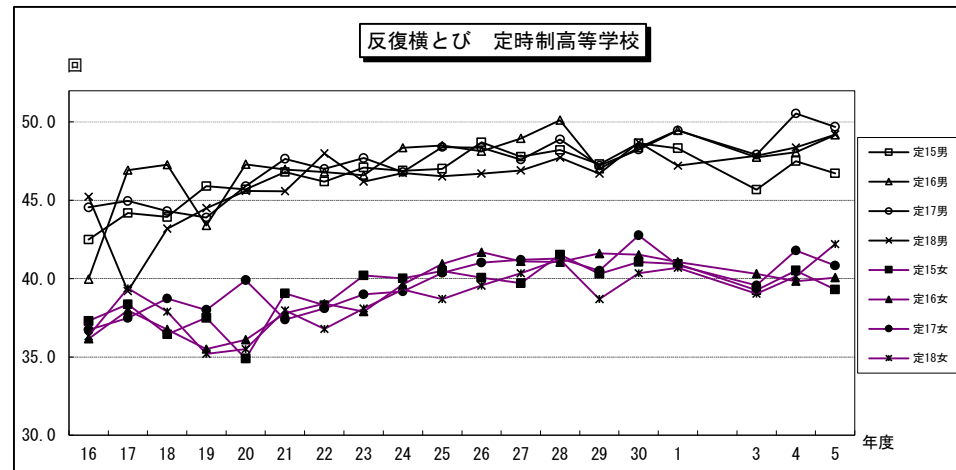
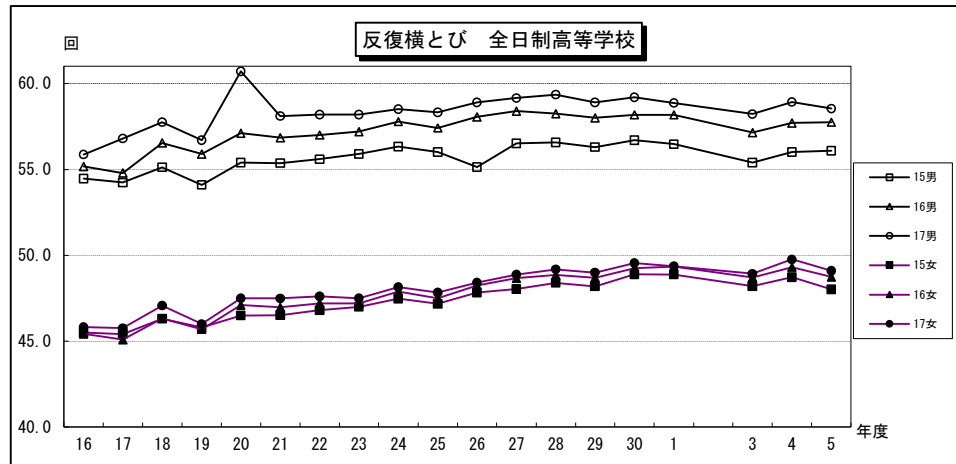
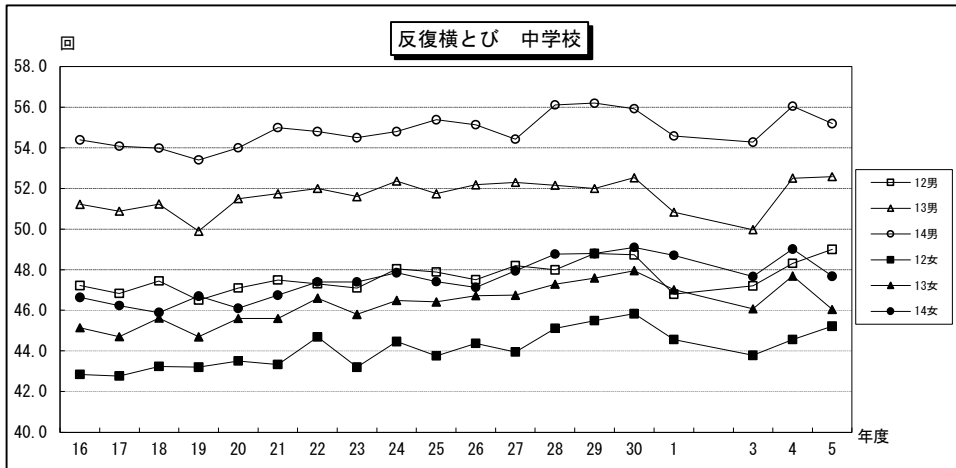
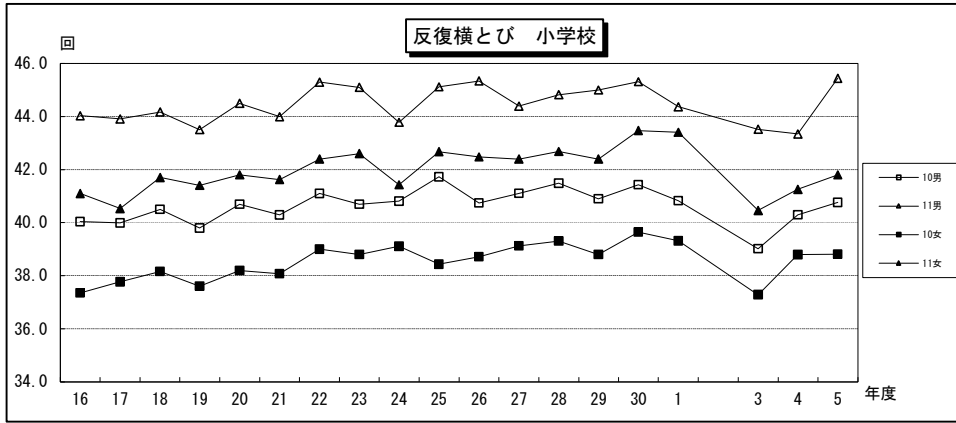
【上体起こし】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



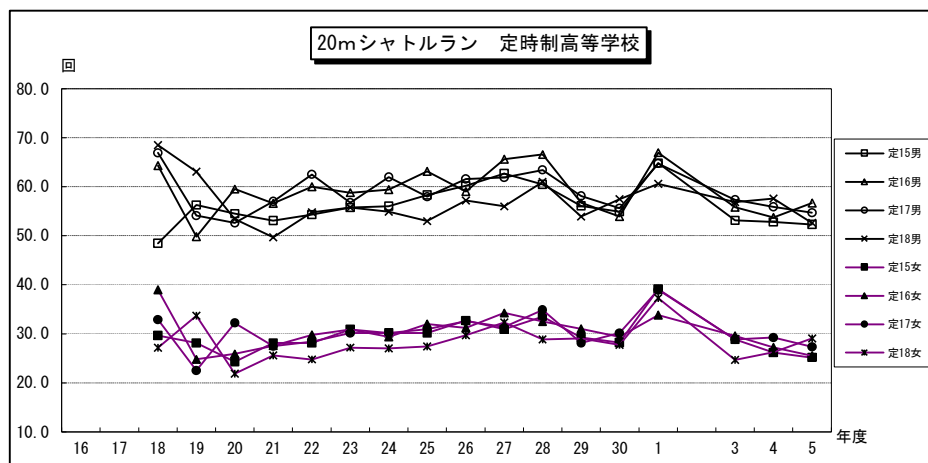
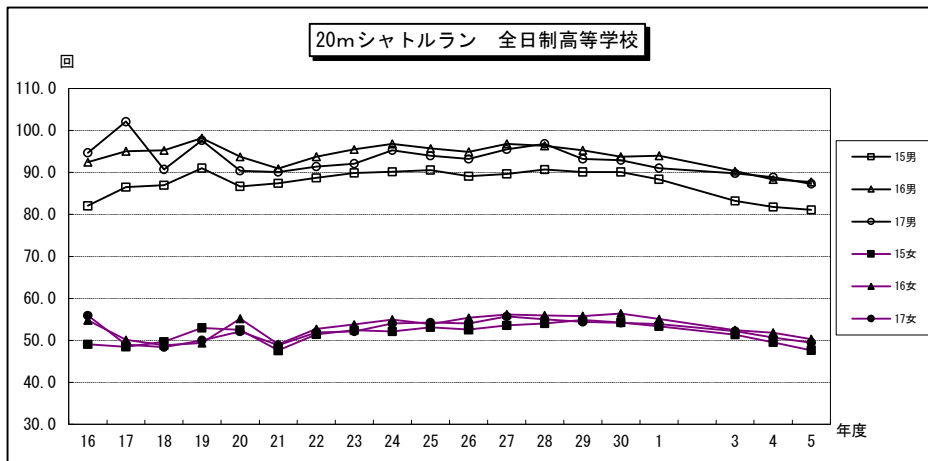
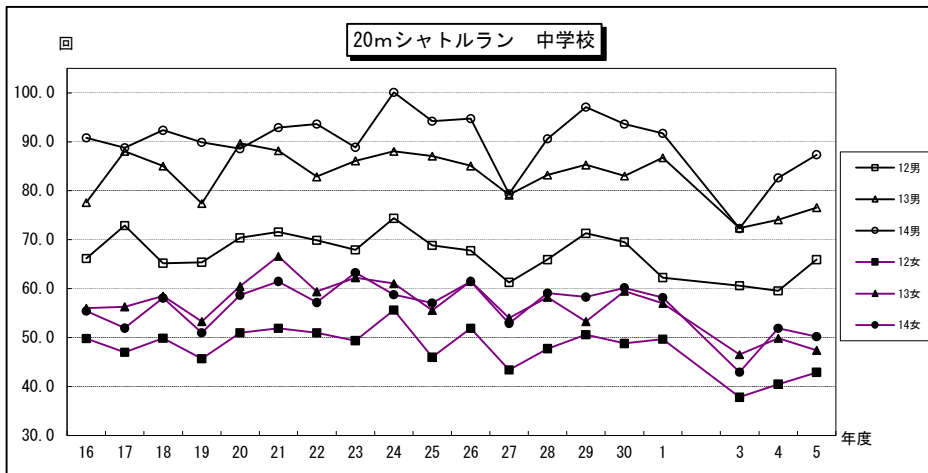
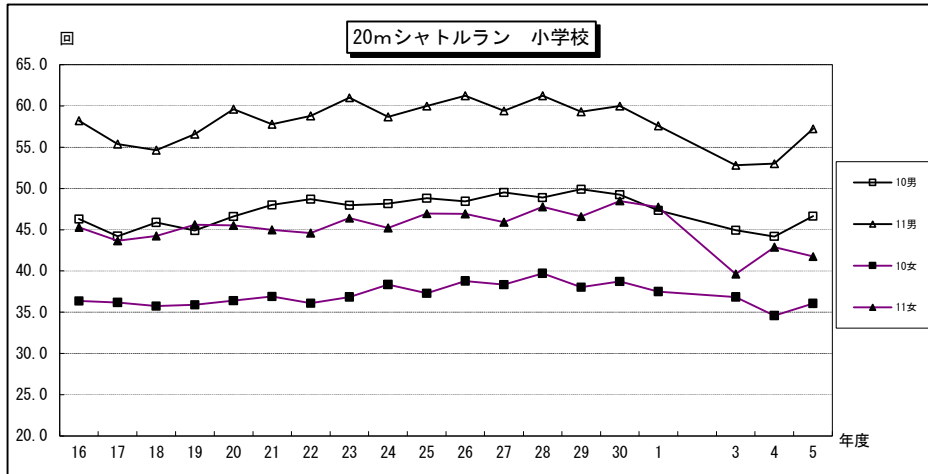
【長座体前屈】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



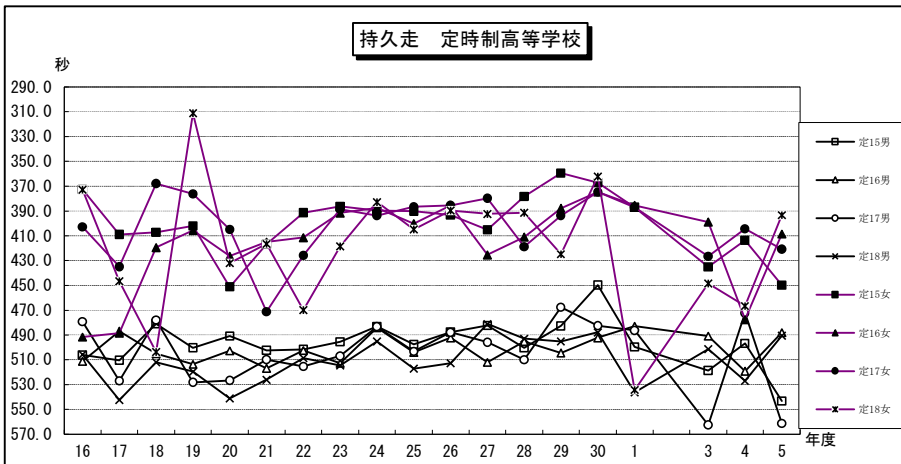
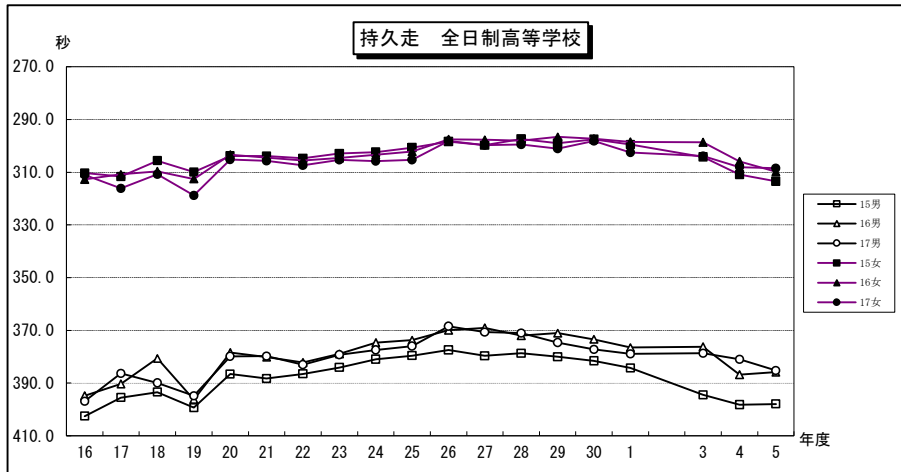
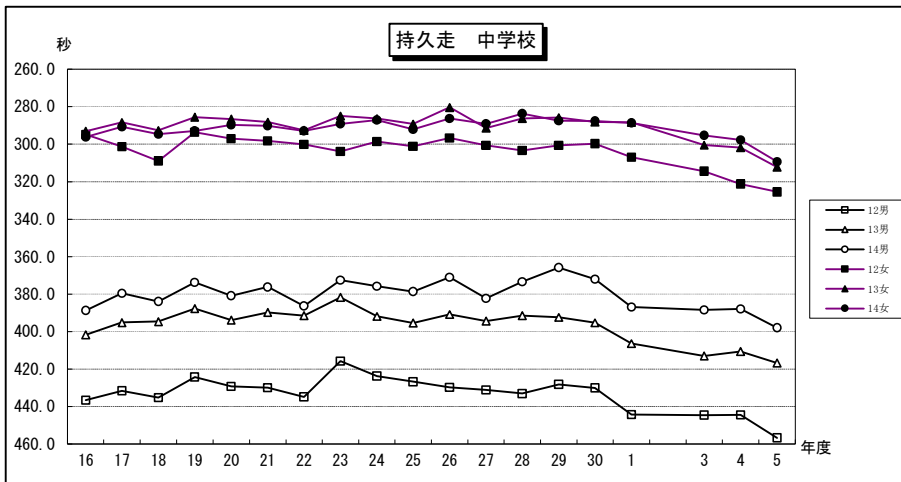
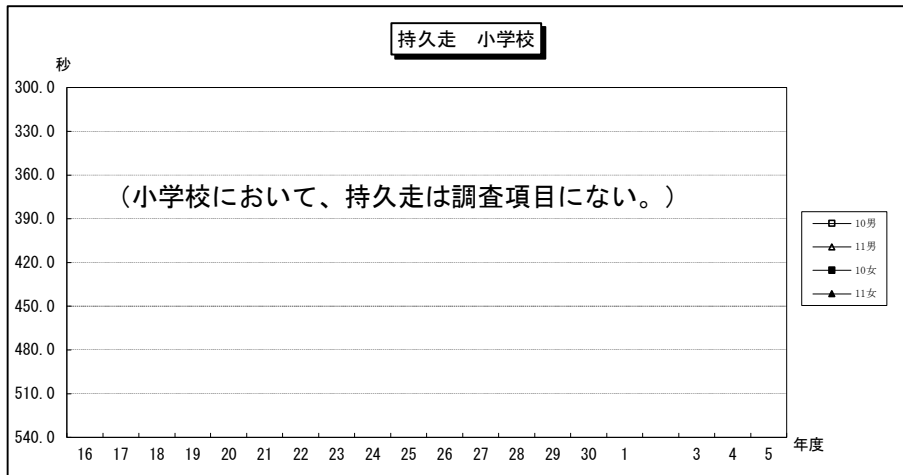
【反復横とび】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



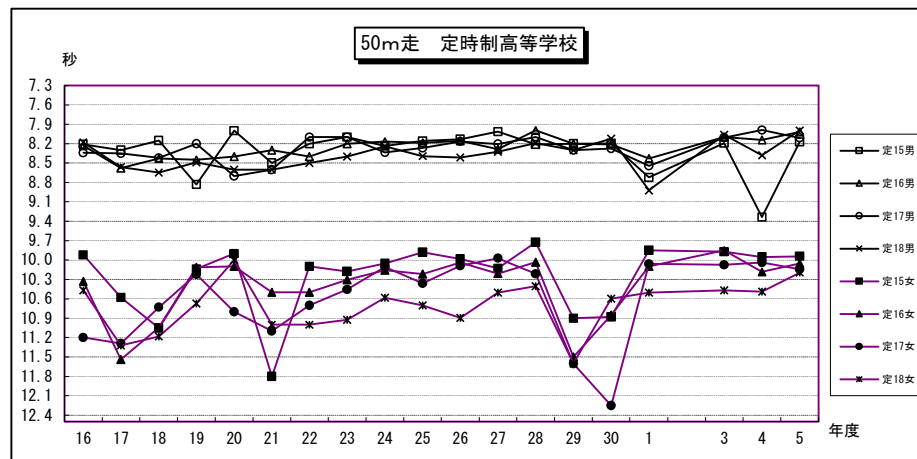
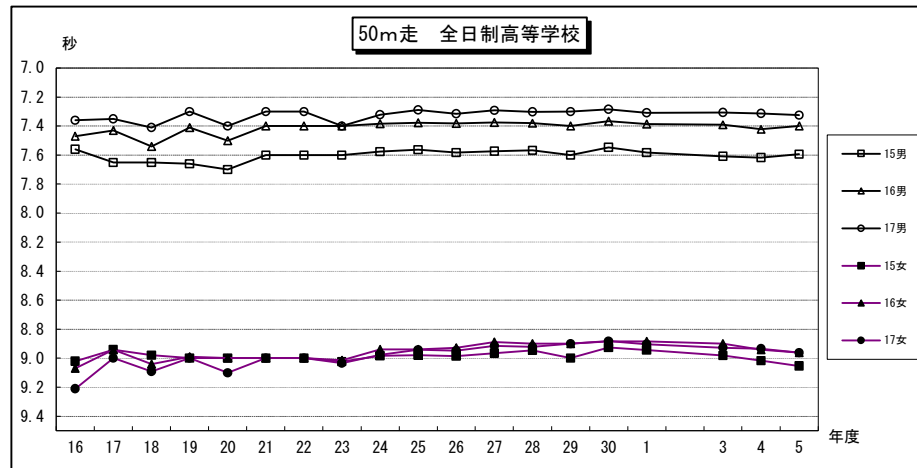
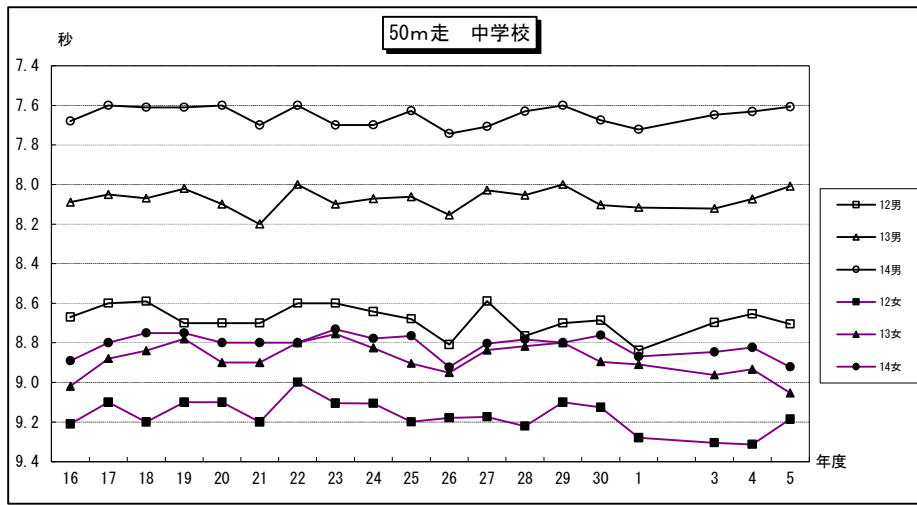
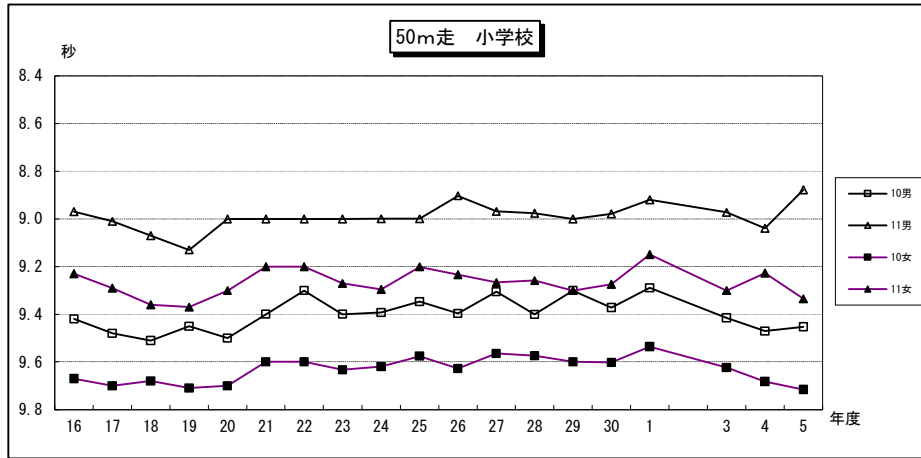
【20mシャトルラン】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



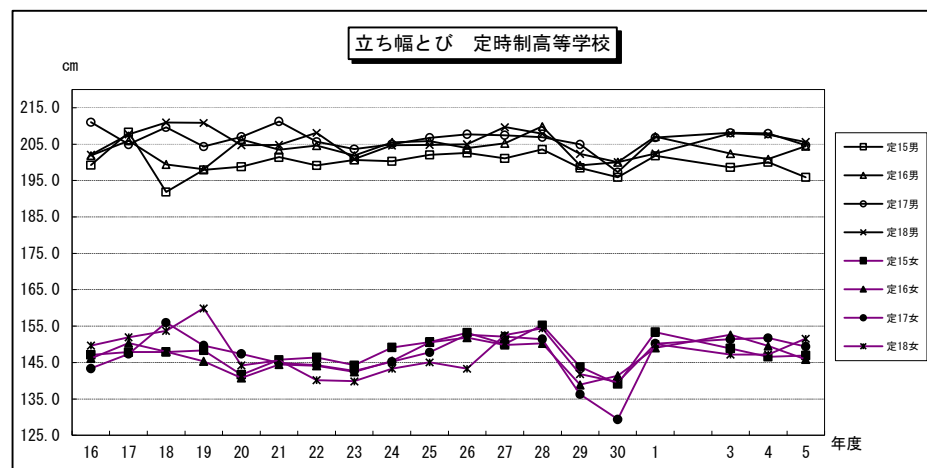
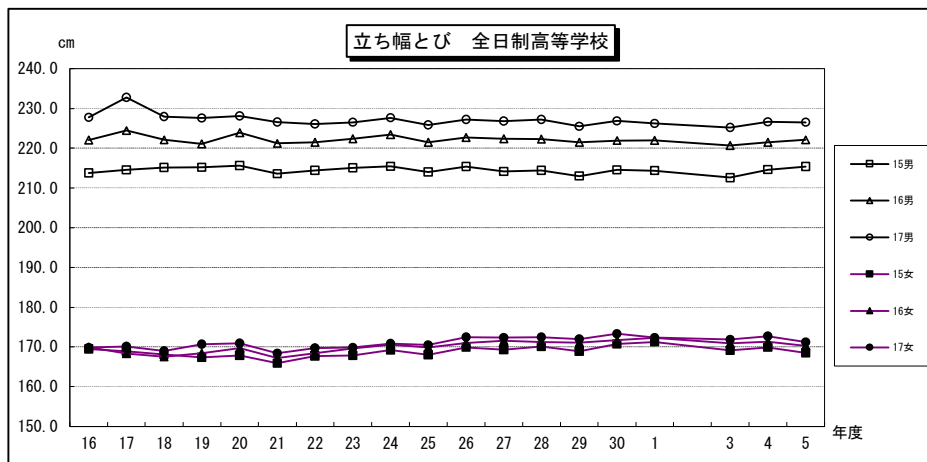
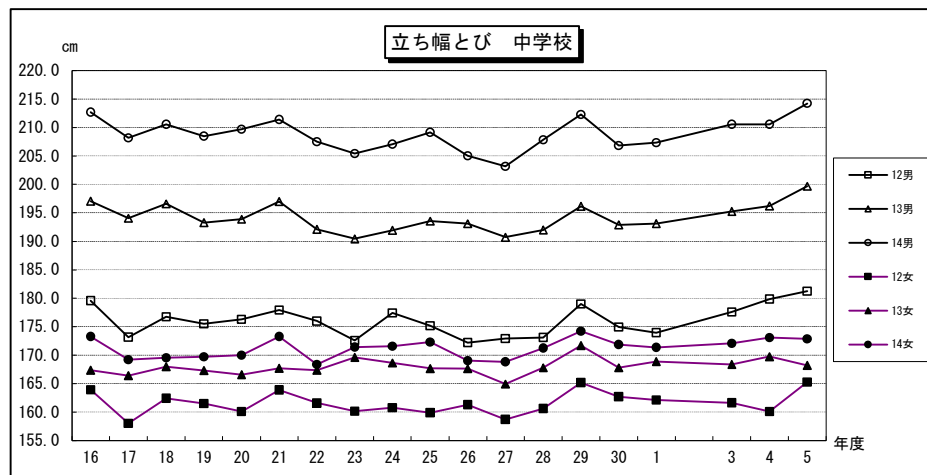
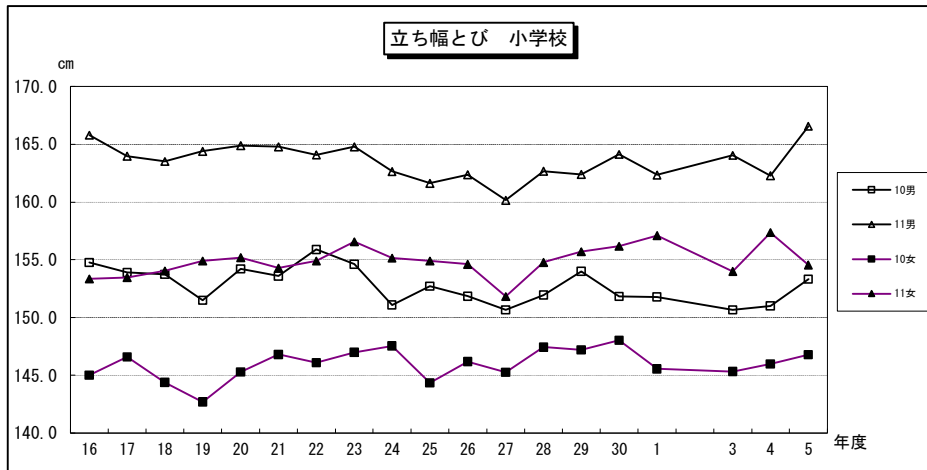
【持久走】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



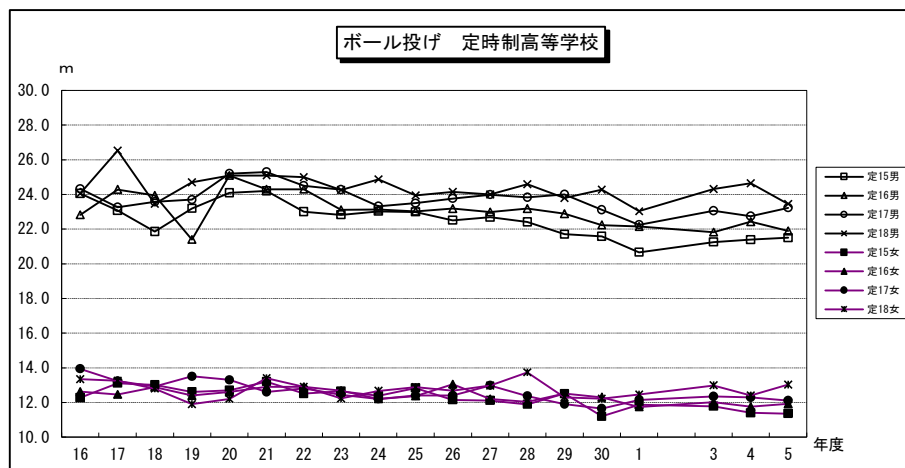
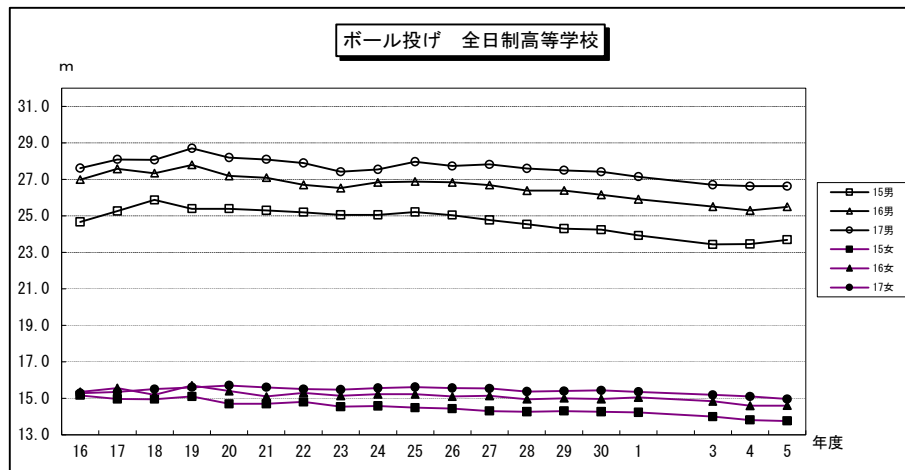
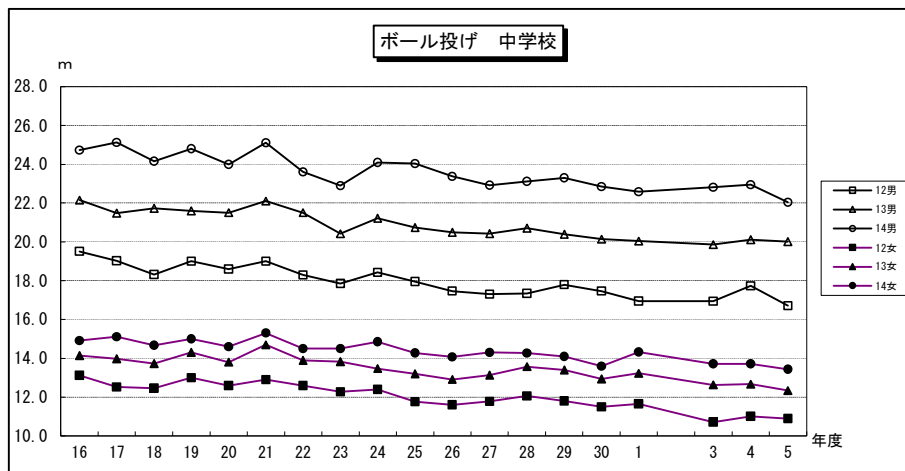
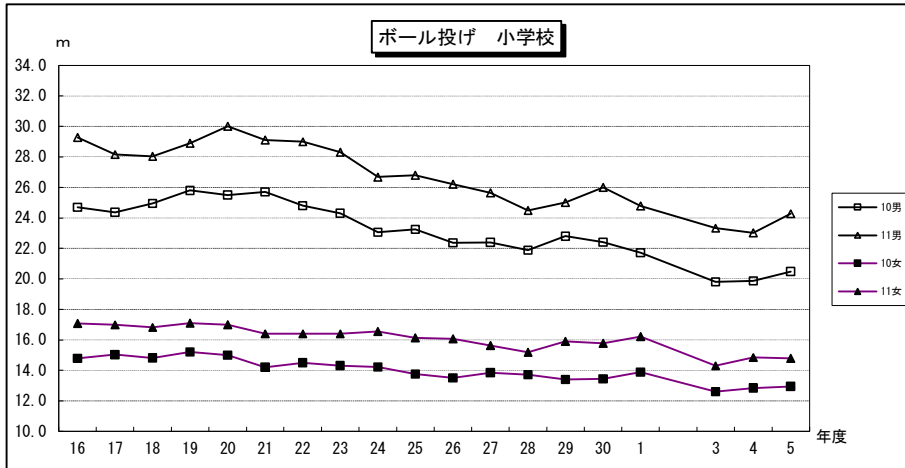
【50m走】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移



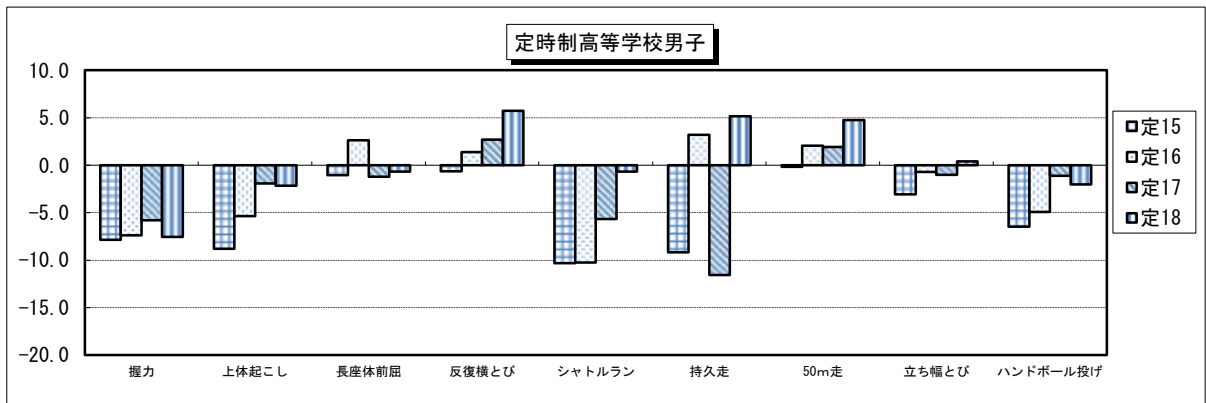
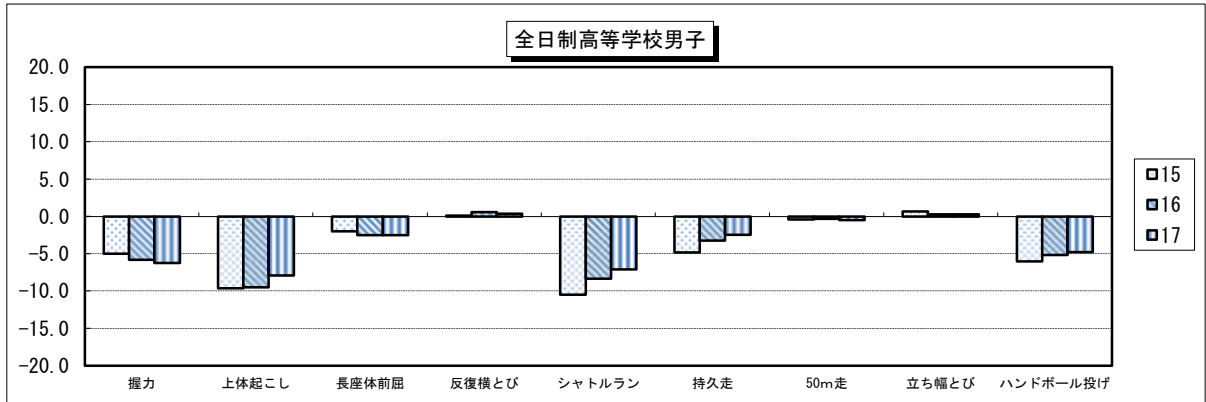
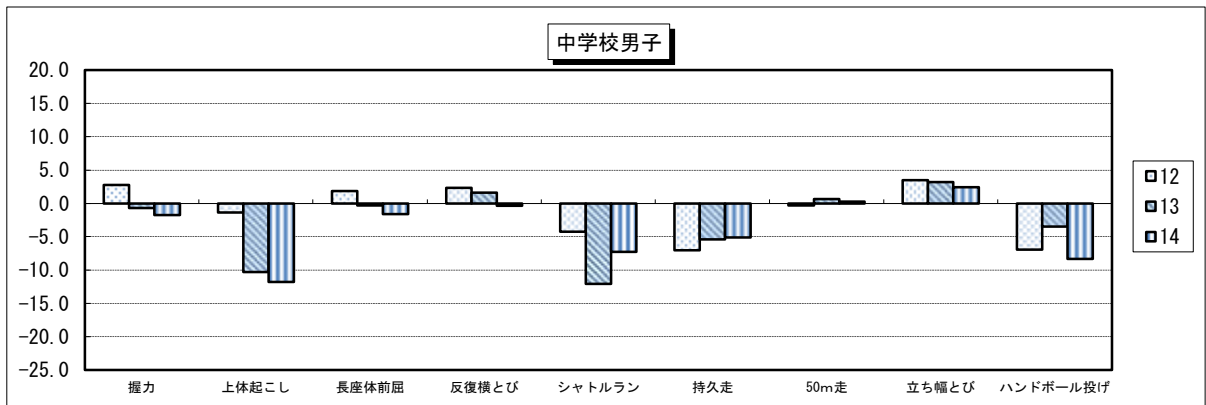
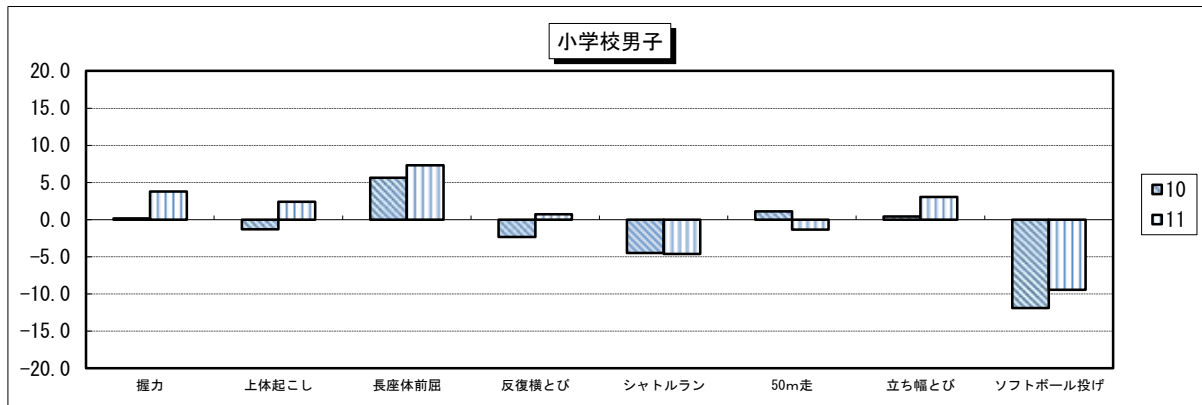
【立ち幅とび】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移

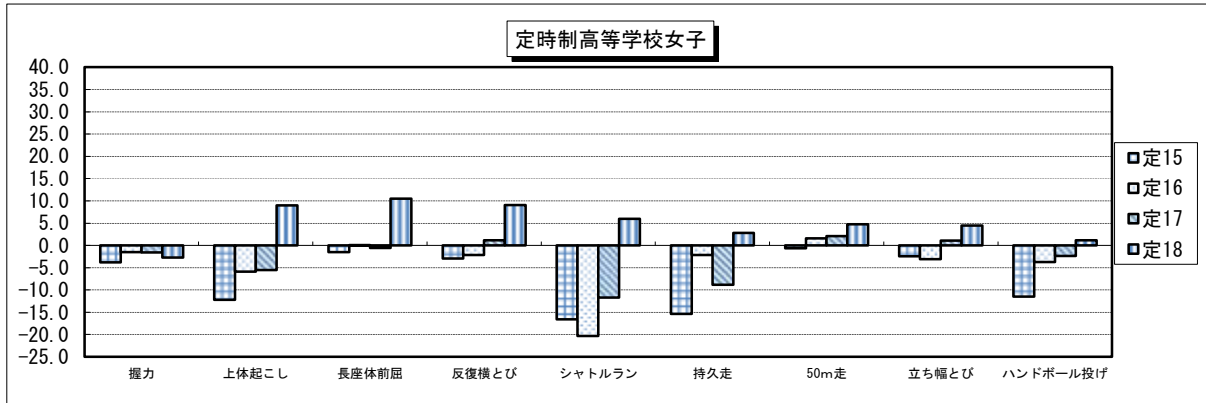
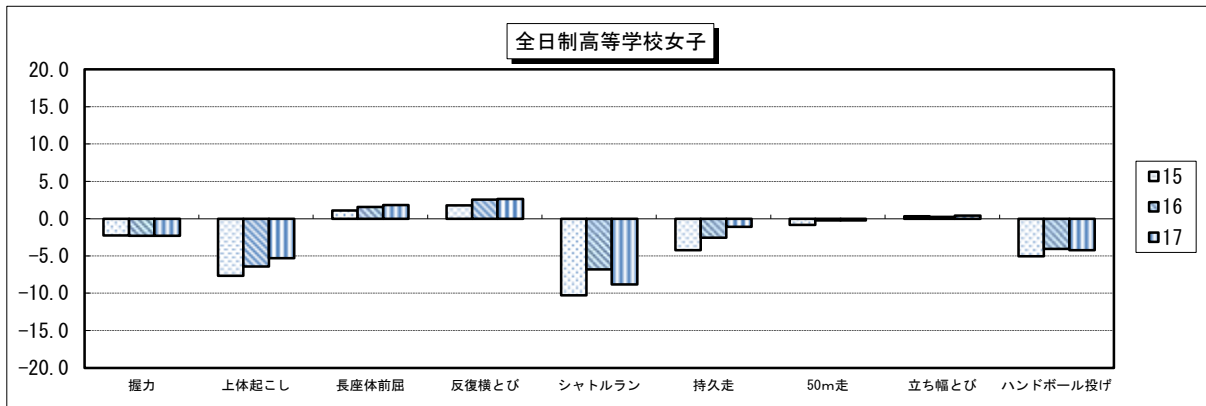
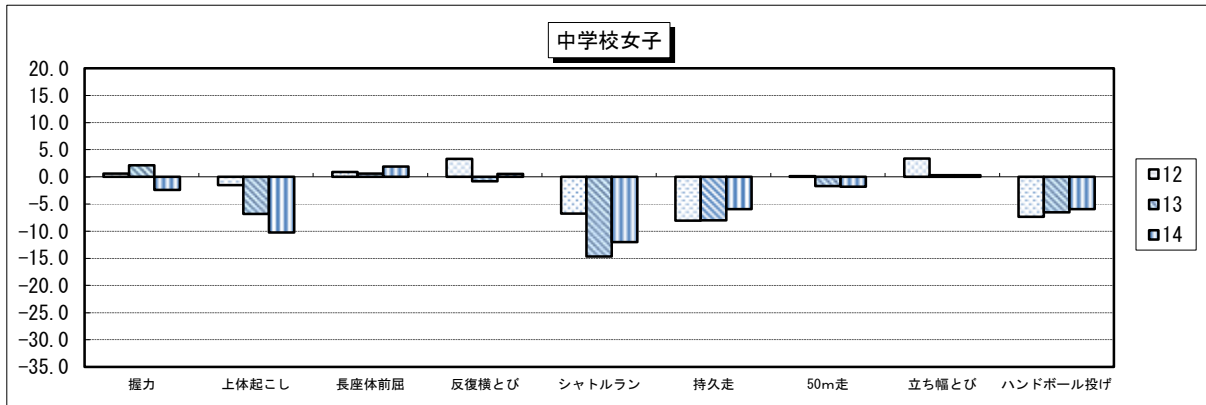
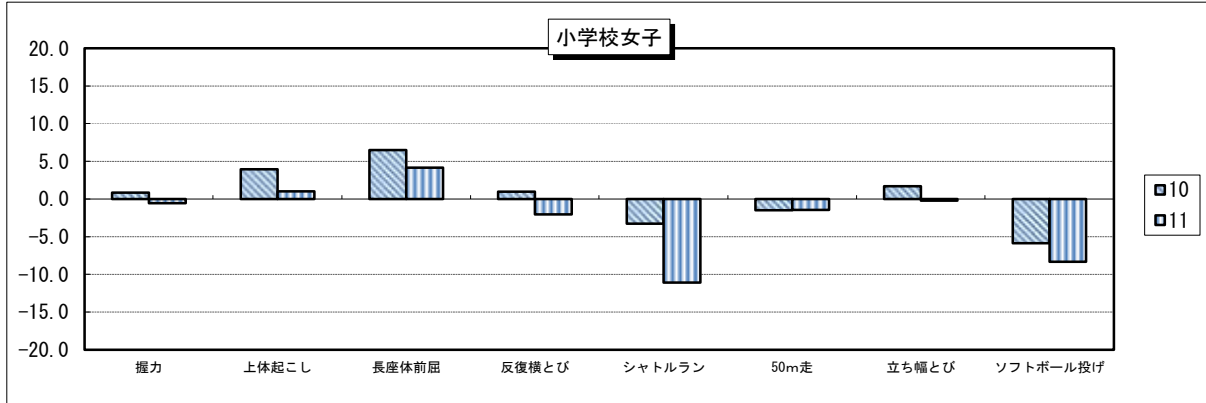


【ボール投げ】 平成16年度から令和5年度の県平均の推移
 (小…ソフトボール 中・高…ハンドボール)



4 10年前との比較(平成25年度県平均を100としたときの指数【令和5年度県平均との差】)





5 令和5年度本県と令和4年度全国との合計点平均値比較

	男子							女子					
	本県(R 5)			国(R 4)				本県(R 5)			国(R 4)		
	区分	標本数	得点平均	標準偏差	標本数	得点平均	標準偏差	標本数	得点平均	標準偏差	標本数	得点平均	標準偏差
小学校	10	720	52.77	9.83	959	55.36	8.43	723	54.18	9.58	939	55.65	8.05
	11	723	60.24	10.08	952	60.26	8.81	718	59.58	9.28	948	60.23	8.44
中学校	12	729	32.21	9.46	1,174	35.47	8.87	702	41.77	10.82	1,081	44.62	10.11
	13	713	40.57	10.23	1,107	44.11	9.73	733	46.07	11.83	1,161	51.04	10.90
	14	707	46.82	10.78	1,195	50.55	10.31	706	50.06	12.14	1,127	53.39	10.69
高等学校(全日制)	15	17,841	49.15	10.61	1,072	49.32	10.32	16,452	49.76	11.05	1,009	49.97	10.38
	16	17,123	53.53	11.07	1,058	53.76	10.71	15,823	52.37	11.55	1,063	53.06	11.43
	17	16,536	55.71	11.14	1,084	56.51	10.75	15,288	53.29	11.66	1,032	53.21	11.07
高等学校(定時制)	15	571	38.04	11.30	136	43.07	10.35	418	34.47	10.94	131	40.47	9.84
	16	460	40.77	11.23	135	42.51	9.49	301	35.81	11.37	119	42.55	10.13
	17	377	41.23	11.19	141	43.65	10.23	246	36.83	11.13	121	42.31	9.65
	18	318	42.08	11.28	123	40.80	9.59	145	40.41	11.56	96	39.88	9.59

6 結果のまとめ

(1) 本県（令和4年度）との差の検証

小学校 10 歳では、男女の「上体起こし」、男子「20m シャトルラン」において、昨年度の平均値を有意に上回ったが、女子「握力」が有意に下回った。多くの項目の平均値は、昨年度よりも向上しているが、男女「握力」、女子の「50m 走」は、昨年度を下回る結果となった。小学校 11 歳男子は、全項目で昨年度の平均値を上回り、「握力」以外の項目は有意に上回った。女子は、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」の3項目の平均値が昨年度を上回ったが、「握力」「50m 走」は有意に下回る結果となった。

中学校 12 歳では、男子「20m シャトルラン」と女子の「50m 走」「立ち幅とび」において、昨年度の平均値を有意に上回ったが、男子の「握力」「持久走」「ボール投げ」の3項目は有意に下回った。中学校 13 歳では、男子「立ち幅とび」、女子「握力」において昨年度の平均値を有意に上回ったが、男子「上体起こし」、女子の「長座体前屈」「反復横とび」「持久走」「50m 走」において、昨年度の平均値を有意に下回った。中学校 14 歳では、男子の「20m シャトルラン」「立ち幅とび」、女子「長座体前屈」において、昨年度の平均値を有意に上回ったが、男女の「上体起こし」「反復横とび」「持久走」、男子「長座体前屈」、女子「50m 走」においては、昨年度を有意に下回る結果となった。

高等学校（全日制）では全年齢において、男子「長座体前屈」が昨年度の平均値を有意に上回り、女子の「上体起こし」「反復横とび」「20m シャトルラン」「立ち幅とび」の4項目が、有意に下回る結果となった。

高等学校（定時制）では、16 歳の男女「持久走」、男子「長座体前屈」、18 歳女子の「上体起こし」「反復横とび」「持久走」が昨年度の平均値を有意に上回った。15 歳の男女「上体起こし」、男子の「持久走」「立ち幅とび」、女子「反復横とび」、17 歳男子「持久走」、18 歳男子の「握力」「20m シャトルラン」が昨年度の平均値を有意に下回る結果となった。

(2) 全国（令和4年度）との差の検証

小学校では、「長座体前屈」が昨年度と比較し、有意に上回る年齢が見られるものの、中学校の全年齢において、男子は「反復横跳び」「20m シャトルラン」以外の全項目、女子は「20m シャトルラン」「持久走」「50m 走」「ボール投げ」で有意に下回る結果となった。

高等学校（全日制）では、「長座体前屈」が男女とも全年齢で昨年度を有意に上回る一方で、「50m 走」「立ち幅とび」は男女とも全年齢で昨年度を有意に下回る結果となった。

高等学校（定時制）では、男子 17 歳、18 歳の「ボール投げ」、女子 18 歳の「反復横とび」「20m シャトルラン」「ボール投げ」が昨年度と比較し、有意に上回る一方で、男女の「50m 走」は全年齢で昨年度の平均値を有意に下回る結果となった。

(3) 平成 16 年度～令和 5 年度の県平均推移

「反復横とび」については、平成 16 年度から、年度によって多少の上下動はあるものの、上昇傾向にある。「握力」「20m シャトルラン」「ボール投げ」は全校種にわたり低下傾向を示しており、特に「握力」と「20m シャトルラン」は高等学校（全日制）男子、「ボール投げ」は小学校男子で平成 16 年度からの低下の度合いが大きい。「長座体前屈」「上体起こし」「持久走」「50m 走」「立ち幅とび」については、年度によって多少の上下動はあるものの、全体としては、ほぼ横ばいで推移している。

(4) 本県 10 年前（平成 25 年度）との比較

10 年前と比較すると、全校種で「立ち幅とび」の記録が向上した。また、多くの校種の男女「長座体前屈」、高等学校（全日制）男女「反復横とび」で上昇傾向が見られた。一方で、小学校から高等学校まで、全ての校種で「20m シャトルラン」「持久走」「ボール投げ」の記録が低下している。特に全校種の男子「ボール投げ」、中学校男女「持久走」、高等学校（全日制）男女「20m シャトルラン」が大きな低下傾向を示している。

(5) 今後に向けて

小学校では、体力テスト結果の多くが昨年度の県平均を上回ったが、中学校、高等学校では下回る結果が多く、コロナ影響前の令和元年度調査の水準まで回復に至っていない。まずは、コロナ影響前の体力水準にまで回復させるとともに、学校においては、体育科・保健体育科の授業の改善・充実をさらに推進し、児童生徒の運動・スポーツに対する興味・関心や意欲を高め、運動に親しむ機会を増やす取組を充実させるなど、家庭や地域と連携・協力を図りながら、スポーツを通じて、運動好きな児童生徒の育成や健康の保持増進を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るための基礎を培うことが重要であるとする。

※資料

1 本県令和5年度と本県令和4年度の平均値比較

○…前年度を上回る ▼…前年度を下回る 塗りつぶしは5%水準で有意差あり

	男 子									女 子											
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20メートルラン	シャトルラン	持久走	50メートル走	立ち幅とび	ボール投げ	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20メートルラン	シャトルラン	持久走	50メートル走	立ち幅とび	ボール投げ	
小学校	6							○	○	○									▽	○	○
	7							▽	▽	▽									▽	○	○
	8							○	○	○									○	▽	○
	9			▽	○			▽	▽	○			▽	○					▽	▽	○
	10	▽	○	○	○	○		○	○	○	▽	○	○	○	○				▽	○	○
	11	○	○	○	○	○		○	○	○	▽	○	○	○	▽				▽	▽	▽
中学校	12	▽	▽	▽	○	○	▽	▽	○	▽	○	○	▽	○	○	▽	○	○	○	○	▽
	13	▽	▽	▽	○	○	▽	○	○	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	14	▽	▽	▽	▽	○	▽	○	○	▽	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
高等学校 (全日制)	15	○	○	○	○	▽	○	○	○	○	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	16	▽	○	○	○	▽	○	○	○	○	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○
	17	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
高等学校 (定時制)	15	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	○	▽	
	16	▽	▽	○	○	○	○	○	▽	○	▽	○	○	▽	○	○	○	○	▽	○	
	17	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	
	18	▽	▽	▽	○	▽	○	○	▽	▽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 本県令和5年度と全国令和4年度の平均値比較

○…全国を上回る ▼…全国を下回る 塗りつぶしは5%水準で有意差あり

小学校	6							▽	▽	▽									▽	▽	▽
	7							▽	▽	▽									▽	▽	▽
	8							▽	▽	▽									▽	▽	▽
	9			▽	▽			▽	▽	▽			▽	▽					▽	▽	▽
	10	▽	▽	○	▽	▽		▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽				▽	▽	▽
	11	○	○	○	▽	▽		○	○	▽	▽	○	○	▽	▽				▽	▽	▽
中学校	12	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	13	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	14	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
高等学校 (全日制)	15	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○
	16	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	○	▽	○	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○
	17	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	○	▽	○	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○
高等学校 (定時制)	15	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	16	▽	▽	○	○	○	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	17	▽	▽	○	○	○	▽	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○
	18	○	▽	○	○	○	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	○	○	○	○	○	▽	○	○

※ 全国のデータは令和4年度分(令和4年10月 スポーツ庁発表)

Ⅱ 特別支援学校児童生徒の体力テスト 調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の実施期間

令和5年5月～7月

(2) 調査の方法・内容・項目

ア 県立31校（校舎含む）、豊橋市立1校、瀬戸市立1校、刈谷市立1校、豊田市立1校、計35校の特別支援学校から提出された児童生徒の新体力テスト集計報告書を各部別・学年別に集計した。ただし、小学部については5年・6年のみ集計した。平均値は、各校実施者数に各校平均値を乗じた数を合計し、これを総実施者数で除して算出した。

イ 調査項目

(ア) 盲学校

a 小学部5年・6年

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | |
| ⑧ ソフトボール投げ | | | |

b 中学部・高等部

- | | | | |
|-------------|-------------------------|------------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | 又は 持久走（男子1500m・女子1000m） | | |
| ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | ⑧ ハンドボール投げ | |

(イ) 聾学校

a 小学部5年・6年

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | |
| ⑧ ソフトボール投げ | | | |

b 中学部・高等部・専攻科

- | | | | |
|-------------|-------------------------|------------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | 又は 持久走（男子1500m・女子1000m） | | |
| ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | ⑧ ハンドボール投げ | |

(ウ) 知的障害特別支援学校

a 小学部 5年・6年

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20mシャトルラン ⑥ 50m走 ⑦ 立ち幅とび
⑧ ソフトボール投げ

b 中学部・高等部

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20mシャトルラン 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m）
⑥ 50m走 ⑦ 立ち幅とび ⑧ ハンドボール投げ

(エ) 病弱特別支援学校

a 小学部 5年・6年

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20mシャトルラン ⑥ 50m走 ⑦ 立ち幅とび
⑧ ソフトボール投げ

b 中学部・高等部

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20mシャトルラン 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m）
⑥ 50m走 ⑦ 立ち幅とび ⑧ ハンドボール投げ

(オ) 肢体不自由特別支援学校

小学部 5年・6年・中学部・高等部

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 5分間走 ⑥ 30m走 ⑦ ソフトボール投げ ⑧ スラローム

(3) 集計結果の見方

盲学校・聾学校・知的障害特別支援学校・病弱特別支援学校については、各学年男女別で在籍者合計、実施者合計及び各項目の平均値を記載した。

肢体不自由特別支援学校については、小学部 5年・6年・中学部・高等部それぞれ全体で在籍者合計、実施者合計及び各項目の平均値を記載した。

単位については、在籍者・実施者…人、握力…kg、上体起こし…回、長座体前屈…回、反復横とび…回、20mシャトルラン…回、持久走…秒、50m走…秒、立ち幅とび…cm、ボール投げ…m、5分間走…m、30m走…秒である。

2 集計の結果

小学部 5年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	11.3	7.3	28.2	20.5	11.3	—	23.1	72.5	4.8
聾	12	12	15.4	14.9	31.8	32.0	23.0	—	11.1	131.6	15.6
知的障害	167	73	7.5	5.8	19.0	12.0	—	420.0	23.5	65.2	2.9
病弱	1	1	9.0	6.0	27.0	23.0	15.0	—	13.6	112.0	7.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	1	1	6.0	10.0	24.0	18.0	8.0	—	42.8	55.0	5.0
聾	9	8	14.0	16.5	31.1	31.2	14.4	—	12.9	114.0	11.2
知的障害	77	39	8.6	6.3	20.6	8.9	—	360.0	22.1	56.7	3.0
病弱	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

小学部 6年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	2	2	15.0	9.5	27.0	29.5	21.0	—	12.5	103.5	12.0
聾	6	6	14.7	17.8	40.9	33.2	35.3	—	15.2	129.0	18.5
知的障害	169	79	8.8	8.1	28.1	14.8	—	420.0	24.3	66.2	4.4
病弱	3	0	10.0	—	—	—	—	—	—	—	6.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	3	15.3	21.7	26.3	44.0	23.0	—	11.5	123.3	9.7
聾	7	7	16.7	16.0	38.9	35.1	26.3	—	12.1	138.9	14.9
知的障害	58	39	9.0	6.8	26.8	13.7	—	420.0	22.1	62.2	4.0
病弱	1	0	7.0	—	—	—	—	—	—	—	5.0

小学部 5・6年男女

学校種別		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	5分間走	30m走	ソフトボール 投げ	スラローム
肢体不自由	平均値	6.5	5.4	33.4	9.2	236.7	44.7	2.5	—
	実施者数	37	13	28	26	22	28	23	0
	在籍者数	125							

中学部 1年
男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	3	3	16.0	10.0	31.0	25.0	14.0	—	13.7	92.0	6.0
聾	18	15	21.1	19.8	30.0	36.6	—	721.2	12.6	150.2	12.1
知的障害	200	133	11.0	10.1	32.0	19.8	6.6	916.5	19.3	84.7	5.9
病弱	1	0	10.0	—	—	14.0	—	1081	35.2	60	4.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	1	1	7.0	5.0	18.0	6.0	3.0	—	26.9	45.0	1.0
聾	14	10	18.5	13.7	37.3	34.5	—	725.5	14.8	130.9	9.1
知的障害	77	42	10.2	8.0	32.1	19.3	11.2	696.4	19.1	72.7	4.8
病弱	1	0	17.0	—	32.0	21.0	—	889.0	17.9	66.0	3.0

中学部 2年
男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	21.5	20.5	42.0	41.8	33.3	—	9.7	143.8	8.0
聾	13	10	26.5	22.8	40.1	42.5	—	535.3	10.2	162.2	13.7
知的障害	189	151	13.5	10.1	29.5	21.3	13.7	830.9	18.8	93.2	7.3
病弱	2	1	30.0	24.0	57.0	59.0	—	1229.0	8.8	225.0	28.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	3	20.0	11.7	43.0	25.7	25.0	—	13.6	93.7	4.3
聾	11	10	18.1	17.0	40.8	35.7	—	515.3	9.9	135.5	8.9
知的障害	96	70	10.6	7.4	33.1	17.1	3.3	657.1	23.9	77.9	5.0
病弱	4	1	15.0	18.0	32.0	40.0	—	626.0	9.6	160.0	5.0

中学部 3年
男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	24.8	19.5	42.3	35.5	30.3	—	12.3	151.3	9.5
聾	14	12	23.3	19.0	36.8	38.8	—	729.9	9.8	148.3	12.3
知的障害	191	143	15.8	11.6	31.2	22.7	7.5	854.6	17.1	99.6	7.3
病弱	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	3	14.0	13.0	46.0	24.3	38.0	—	18.4	83.3	4.7
聾	18	17	22.1	17.8	41.0	41.0	—	485.2	9.6	143.1	10.7
知的障害	69	48	13.3	9.5	32.7	22.4	10.0	582.9	17.5	88.1	6.1
病弱	1	0	17.0	—	—	—	—	—	—	—	4.0

中学部男女

学校種別		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	5分間走	30m走	ソフトボール 投げ	スローム
肢体不自由	平均値	12.1	11.4	33.0	11.9	311.6	36.0	4.0	38.0
	実施者数	96	42	65	85	92	86	91	11
	在籍者数	253							

高等部 1 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
盲	8	6	22.8	25.3	39.7	34.3	26.0	—	17.1	118.8	9.7
聾	18	17	29.5	21.9	40.8	45.8	—	540.2	8.8	193.7	15.9
知的障害	515	411	25.2	17.0	32.5	33.9	23.9	556.1	10.8	146.4	13.8
病弱	1	0	24.0	—	29.0	33.0	—	—	—	50.0	12.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
盲	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
聾	13	11	23.0	19.1	45.9	41.7	—	458.8	10.1	155.7	11.1
知的障害	235	187	17.0	12.0	33.2	28.5	16.4	462.6	14.4	108.8	8.3
病弱	1	0	8.0	—	38.0	—	—	—	32.6	40.0	4.0

高等部 2 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
盲	4	4	23.0	22.0	46.0	35.0	32.0	—	24.0	125.0	13.0
聾	17	17	31.9	21.6	39.9	52.4	—	520.7	8.0	198.1	18.1
知的障害	493	369	26.0	18.2	34.7	35.0	27.7	593.7	12.4	147.6	13.5
病弱	3	0	26.0	13.0	40.0	34.0	—	—	14.8	153.0	12.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
盲	3	2	17.5	19.0	41.5	28.5	26.0	—	13.6	110.5	6.0
聾	11	9	22.1	19.6	39.7	43.4	—	489.7	12.3	147.7	12.6
知的障害	228	173	18.6	12.7	35.8	29.3	12.5	462.4	14.2	114.5	8.2
病弱	2	0	13.0	6.0	16.0	35.0	—	675.0	16.3	—	5.0

高等部 3 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
盲	6	6	35.2	27.7	41.0	46.3	38.3	—	8.8	171.3	15.8
聾	9	5	30.7	32.7	55.8	60.0	—	381.2	7.2	228.7	22.9
知的障害	484	355	26.8	19.1	36.8	38.0	45.7	558.5	10.6	161.1	15.0
病弱	2	0	23.0	11.0	29.0	33.0	—	703.0	10.8	—	7.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
盲	2	2	19.0	20.5	44.0	33.0	22.5	—	10.5	132.5	5.0
聾	13	11	26.1	23.2	50.2	47.8	—	380.8	8.7	174.3	15.0
知的障害	225	156	17.7	13.9	36.7	30.1	22.5	510.2	13.8	111.6	10.1
病弱	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

高等部男女

学校種別		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	5分間走	30m走	ソフトボール投げ	スラローム
肢体不自由	平均値	16.2	15.0	35.6	13.9	364.3	29.7	5.8	49.4
	実施者数	146	54	97	123	90	119	135	20
	在籍者数	321							

専攻科 1 年**男子**

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	7	7	36.7	27.0	41.0	50.6	—	455.3	7.8	187.9	20.4

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	1	1	27.0	32.0	50.0	51.0	—	294.0	8.7	180.0	11.0

専攻科 2 年**男子**

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	8	8	40.6	30.4	52.4	57.8	—	373.6	7.1	220.6	28.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	3	3	26.0	26.3	41.3	55.3	—	310.0	9.0	175.0	17.0

専攻科男女

学校種別	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	19	36.1	28.6	46.3	54.4	—	389.5	7.7	199.2	22.6

Ⅲ 体力づくり優良校実践報告

『運動大好き 御器所の子』の育成

－夢中にやっていたらできちゃった－

名古屋市立御器所小学校

1 はじめに

本校では、休み時間には多くの子供たちが元気よく運動場で遊んでいる。しかし、遊びの内容は「ドッジボール」「鬼ごっこ」「コンビネーション遊具を使つての遊び」と限られた遊び方（運動）であった。そんな子供たちが、様々な運動に出会い、体を動かす機会をさらに増やしていくことにより体力づくりを進めることができると考えた。今後、本実践が子供たちの心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現していけるようになると期待している。

本実践では、多様な遊び方を子供たちに提案し、運動の機会を増やし、様々な体の動かし方を身に付けながら、実践テーマに迫ることにより、体力向上につなげていきたい。

2 実践の内容

(1) 実践のねらい

以前は、様々な運動への出会いが遊びの中にあつた。「できるようになりたい」「負けたくない」という気持ちから「夢中になってやっているうちに」「上手にできるようになっていた」など、気が付いたら体の動かし方を身に付けていたという子供たちばかりであつたような気がする。子供たちの運動時間が少なくなった近年は、体育の授業が重要な役割をもつと考える。そのため、体育の授業を中心に運動の経験を豊かにし、その経験を生かして体を動かすことが夢中になってできるような場や機会を提供することにより、さらに運動好きな子供を育成していく。

また、限られた時間の中で、過度に「できること」を求めず、学習指導要領解説などに例示された運動について未習・未経験になることなく授業を進める。そしてその経験を生かし、休み時間、下校後や休日等における家庭で過ごす時間にも、運動を継続したり、考えたりして「できること」を増やしていけるように体育の授業を位置付ける。

(2) 具体的な実践例

ア タブレットを活用した高学年の体育授業

マット運動、走り高跳び、ハードル走において、タブレットの動画機能を活用して自分の動きの修正点を見つける活動を取り入れた。手本となる動画やイラストなどを教師から発信し、必要に応じて各自で見たり、グループで話し合いながら見たりして練習に取り組んだ。手本と自分の動きを容易に見比べることができ、何に取り組むべきかを確認することができた。試技後、すぐに動画で確認できるため、試行錯誤しながら、よりよい動きを身に付けていく様子が見られた。



[仲間の動きをタブレットで撮影]

【写真1 マット運動】



【写真2 走り高跳び】



【写真3 走り高跳び】



【写真4 走り高跳び】

このようにタブレットを活用し、動きの修正点を見つけたことで、子供たちは技能を高めるポイントに気づくことができた。今後も、「タブレットは必ず必要である」という考えに陥らず、「いつ、どこで、どのように」活用するかをはっきりさせた上で活用していきたい。

イ 休み時間の運動場における遊び方（運動）の見直し

休み時間に限られた遊び方（運動）をしていた子供たちに、多様な遊びを提案し、運動をするの機会を増やすことができるようにした。

体育委員会の役割として、体育授業で使用する以下の器具・用具の貸し出しを、2時間目終了後の15分間の休み時間に行った。

・「なわとび練習台」 ・「短なわ」 ・「一輪車」 ・「竹馬」 ・「フープ」

なわとびについては、冬に取り組むイメージがあるが、「なわとび練習台」や「短なわ」の貸し出しにより、いつでもなわとびに取り組む姿が見られるようになった。低学年でも二重跳びを何回も跳ぶことができるようになり、自信を付け、毎日のように友達と誘い合ってなわとびをする子供も見られた。「一輪車」や「竹馬」については、体育の授業だけでなく、日常的に練習することができるようになったことにより少しずつ上達する子供が増えていった。



【写真5 なわとび練習台】

これらのことにより、遊びが多様化し、運動好きが増えていく手応えが感じられ、今まで以上に子供たちが自分に合った様々な運動遊びに興じる様子が見られるようになった。

保護者に向けては、各種たよりで子供たちの様子を掲載して、家庭においても運動遊びを推奨・体力の向上・健康の啓発活動を行っている。



【写真6 一輪車・フラフープ】

3 おわりに

今後も、体育の授業を充実させることに重点を置き、豊かな運動経験の場も確保していきたい。また、休み時間や家庭で過ごす時間にも、運動を継続したり、上達するための方法を考えたりする中で、できることを増やし、子供たちが楽しみながら体力向上していくように工夫していきたい。

いつもより高く、長く、たくさんジャンプ！

名古屋市立前山小学校

1 はじめに

本校は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の一環として、体育の授業の中で短なわを使った運動を年間通して行っており、様々な技を紹介し、取り組ませている。また、休み時間には、短なわを使った運動を楽しむ児童の姿も見られる。しかし、高度な技に挑戦するために、高く跳んだり、長く跳び続けたりするためのコツをつかむことができず、短なわを使った運動への意欲が高まらない児童もいる。

そこで、「いつもより高く、長く、たくさんジャンプ」できる、短なわを使った運動に取り組める環境を整え、児童の意欲を向上させるとともに、短なわを使った運動の楽しさを味わわせることで、高度な技に粘り強く挑戦しようとする意欲も高めたい。そして、児童が自分自身で目標を立てて活動に取り組むようにしながら、一人一人の体力向上を図りたい。

2 実践の内容

(1) ジャンピングボードの導入

短なわを使った運動に対する意欲が継続しない児童にとって、ジャンピングボードは非常に有効であった。

ジャンピングボードの特性を上手に生かすことができれば、いつもより高く跳ぶことができるため、児童が自由に使えるように、中庭に常時設置をした。休み時間になると、児童が我先にと楽しく運動に取り組んでいた（写真1）。最初は高く跳ぶコツをなかなかつかめなかった児童も、何度も取り組むことで、膝を柔らかく使って高く跳ぶことができるようになっていった。そして、二重跳びにも挑戦し、できるようになった児童も何人か見られた。

ジャンピングボードの周りには、様々な学年の児童が集ったため、高学年児童が、低学年児童に跳ぶためのコツを教えたり、難しい技の手本を示したりするなど、異学年の交流が自然と出来上がっていった。低学年児童は、高学年児童のように難しい技にも挑戦したいという意欲が高まり、練習に励んでいた。高学年児童は、低学年児童に手本を示そうと、いつもより長く短なわを使った運動に取り組む姿が見られた。こうした異学年交流により思わぬ相乗効果が生まれた。

このように、必然的に短なわを使って遊ぶ時間は増え、どの休み時間でも、中庭や運動場では短なわを使った運動に取り組む児童が多数見られるようになった。ジャンピングボードで高く跳ぶコツをつかんだ児童は、難しい技にも積極的に挑戦しようとする姿も見られるようになった。



【写真1 いつもより高く跳べるぞ】

(2) 「体カアップフレンド」の来校

名古屋市教育委員会による「体カアップフレンド」派遣事業に応募し、体育授業や外遊びの補助をする学生が、11月より来校することとなった。

「体カアップフレンド」は、休み時間には、児童と鬼ごっこをしたり、長なわ跳びやボール遊びをしたりしていた。児童は、一緒に遊んでくれる大人が増えたことで、休み時間に外で運動する姿が多く見られるようになった。

授業の補助の際には、授業準備を担任と協力して行ったり、担任の指導の下、先に準備をしたりしていた。「体カアップフレンド」が準備をしている間、担任は児童の取組の様子を見て指導、支援をすることができた。また、「体カアップフレンド」が示範をすることで、児童に技のイメージをつかませたり、技のこつを見付けさせたりすることができた。さらに、「体カアップフレンド」は、運動が苦手な児童に声を掛けたり、一緒に運動に取り組んだりしているため、多くの児童が、楽しみながら運動に取り組むことができた（写真2）。



【写真2 体カアップフレンドと共に】

(3) 学級ごとに「なわとび検定」の実施

コロナ禍において、全校児童が集合することは難しかったため、各学級の体育の授業時間に、「なわとび検定」を実施した。それぞれの跳び方で級の基準を示し、児童がそれぞれの目標に向かって取り組めるようにした。「周りの友達と勝負をするのではなく、昔の自分と勝負しよう」を合言葉に、自分自身の記録を比べる基準として、目標を達成するためにどれくらい練習するとよいか、声を掛けながら行った（写真3）。



【写真3 昔の自分といざ勝負！】

検定当日は、自分が練習してきた成果を発揮できるよう、一人一人が全力を尽くしていた。

3 おわりに

今年度は、児童が「いつもより高く、長く、たくさんジャンプ」できるような仕組みづくりを、学校・教師主導で行ってきた。その結果、運動場や中庭でなわとびを使った運動をする児童の数が大きく増加し、運動時間も増加した。

この成果を生かし、今後は児童が自ら目標を立て、進んで運動に取り組めるようにしていきたい。そのために、各学年によってバラバラであった「なわとびカード」を、全校で統一したものに作成しなおし、それぞれの力量に応じて、目標をもって取り組めるようにしていきたい。また、目標に対して自分が行っている練習や取り組み方を振り返る時間を設定し、自分自身の運動に向かう態度を見つめ直し、より楽しく運動に親しむことができる児童を育みたい。さらに、全校で運動に取り組む「運動週間」等の行事を、委員会児童が中心となって行えるよう環境を整えていきたい。

夢に向かってたくましく生きる子どもの育成

－健やかでたくましい体と心の育成を目指した環境づくりを通して－

日進市立香久山小学校

1 はじめに

本校では、校訓「夢を拓く」のもと、「夢をもち、その実現に向かって努力する児童の育成」を目指して教育活動を行っている。その教育理念の1つに、「健やかでたくましい体と心の育成」を掲げ、児童の健康を多角的に捉えた教育活動を推進してきた。平成27年度より3年間、愛知県健康推進学校として児童の体・心に視点をおき、健康づくり活動に取り組み、平成30年度には、全国健康づくり推進学校優良校として表彰を受けた。一連の健康づくり活動により、児童の体力の維持・向上のためには、運動を継続することと運動の環境を整えることが必要であると考え、取組を精選し、体力づくりに役立ててきた。

2 体力づくりの実践

(1) 「香久山スクワッチ」

「香久山スクワッチ」とは、健康推進学校の研究の中で作成した、アクティブストレッチとスクワットを組み合わせた運動である。当時、猫背や内股等、児童の姿勢が悪くなっている傾向があることを受けて、大学教授の指導のもと、正しい足の使い方ができるように、つま先と膝をまっすぐ前に向けて屈伸する「香久山スクワット」を作り、取り組んできた。そして、体育や運動会の準備運動として活用できるように、ストレッチ運動を組み合わせ、現在の「香久山スクワッチ」が出来上がった。そして、今も体育や運動会の準備運動としてけがを防止するだけでなく、体をほぐしながら柔軟性や巧緻性を高めている。また、毎週木曜日には、朝のモジュールの時間に、保健委員会が作成した「香久山スクワッチ」の動画をテレビで放送し、教室で音楽に合わせて全校児童が実施している。始業前に体をほぐすことでリラックス効果を高め、気持ちよく学校生活をスタートできるよう努めている。



【写真1 香久山スクワッチ】

(2) 「香久山なわとびがんばりカード」と「香久リンピック」

児童の運動量が減る冬場の体力づくりとして、なわとびを推進している。低（1、2年）・中（3、4年）・高（5、6年）学年ごとに、技の難易度に応じて種類や回数を設定した「香久山なわとびがんばりカード」を作成し、全校をあげて取り組んでいる。休み時間や体育の時間に、手軽になわとびに取り組めるように、全児童に配付している。級認定という形で進めていくので、児童は級が上がっていく達成感を味わいながら、意欲的に楽しそうに取り組んでいた。「もっと跳びたい」「次は〇〇の技を跳びたい」と休み時間に熱心に練習する姿や、友達同士で回数を数え合ったり、跳ぶ

【資料1 香久山縄跳び頑張りカード】



【写真2 香久リンピック】

ことが苦手な児童に跳び方を教えたりする姿も見られた。

また、「香久リンピック」と題して、児童会と体育委員会が主催となって3学期に長縄大会を実施し、個人だけでなく、集団でも活動することで運動の機会を増やしている。学級対抗や新記録への挑戦といった目的意識を各学級がもって大会に向けて練習に励んでいる。仲間と協力して練習する中で、児童同士の交流が図られ、共に高め合おうとする姿が多く見られた。

(3) ペア学年運動会

コロナ禍により全校での運動会の実施が難しく、令和4年度からペア学年による運動会を実施した。今年度は、1日開催の3部制（各部90分間）で、1・6年、2・5年、3・4年がペアとなって実施した。競争遊戯、表現運動など2学年合同で行い、上級生が下級生の手本となって練習をしたり、下級生と上級生が一緒になって競技したりするなど、異学年の交流を図った。上級生は活躍する機会が増えて自己有用感をもつようになり、下級生は上級生の姿にあこがれや今後のビジョンをもつようになり、運動への向上心だけでなく、日頃の活動への意欲を高めることができた。

(4) 教科としての取組

どの学年でも、年間を通して児童の基礎的な体力向上や平衡感覚を養うために、体づくり運動として、遊具を使用したサーキットトレーニングや体幹運動などの活動を適宜取り入れている。また、体力テスト実施前には、各種目の技能のポイントを解説・確認して各種目の練習を行い、走・跳・投の動作の改善を目指し、記録の向上につながるように指導している。

(5) 運動環境の整備

児童の体力づくりには、日頃運動がしやすい環境を作ることも重要であると考え、学級の仲間と楽しく運動ができるように、各学級にソフトバレーボールやソフトディスクを配付している。また、休み時間には体育器具庫の一輪車や竹馬、フラフープを貸し出したり、安全面に配慮しながら運動場の場所を限定してバスケットボールやサッカーボールを使用できるようにしたりするなど、積極的に運動に取り組む児童を増やす工夫をしている。

(6) 外部講師による特別授業

今年度、スポーツ庁の「アスリート全国学校派遣プロジェクト（アスリーチ）」事業で、北京五輪ソフトボール金メダリスト馬淵智子さんによる、運動の多様な楽しみ方やできる喜びを味わう体育の授業を受けた。「チャレンジ」「協力」「楽しむ」をめあてとし、児童と一緒に活動し、体を動かすことの楽しさを伝えていただいた。また、体験談を通して、夢を掴むために自分に必要なことを考えて努力する大切さを教えていただいた。



【写真3 外部講師による特別授業】

3 おわりに

健康につながる体力づくりの実践を通して、運動の継続は基礎的な体づくりに大切であり、また児童に目的意識をもたせることは、運動に対する意欲を高め仲間との協働を創出し、体力の向上につながることを再確認できた。今後も、適切に運動の機会を設け、必要な環境を整えることによって運動を楽しみ、健康な心身をもち、「夢に向かってたくましく生きていける児童」を育成する努力を続けていきたい。

児童の「もっとやってみたい」を引き出す体育活動

—できる喜びに触れられる運動を通して—

南知多町立内海小学校

1 はじめに

本校では、全ての教育活動において、児童の「分かる」と「楽しい」を大切に、「もっとやってみたい」と主体的に学びに向かう力を引き出すことを目標としている。体力向上に向けた取組でも、まず児童が「楽しそう」と興味・関心をもつことのできる活動を設定すること、そして「やってみたい」と意欲を高めることができる手だての工夫を大切にしている。それにより、活動への継続した取組を促し、「もっとやってみたい」と更に意欲を高め、次の活動へとつなげられるようにしたいと考えている。

以下に、本校の校訓である「よく考え、明るく、たくましく」生きる内海っ子の育成を目指し、継続して取り組んできた活動と、今年度より新たに始めた活動の実践について紹介する。

2 実践内容

(1) 「みんなで走ろう運動」

「みんなで走ろう運動」は、冬季における体力づくりのため、全校児童で楽しみながらジョギングに取り組むことを目標としている（写真1）。毎年2月に実施しており、火曜日と木曜日の休み時間を利用して、全8回実施している。8分間のジョギングと1分間のクーリングダウンをセットで実施し、途中で曲を変えることで活動を切り替えられるよう工夫している。また、走るコースを低学年、中学年、高学年の3コース用意することで、発達段階に合わせた無理のない活動ができるようにしている。活動の記録として、各コース一周を1ポイントとして、走ったポイントを「ジョギングがんばりカード」に記入し、各学年で設定した目標ポイントを達成した児童には「ジョギングがんばり賞」を渡している。児童は、目標ポイント達成に向けて意欲的に取り組んでいる。また、毎年「ジョギングがんばり賞」を取り続けることを目標にしている児童もおり、そのような児童が学級級の中心となって、周りの児童の更なる意欲「もっとやってみたい」を引き出すことにつながっている。

この取組による成果は、体力テストにおける「20mシャトルラン」の結果に表れており、5・6年生男子は県平均値に対して高い数値を記録しており、5・6年生女子においても県平均値に対して概ね平均的な数値を記録している。今後も継続した活動を実施することで、一層の体力向上へつながるようにしたい。



【写真1 ジョギングの様子】

(2) 「なわとびマスターになろう」

なわとびの各種目への挑戦を通して体力づくりをするとともに、なわとびの技能向上を図ることを目標とし、毎年11月下旬から12月下旬にかけて、体育の授業と休み時間を利用して実施している（写真2）。認定種目として、①前とび、②後とび、③前あやとび、④後あやとび、⑤前交差とび、⑥後交差と

び、⑦前二重とび、⑧後二重とび、⑨前片足とび、⑩後片足とびの 10 種目を設定している。本校では、目標を跳べた回数ではなく、各自が「跳び続けることができた時間」とし、学年・種目ごとの目標タイムを超えることで目標達成となる。これは、なわとびに苦手意識がある児童でも、自分のペースで跳び続けることで目標を達成できるように考えた。児童が回数ではなく、時間を意識するようにしたことで、「もっとやってみたい」という意欲を高めるとともに、持久力向上と敏捷性向上にもつながっている。児童は、「なわとびマスター」の称号を目指し、意欲的に取り組んでいる。

この取組による成果は、体力テストにおける「反復横跳び」の結果に表れており、5・6年生男子、女子ともに県平均値に対して高い数値を記録している。今後も継続した活動を実施することで、一層の体力向上につながるようにしたい。



【写真2 なわとび運動の様子】

(3) 「鉄棒マスターになろう」

今年度より新たに始めた取組であり、鉄棒の各種目への挑戦を通して体力づくりをするとともに、鉄棒の技能向上を図ることを目標とし、5月下旬から6月下旬にかけて、体育の授業と休み時間を利用して実施した(写真3)。認定種目として、①前回り、②逆上がり、③足かけ前回り、④足かけ後回り、⑤腕立て前回り、⑥腕立て後回りなど20種目を設定した。さらに、発達段階にあわせて、1・2年生は補助台の使用も可能とした。それぞれの種目を習得し、各学年の目標を達成することで「鉄棒マスター」に認定される。今年度は初めての取組であり、鉄棒に苦手意識がある児童でも、意欲的に活動に取り組めるように、達成目標を低めに設定した。児童が「できない」ことを意識するのではなく、「できる」を意識できるようにしたことで、次へとつながる「もっとやってみたい」を引き出すことができ、児童は「鉄棒マスター」の称号を目指して意欲を高めていた。

この取組による成果は、次年度の体力テストにおける「握力」や「ソフトボール投げ」等の記録向上につながることを期待される。今後、継続した活動として実施することにより、更なる体力向上へとつながるようにしていきたい。



【写真3 鉄棒運動の様子】

3 おわりに

今年度は、「20mシャトルラン」や「反復横とび」など、多くの種目で県平均値を上回る記録が見られた。これは、体育の授業における手だての工夫や、週2回の部活動における継続的な取組、休み時間を利用した積極的な外遊びの推奨などが要因であると考えられる。その中でも、先に述べた学校全体で取り組む「みんなで走ろう運動」や「なわとびマスターになろう」の役割は大きく、1年生から6年生まで、毎年継続して取り組んできた成果が「20mシャトルラン」「反復横とび」の数値にも表れている。今年度より取組を始めた「鉄棒マスターになろう」も、先の二つの活動に並ぶ内海小学校の伝統となるよう、手だてを工夫し、継続していきたい。

今後も、全ての児童が「楽しい」「できる」と感じる活動内容と手だてを工夫し、継続的な取組を通して「もっとやってみたい」という意欲的な姿を引き出せるようにしたい。

課題解決に向けて主体的に運動し、体力を高める子の育成

—「できる」や運動する楽しさ・喜びを実感できる体育活動を通して—

豊田市立浄水小学校

1 はじめに

令和元年度の体力テストでは、本校5年生は、握力と立ち幅とびを除く全ての種目の結果が全国平均を下回った。また、他学年でも50m走と反復横とびの記録が全国平均を大きく下回っていた。さらに、全学年の結果において、豊田市平均を下回る種目が多く、特に50m走に関しては全学年で下回っていた。特に、5年生男子の50m走では豊田市平均よりも0.26秒、女子では0.58秒も遅い結果だった。このことから、本校の児童の走力と敏捷性が低いことが明らかとなった（表1）。

そこで、令和2年度から4年間継続して体力向上の取組を始め、特に走力と敏捷性を高める取組を多く実施した。また、令和3年度からは、3年生以上の学年で体育の授業を教科担任制にし、より専門的な指導を通して、体力向上に取り組んだ。

種目	5年生男子			5年生女子		
	豊田市	浄水小	比較	豊田市	浄水小	比較
握力(kg)	16.10	17.10	◎	16.03	15.70	▼
上体起こし(回)	18.61	18.40	▼	17.94	16.10	▼
長座体前屈(cm)	33.53	29.10	▼	38.16	34.10	▼
反復横とび(回)	41.04	40.50	▼	39.47	36.70	▼
シャトルラン(回)	45.24	39.00	▼	37.06	31.00	▼
50m走(秒)	9.47	9.73	▼	9.70	10.28	▼
立ち幅跳び(cm)	151.98	158.30	◎	147.22	145.20	▼
ソフトボール投げ(m)	19.79	19.00	▼	13.03	11.70	▼

◎市平均を上回る
▼市平均を下回る

【表1 令和元年度の体力運動能力調査の本校と豊田市との平均値比較（5年生）】

2 実践の内容

(1) 体育の授業における実践

体づくり運動、走の運動の授業では、8秒間走を実施した（写真1）。対戦相手のいる「競走形式」ではなく、8秒間で自分が走り切ることができる距離を選択する「記録挑戦形式」のため、運動が苦手な児童も活動意欲が高まった。プログラムタイマーを使い、8秒ごとにアラームを鳴らすことで、児童は自分のペースで記録に挑戦することができた。また、カラーコーンを1m間隔に設置し、各自で距離を確認することができるため、「35mまで行けたから、次は36mまで行きたい」と目標を再設定し、記録向上に向けて挑戦することができた。児童に「もう少しでできる」と実感させることが、主体的な取組や走力アップにつながった。



【写真1 8秒間走の様子】

(2) 体育委員会による休み時間における実践

ア 「なわとBINGOカード」の取組

敏捷性を高めるために、全学年共通のBINGOカードを作成し、なわとびの練習時に導入した。体育委員会の児童が挑戦する技を考え、初級、中級、上級、マスターの4つのレベルを作ることによって、なわとびが苦手な児童から得意な児童まで楽しみながら活動に取り組んだ(資料1)。

イ 50m走チャレンジの実施

休み時間に測定、スターターを体育委員会の児童が務め、50m走を行った。時間内であれば何度でも測定できるシステムにすることで、児童の意欲が高まった。また、体育委員会が走り方の手本動画を撮影し、全校に視聴してもらうことで記録の向上をねらった。



初級			中級			上級		
ままたび	うしろとび	はしりとび	うしろとび	うしろあやとび	はしりとび	うしろとび	うしろあやとび	はしりとび
あやとび	なわとび	なわとび	あやとび	なわとび	なわとび	あやとび	なわとび	なわとび
しゃがみとび	こりこり	なわとび	しゃがみとび	こりこり	なわとび	しゃがみとび	こりこり	なわとび
5回	5回	10回	10回	2回	10回	10回	10回	10回

【資料1 なわとBINGOカード】

(3) 走り方教室の実践

令和4年度には、100m走元日本記録保持者の青戸慎司さんを、令和5年度には、東京オリンピックに出場した川端魁人さんを招いて、走り方教室を実施した。走り方のドリルを行うことによって、正しい走り方について学んだ。また、一流選手の走りを生で見る経験をする中で、児童の意欲向上をねらった(写真2)。



【写真2 走り方教室の様子】

3 結果と考察

体育の授業での取組と、体育委員会の児童による取組を4年間継続して行ったことで、令和5年度の体力テストでは、ほとんどの種目で豊田市の平均を上回ることができた(表2)。5年生の50m走については、豊田市平均との差を、男子は0.11秒、女子は0.06秒まで縮めることができた。

全校児童を対象に行ったアンケート結果より、中学年以上の児童の中で、75%の児童が走力の向上を実感し、60%の児童が「走ることが大好き・好き」と回答した。しかし、50m走の記録については、まだ記録向上の余地がある。令和6年度以降も継続して体力向上の取組を実施していくことにより、更なる走力アップをねらっていききたい。

種目	5年生男子			5年生女子		
	豊田市	浄水小	比較	豊田市	浄水小	比較
握力(kg)	16.13	17.78	◎	15.98	17.89	◎
上体起こし(回)	18.51	20.45	◎	17.48	20.94	◎
長座体前屈(cm)	34.74	38.61	◎	38.80	44.84	◎
反復横とび(回)	40.05	40.78	◎	38.08	39.13	◎
シャトルラン(回)	41.21	44.21	◎	31.26	37.79	◎
50m走(秒)	9.53	9.64	▼	9.78	9.84	▼
立ち幅跳び(cm)	147.74	176.89	◎	141.86	170.11	◎
ソフトボール投げ(m)	19.24	19.98	◎	13.01	13.92	◎

◎市平均を上回る
▼市平均を下回る

【表2 令和5年度の体力運動能力調査の本校と豊田市との平均値(令和4年)比較(5年生)】

「強い子ども」を目指す東陽っ子の育成

新城市立東陽小学校

1 はじめに

本校は、新城市の東部に位置している全校児童 100 名の小規模校である。1 学年 1 学級で学校生活を送ることから、児童同士の仲が良く、仲間と協力して活動ができる。また、縦割り班活動の機会を多く取り入れているので、学年に関係なく仲良く遊ぶ姿を学校内のいたるところで見ることができる。しかし、新型コロナウイルス感染拡大によって、制限された中で行事や授業等の教育活動を行ってきたことで、自分自身の運動能力に自信がなく、運動することに消極的な児童が増え、体力が著しく低下していた。

そこで、楽しみながら運動に取り組んだり、仲間と協力しながら目標をもって運動をしたりすることで、進んで運動に挑戦する児童が増え、児童の体力向上につながると考えた。そして、このことが本校の教育目標である「強い子ども」を目指す児童の育成にもつながると考えた。

2 実践の内容

(1) 体育委員会が主体的に運営する「体を動かそうプロジェクト」

ア 朝礼運動

体育委員会の児童の「楽しく運動する機会を増やしたい」という願いのもと、毎月 1 回全校児童が集まる全校朝礼で、5 分程度の楽しくできる運動を取り入れた。ラジオ体操やタッチ走、リズムに合わせて体を動かすことなど、体育委員会の児童が中心となって企画、運営をしている。朝から楽しく、全校児童が一緒になって体を動かすことで、無理なく運動に取り組むことができた。



【写真 1 朝礼運動の様子】

イ 全校で遊ぶ会

「体を動かそうプロジェクト」の一環として、昼休みの時間に、全校児童 100 名が運動場で思い切り遊ぶ「全校で遊ぶ会」を計画した。運動場を駆け回ったり、友達と協力して活動したりする機会を設けたことで、限られた時間の中でも楽しみながら体を動かす姿が見られた。

(2) 体育的行事における実践

ア マラソン大会

12 月に行う校内マラソン大会へ向けて、約 1 ヶ月間、毎日 8 分間走を実施している。8 分間走は午前の授業時間を工夫し、2 時限目終了後の休み時間を拡大して取り組んでいる。「マラソンがんばりカード」を用意し、走った距離（周数）を記録し可視化することで、努力の跡が見られるようにした。また、数値化した目標を設定することで、粘り強く挑戦する姿を引き出すことができた。



【写真 2 マラソン大会の様子】

マラソン大会は、学校周辺のコースで行うため、当日と同じコースを走るコースラン（試走）を4回実施している。地域の方や学区のこども園の園児からの声援があり、児童は高いモチベーションを維持しながら、自分の目標タイムを達成しようとする姿が見られた。

イ なわとび大会

2月には、校内でなわとび大会を行っている。前半は、1・2年生が4分間の前とび、3～6年生が自分の挑戦したい跳び方で4分間跳び続ける。大会に向けて、多くの児童が体育の授業や休み時間になわとびを練習しており、3～6年生は歴代記録に挑戦する児童もいて、目標達成へ向けて真剣な様子が伝わってくる。また、記録更新に挑戦する友達に全校で大きな声援が送られ、温かい雰囲気での活動となる。

後半は学年別で「1分間8の字跳び」を行う。これも大会へ向けて、各学年が跳ぶタイミングや跳び方など教え合い、仲間と協力しながら目標達成や記録更新を目指して練習をしている。



【写真3 なわとび大会の様子】

(3) 授業における実践

ア 教具の工夫

児童の運動への意欲や達成感を味わえるように、教具を工夫を行った。

5・6年生器械運動のマット運動では、後転や側方倒立回転が苦手な児童のために、傾斜をつけたマットや、手の位置を示す手形シールを貼ったマットなどを数か所用意し、児童が自分の課題に応じて教具を選択して練習ができる自由進捗学習の機会を設定した。個に応じて工夫した教具を用意することで、児童が苦手な種目でも粘り強く挑戦し、小さな課題を一つずつ成功させた達成感を味わいながら授業に取り組むことができた。



【写真4 工夫した教具】

イ タブレット端末の活用

体育の授業の中でタブレット端末を活用し、実際に自分の動きを撮影して確認したり、上手な児童の動きを視聴して比較したりすることで、自分の動きを追究し、飛躍的に技能が向上した。

3 おわりに

運動に接する機会や、自分で目標を設定する場を意図的に設定したことで、進んで運動をしたいと思う児童が増え、児童の運動能力の向上につながった。しかし、課題も多く教具の工夫では、児童に合わせた教具の設定が難しく、目の前の児童の姿をよく理解していないと、準備した教具が活用されずに終わってしまうこともある。また、児童が行事を主体的に運営する上で、円滑に進めるためにも、児童だけでなく、教員同士もねらいや安全対策などの共通理解を図る必要がある。これらの反省を生かし、次年度以降も継続して「強い子ども」を育成できるように研鑽をしていく。

「分かる」と「できる」を結びつける球技の実践

名古屋市立高針台中学校

1 はじめに

本校は、新興住宅が建ち並ぶ地域であり近くに大きな緑地は存在するが、生徒が学校以外でボールを用いて運動することができる場所は数少ない。生徒がボールを用いた運動を学校でしか経験することができない現状を踏まえると、保健体育科の授業の中で球技の学習を取り扱うことは極めて重要であると考えます。

保健体育科の大きな目標として、生涯にわたって運動に親しむことが挙げられている。親しみをもつことができるようにするためには、身体を動かして運動することが楽しいと実感することが大切であると考えます。そのためには、単に運動の特性に触れるだけではなく、理想的な動き方について「分かる」と、理想的な動き方を身に付けて「できる」ことを授業を通して実感することが不可欠であると考えます。

そこで、生徒が球技の授業を通して、運動することが大好きと感じることができるよう、理想的な動き方について「分かる」と「できる」を結びつけた授業づくりをして実践に取り組んでいく。その中で、これまでの経験が著しく低い現状を踏まえて、恐怖心をもつことのない安心した用具や、思考活動をしやすい教材を取り入れていく。

このような考え方を基にして、「分かる」「できる」を結びつけた球技の授業実践に取り組むことで、運動が大好きな生徒を育てていきたい。

2 実践の内容

体育の授業での取組（1年生女子 単元：球技 バレーボール）

本校では、3年間継続してバレーボールを授業で行っている。生徒は、小学校の授業での経験もあり、バレーボールに対して「楽しいスポーツ」という印象をもっている。その反面、元々球技に対して苦手意識があったり、ボールを弾く際の手首等の痛みで恐怖心があったりして、「楽しくない」という印象をもっている生徒も少なくない。そこで、柔らかく当たっても痛くない「スマイルバレーボール」を用具として、本実践を行った。

生徒は、スマイルバレーボールを手取るなり、ボールの軽さに驚いている様子であった。次に、2人組でのキャッチボールを行いボールの感触を確認させた。ボールが手や身体に触れる度に、「全然痛くない」という言葉が聞かれるようになり、これまでボールが怖くてよけていた生徒も、ボールをよけることなくキャッチする様子が見られるようになった。次第に、強いボールを投げてみたり、お互いの距離を遠くして投げてみたりするなど、積極的にキャッチ



【写真1 スマイルバレーボール】

ボールを行う姿も多く見られるようになった。

オーバーハンドパスやアンダーハンドパスの基本練習が始まると、これまでの経験から弾く際の痛みを思い出し、練習をすることに躊躇する生徒が見られた。そのような生徒に対しては、相手からのパスを弾くのではなく、自分で上げたボールを手首に当てるなどの動作を繰り返し行わせた。そうすることで、次第に「弾く」ことへの恐怖心を取り除くことができた。

グループを組んで行う円陣移動パスでは、積極的にボールに触れようとする姿が見られた。これまで、恐怖心からボールをよけたり、追いかけていなかったりしていたことからすると、劇的な変化であった。ボール操作のミスでパスが繋がらないことはあったが、「次は何かしよう」と前向きな言葉が聞かれたり、必死にボールを追いかけてたりすることができるようになった。また、「ボールは前方にパスした方がいい」「パスを出したら前に移動しないといけないね」など、次第にパスのつなぎ方に関する声も聞かれるようになった。



【写真2 円陣移動パスの様子】

ネットを挟んで行った「ラリーゲーム」では、ネットの高さ以上にボールを上げないと、相手コートに返球できない難しさに苦慮している様子が見られた。そこで、「どこから返球すると、相手コートに返球しやすいか」と発問した。すると、円陣移動パスでの「ボールは前方にパスした方がいい」という考えを生かし、パスをつなぎネット近くから相手コートに返球しようと、何度も試みていた。ミスが続くと、チームでミスが起きた場面を振り返り、パスの方向だけでなく、人の動きについて話し合うようになっていった。自分たちの考え通りに、相手コートに返球できたときには、生徒全員満面の笑顔であった。



【写真3 ラリーゲームの様子】

3 おわりに

(1) 今年度の実践の成果

これまでの競技用のバレーボールから、スマイルバレーボールに変えたことによって、大多数の生徒がボールを「弾く」ことに恐怖心なくバレーボールに取り組むことができた。また、ボールに対する恐怖心を和らげたことにより、「どのようにしたらパスが繋がるか」など、生徒の思考活動を高めたり、生徒がゲーム場面を振り返りながら仲間と互いの考えを伝え合ったりすることにつながることができたと考える。

(2) 次年度へ向けての課題等

本校の生徒は、体力運動能力調査でのハンドボール投げ、いわゆる「投運動」について決して高い数値とは言えない。来年度は、ハンドボールの単元で、扱いやすい用具を用いて、「投げる」ことに継続して取り組ませ、生徒の体力向上を図っていく必要がある。このような取り組みによって、生徒自身が体力や技能の向上を実感させ、運動が大好きな生徒をさらに育てていきたい。

豊かなスポーツライフを実現していく生徒の育成

ーコミュニケーションに重点を置く学習を通じた体力づくりの実践を通してー

江南市立宮田中学校

1 はじめに

運動の二極化が問題視されているが、本校でも授業や部活動などの生徒の様子から、運動をする習慣が定着していない生徒が多いと感じる。そこで、「体づくり運動」の単元で、楽しく運動したり、スムーズに体を動かしたりする活動を通して、生徒の運動への興味や関心を引き出し、今後の豊かなスポーツライフにつなげていきたい。

また、本校生徒は適切な言葉を使って、コミュニケーションをとることが苦手な生徒が多い。今回の実践では、仲間との対話の中で、自分の意見を言葉で表現することや、仲間の意見に耳を傾け、考えを深めることができる機会を設けるなど、コミュニケーションに重点を置きながら、自分から進んで運動に取り組む姿を増やしていきたい。

2 実践の内容

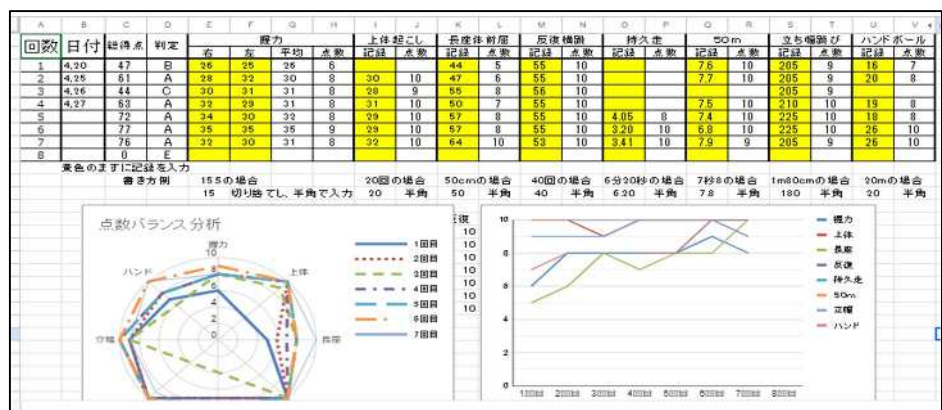
(1) 自己の課題設定

最初に、一人1台タブレット端末を活用し、生徒自身が1回目の体力テストの数値を「体力テスト分析シート」に入力し、自己の体力要素を図や表で視覚的に捉えられるようにした【図1】。そして、

伸ばしたい体力要素を自己の課題として設定し、どのような動きをすれば数値が向上するのかを考えた。また、一緒に計測したグループ(4～6名)の仲間と、どの数値がより伸びそうなのか意見を出し合ったり、グループ内で得意な動きを見せ合ったりすることで、課題設定や手立てが、より適切かつ具体的になることを目指した。

(2) 課題解決に向けた実践

生徒は、自分が考えた手だてを何度も行い、体の動きの変化や測定値を記録しながら、手立てが有効かどうかを検証し、その結果や様子を学習カードに記入していった。初めは周りあまり会話をすることなく行っていたため、「仲間に対してアドバイスをしてみよう」と促した。その結果、タブレットを使って仲間の動きを動画に撮り、グループで確認し合い、より意識を高めたい動作や動きのタイミングなどのポイントをアドバイスしようとする姿が見られるようになった【写真1】。また、アドバイスを言葉



【図1 体力テスト分析シート】

で伝えづらいとき、身振りや手振りを交えて相手に理解してもらおうと工夫している生徒や、どのように動いたらいいか自分から仲間に相談する生徒が増えていった。ただ、生徒は課題とした種目の中の動きにのみ着目することが多く見られたため、ウォームアップを工夫したり、予備動作を行ったりすることも記録の向上には大切であることを伝えたところ、生徒はグループでアイデアを出し合い、さまざまな視点から課題の解決に取り組む姿が見られた。このような活動の結果、単元最終の計測では、多くの生徒が記録を向上させることができた。

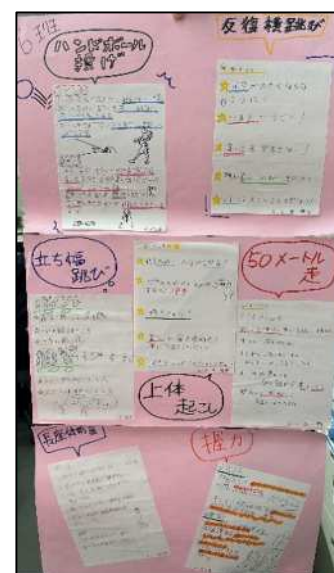


【写真1 生徒の撮影動画】

(3) 実践後の振り返り

生徒は、設定した課題の手立てが有効だったかを振り返り、グループごとにレポートを作成し、発表を行った。発表に際して、有効な手だてをクラスで共有するため、分かりやすく伝わる工夫をしてほしいと伝えた。各グループは相談しながら、レポートにイラストを加えたり、下線を引いたりして、伝えたい内容が一目で分かるようにしていた【写真2】。また、発表時に実際の動きを見せることで、より伝わりやすくしているグループもあった。

最後に、単元終了後も健康に生活するために必要な体力要素を鍛えるための自宅のできるトレーニングプログラムを作成し、実施することにした。生徒たちは、「手をグーパーする」「入浴後にストレッチ」「筋力トレーニング」など無理のない範囲で、現在もプログラムを継続して実践している。



【写真2 振り返りレポート】

3 実践の考察

コミュニケーションの機会を多くの場面で生み出したことで、生徒はより積極的に活動できたように感じた。生徒の学習カードにも、「仲間のアドバイスがきっかけで数値が向上した」「アドバイスするのは難しかったけど、それで動きが改善したときは、一緒に喜べてよかった」といった感想が見られた。また、課題解決のために自ら考えた手だてについて仲間と試行錯誤を繰り返すことで、新たな気づきにつながったり、考えがより広がったりしていく姿を見ることができた。そして、学習を通して、生徒はよりよい動きや自己の体力が最大限発揮される動きを感覚的に身に付けることができ、生徒自身の達成感にもつながったと感じている。

4 おわりに

生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現するためには、体を動かすことが楽しいと感じること、楽しく運動する方法を知っていることが重要になる。そのきっかけとして、仲間とコミュニケーションをとりながら活動することは、とても大切である。今後も、自らの健康や体力に興味を持ち、進んで運動に取り組む、体力向上にもつながるような授業実践の工夫に取り組んでいきたい。

生涯にわたって心身の健康の保持増進を意識できる生徒の育成

津島市立神守中学校

1 はじめに

本校の第1学年を対象に行ったアンケートでは、「体を動かすことが好きか」という質問に74%が「好き」と答えたのに対して、「自分には、今どのような体力が必要か理解しているか」という質問には28%しか「理解している」と答えなかった。体を動かすことが好きな生徒の割合は多いが、体力について理解している生徒は少ないというのが現状である。

そこで、生徒が今の自分に足りていない体力を考え、その上で運動したい内容を自ら選ぶことで、進んで運動に取り組む気持ちを高めていきたい。また、生徒主体の学習を重視した授業計画を立て、「体づくり運動」と「体育理論」の領域間カリキュラム・マネジメントで、心身の健康の保持増進について、より理解を深められるような授業づくりを行っていく。運動が苦手な生徒でも、運動の楽しさや喜びを知ること、自ら進んで運動に関わろうとする気持ちが高められ、生徒の学習量が増えることを期待したい。そして、自他の心と体に向き合い、生涯にわたって心身の健康の保持増進を意識できる生徒を育成したい。

2 実践の内容

(1) 「新子供の体力向上運動プログラム」の活用

「体づくり運動」の授業を行う際に、導入として今の自分に足りていない体力について考えさせた。生徒からは、「持久力が足りていない」や「柔軟が苦手」などの声が多く挙がった。その後、今、自分が高めたい体力を決めさせてグルーピングを行い、自分たちで「新子供の体力向上運動プログラム」の中から運動種目を選び、活動に取り組んだ(写真1)。それぞれのグループで、どのような運動が効果的かを話し合いながら、授業に取り組む様子が見られた。生徒は教師から与えられた運動ではなく、自分たちに足りていない体力を考え、運動種目を選び、実際に活動することで、より自分の体力と向き合いながら取り組むことができた。



【写真1 創作壁ストレッチを行う様子】

(2) 領域間カリキュラム・マネジメント

「体づくり運動」との領域間カリキュラム・マネジメントとして、「体育理論」の「運動やスポーツの多様な楽しみ方」を合わせて学習指導を行った。前半は、運動やスポーツには自分に合った楽しみ方や工夫の仕方があることを知ったり、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむた



【資料 生徒のワークシート：上＝運動前、下＝運動後】

めに大切なことを考えたりする活動を行い、後半は実際に「体づくり運動」の「体ほぐしの運動」に取り組んだ。内容としては、ボールを使った運動を実施し、運動前と運動後でどのように気分が変わったかをワークシートに記入させた（資料）。運動前は「眠くてなんか疲れた」と記入していた生徒が、運動後には「つかれたけど楽しい」と気分が変わった。事前に体育理論の授業で「運動やスポーツの必要性と楽しさ」を学習していたこともあり、運動やスポーツがいかに大切かをより実感できた。

(3) 生徒主体の学習を重視した授業計画

走り幅跳びの授業では、主運動に入る前に、教師が示した運動の中から自分に必要なものを選び、練習に取り組んだ（写真2）。それぞれの練習場所に分かれて、自分に足りていない運動を自分で選んで行うことで、より生徒主体の活動となった。また、運動をするだけでなく、記録を計測する生徒やアドバイスをする生徒、写真を撮る生徒などに分かれて、それぞれが自分の役割を果たしながら練習に取り組んだ。写真を撮る生徒は、どうしたら改善につなげられるかを考えながら撮影しており、跳び方のアドバイスをするなど、技能ポイントにも触れることができ、生徒同士での意見交換が活発に行われる様子が見られた。



【写真2 練習を選び取り組む様子】

(4) 講師を招いての講話

学校保健委員会に、愛知教育大学准教授の鈴木一成先生を招いて「体をほぐして、心もリラックス」をテーマに、「体じゃんけん」（写真3）などのアクティビティーを交えた講話を実施した。体と心の結びつきや、仲間との社会性について学ぶ機会となった。また、「何となくいい感じ」が味わえる人間の感覚的な感性を大事に、AI社会に生きる「人間」として大切にしていくことについても深く考えることができた。生徒からは「リラックスの仕方が分かってきたような感じがしました」「私たち人間とはどんなものか深く考えたことはあまりなかったけど、今回の集会でどんなものか考えることができました」など、リラックス法だけでなく、体と心の健康はつながっていることを再認識することができた。また、アクティビティーを通して、自分の体と向き合う時間を大切にし、運動に親しもうとする姿勢を高めることができた。



【写真3 体じゃんけんを行う様子】

3 おわりに

本研究では、「体づくり運動」に焦点を当てて実践を進めた。また、「体づくり運動」の学習経験をもとに、他の種目でも生徒主体の学習を計画し実践した。生徒は、今の自分にどのような運動が必要か、どのような役割が必要であるかを考えながら活動することで、自分たちで学習を進めていく意識が強くなったように感じた。一方で、運動が得意な生徒は運動を「する」、運動が苦手な生徒は「みる・支える」など、役割が固定化してしまう傾向が見られた。教師は、誰もがバランスよく役割を分担し、生徒が主体的に活動できるような学習環境を提供する必要があると感じた。

今後も「体づくり運動」を通して、運動の楽しさや喜びを味わわせ、心身の健康の保持増進について考える機会をできるだけ設けられるように授業の構成を工夫していきたい。

仲間とともに主体的に運動に取り組む生徒の育成

－授業実践と体育的行事を通して－

豊川市立一宮中学校

1 はじめに

本校は豊川市の北東部に位置する全校生徒数509名の中学校である。本校では、特色ある活動として、全校生徒が3年生のリーダーを中心にして行う縦割りの活動「スクラム活動」を行っている。生徒はスクラム活動を通じて、学年や部活動の枠を超えて協力し合い、仲間と共に目標に向かって取り組むことで、協力することや努力することの大切さを学んでいる。また、所属する学級や学年に安心感を持ち、「一中がいちばん」だと言える生徒を育成するために、仲間の考えを認め、思いを受け止める活動や自分の考えに自信を持ち積極的に伝える活動を学校全体で考え取り組んでいる。

2 実践の内容

(1) 新体力テストの結果を活用したカリキュラムの作成

本校では、生徒が楽しく体を動かすことができるように、保健体育科の授業や行事を見直し、運営を行っている。また、新体力テストの結果から、数年にわたり女子生徒のハンドボール投げの得点が低いという状況がある。それを踏まえ、カリキュラムに投動作を必要とする種目を積極的に取り入れている。

第1学年では、単元のつながりを意識して年間計画を作成した。1学期には、ゴール型の目標である、空いたスペースを利用したゲーム展開が学べるようにアルティメットを取り入れた。2学期には、ハンドボールを取り入れることによって、生徒は共通する動きがあることに気づき、積極的に取り組む姿が見られるようになった。また、これまでの学びを生かすことができたことで、運動が苦手な生徒も安心して授業に参加し、仲間の動きを観察することや、同じチームの仲間からのアドバイスを活用して動くことによって、自分自身の変化を実感することができた。

(2) 動きの経験を増やす取り組み

ア 体力向上への取り組み

体育の授業では、学習内容に応じた体力を向上させる運動を取り入れている。例えば、より安定した試技を行うために効率よく体力を向上させることができるよう、関連する体力向上の方法を紹介し、実践している。

また、授業の中に自宅や部活動のトレーニングで実施可能な運動を取り入れることで、生徒が「これなら自分にもできそうだ」と実感し、実際に運動を行い、体力を向上させるきっかけとすることができる。



【写真1 両腕で体を支えるトレーニング】

イ 生徒が扱いたくなるボールへの変更

ボールを扱う経験が少ない生徒もいるため、球技では、生徒が扱いたくなるボールを使用した。

ソフトボールでは、新聞紙で作ったボールを取り入れた。新聞紙ボールは、実際のボールよりも軽くて柔らかいため、ボールへの恐怖心を取り除くことができるとともに、素手でも簡単に扱うことができる。また、弾んだり、転がったりすることが少ないため、キャッチミスをして自分の近くに落球するため、キャッチボールにおける投球回数を増やすことにつながった。

ハンドボールでは、新体力テストで使用するハンドボールに対して、多くの生徒が気軽に投球できない扱いづらさと、ボールに対する恐怖心をもつという課題があった。その課題解消のため、小さく、軽いMIKASAのVOLARE NEOを使用した。このボールは中学1年生の男女でも簡単に扱うことができ、投げる動作に対する意欲が向上した。さらに、ゴールに向かって投げるといった動作を追究しようと、投動作に連動した体の動きを生徒自らが工夫したり、力強いシュートを打つために必要なことを生徒同士が教え合ったりする姿が見られるようになった。

(3) 体育的行事の実践状況

本校の特色であるしてスクラム活動は、年間を通して、全校を縦割りにした異年齢集団の中で活動している。その中でも、10月に行われる「スクラム演技」は生徒が最も力を入れる行事である。現代的なリズムのダンスで構成される「スクラム演技」は3年生が中心となって作り上げ、練習計画の作成や下級生への演技指導も行う。コロナ禍に入学した生徒は「スクラム演技」の経験が少なかったが、体育の授業でダンスを行うことで経験不足を補い、コロナ前と同じように活動することができた。また、下級生に教えていく段階では、全体で説明する方法や個別で説明する方法など、伝え方も学ぶことができた。

「スクラム演技」では、自分たちで企画・運営をすることを通して、思考・判断・表現の力を大きく成長させることができた。また、動きを分かりやすく伝えたり、客観的に見たりしたことを受けて、運動の中でどのように修正していくかという力は、体育の授業にも生かされている。

3 おわりに

本校の特色である「スクラム活動」を生かしながら、今後も体を動かすことに喜びを感じられるような授業の実践を継続していく。また、新体力テストの結果を踏まえたカリキュラムの見直しを通して、生徒の自己肯定感を高め、健康な成長を促す取り組みにつながる実践を考えていきたい。さらに、生涯を通じて、運動に親しむことができる生徒を育成するために、「取り組んでみたら面白かった」、「仲間とともに運動することが楽しい」と感じる生徒が増える体育の授業を目指していきたい。



【写真2 新聞紙ボール】



【写真3 使用したハンドボール】



【写真4 スクラム演技の様子】

体力の向上を目指した体育的活動

－体育の授業実践と体育的行事－

愛知県立春日井高等学校

1 はじめに

本校は、全日制普通科 24 学級、定時制 4 学級の学校である。重点目標として「生活に気力」「学習に意欲」「行動に責任」の 3 つを掲げ、さわやかで活力ある校風づくりを目指している。また、本校のモットーに「自主自律の精神」、「文武両道の精神」がある。各自で課題を見つけ、調べ、考えるという「学習の自立」、そしてほとんどの生徒が部活動に所属し、切磋琢磨しながら心身を鍛えるという「学習と部活動の両立」に力を入れている。このように「自主自立」の校風に抱かれ、生徒たちは明るくはつらつとした姿で学校生活を送っている。

2 体育の授業実践

(1) 体づくり運動

準備運動 10 種類（跳躍、屈伸、伸脚（浅・深）、股関節（正面・左右）、アキレス腱、前後屈、体回旋、手首足首）、補強運動 3 種類（腕立て、背筋、腹筋）は、学年が上がるとともに回数を多く設定し体力向上を図っている。また、種目に応じてストレッチ、補強運動を追加して行っている。1 年生は入学後 1 か月程度、生徒全員がグラウンド又は体育館に集合し、準備運動、補強運動、集団行動、ランニングを行ってから、各種目に分かれて授業を展開している。

天候不良時やグラウンドが使用できない時は、体育館で以下を実施している。

ア 壁タッチ走を実施している。音楽を流しながら 5 分、5 分×2、10 分、10 分×2 などの時間設定で壁をタッチして往復する。音楽を流すことにより自然とペースが上がり、終盤はスパートをかけて走る生徒の姿がある。

イ 縄跳び（長縄跳びやダブルタッチ、大縄跳び）を実施している。長縄跳びは、各クラス男女別 6 グループに分かれて、横からかぶり縄やむかえ縄で走り抜けたり跳んだりする。また、8 の字でかぶり縄やむかえ縄で片足跳びをし、最後に 1 分間で跳んだ回数のクラス合計を出して発表したり、結果を教室掲示している。片足跳びに慣れてきたらダブルタッチを実施している。大縄跳びは、各クラス男女別やクラス別で行い、8 の字跳び（1 人、2 人同時）や両サイドから交互にクロス跳び（1 人、2 人同時）、かぶり縄で横から 5 人同時に跳んだり、クラス全員一斉跳びなどを実施している。これらの跳んだ回数の合計もクラス毎で算出して、結果発表や教室掲示をしている。クラス対抗で行うことにより、グループやクラスの結束が強まり、協働して取り組む様子が見られる。

ウ ソフトバレーボールを実施している。体育館のバドミントンコートを利用し、男女別や男女混合チームを作り、ソフトバレーを行う。男女混合では、女子の得点は倍の 2 点、男子はスパイク禁止などの特別ルールを設けて実施し、勝ち上がりでコートを移動する。ゲーム終了後は、優勝チームが「どのようなことを心がけて取り組んだか」などのテーマについて発表し、情報共有を図ることにより、

次回への動機づけに繋げている。

(2) 長距離走

新型コロナウイルス感染症が流行する前は継走大会を実施していた。継走大会はクラスで選抜チームを作り、校舎や学校周辺をクラス対抗で襷を繋ぎ走る催しで、大きな体育的行事の1つであった。昨年度からは、12月に1年生のみグラウンドで長距離走を実施し、継走大会の代替えとしている。グラウンドに約1kmのコースを作り、10分×2や20分間走で約3回のトレーニングを積み重ね、タイムを計測している。

3 体育的行事

(1) 体育祭

昨年度から、朝宮公園内のスポーレ春日井（陸上競技場）で体育祭を実施している。スポーレ春日井は、近年、新設された施設で、規模が大きく整った陸上トラックと、きれいな芝のフィールドがあるため生徒は競技に集中し、気持ちよく取り組むことができている。また、メインスタンドは2階の観客席で応援しやすく、屋根が付いているため日陰で休むことができ、熱中症予防にもなっている。体育祭実行委員会が中心となって競技種目を決定し、当日の運営も生徒会や実行委員、部活動に所属する生徒が中心となって行っているため、生徒がさまざまな資質・能力を身に付ける良い機会となっており、生徒一人ひとりが活躍できる場を創出するよう工夫することで、主体性を育むことにも繋がっている。

(2) 球技大会

年間2回実施しており、5月は全学年、3月は1、2年生が行っている。生徒会や運動常任委員会を中心となって種目やタイムテーブルを決定し、生徒が全て準備・運営をするなど、主体性を育む取組となっている。今年度の3月の球技大会は、実施場所等を考慮した上での選択肢を設け、アンケート調査した結果、サッカー、バレーボール、ハンドボール、バスケットボールを実施することになった。次年度以降も反省と改善を繰り返し、生徒が主体的に運動を楽しむことができる工夫をしていきたい。

(3) スキー学校

新型コロナウイルス感染症の流行により、3年間中止になっていたスキー学校を今年度再開し、1、2年生（1年生が優先）の希望者が、12月25日～12月27日の2泊3日の日程で実施した。久しぶりの開催となったが、目的である「自然の厳しさを知り、スキー技術の修得とスポーツの楽しさを味わうとともに、集団行動を通じ、心身の鍛錬と社会的態度の育成を図ること」は十分達成することができたと考えている。



【写真 スキー学校】

4 おわりに

新型コロナウイルス感染症の流行により、生活や活動に制限が強いられ、思うように運動することができなかった生徒が多く在籍している。日々の教育活動の中では、運動機会が減り、体力や技能レベルが低下した生徒が増加したことをひしひしと感じている。これらを踏まえ、働き方の変化を求められる社会の中で、良い伝統は残しながら諸活動を精選し、毎年ブラッシュアップしていくことが重要であると考え。今後も、体育授業や体育的行事などが生徒にとって最適な活動になるよう工夫し、体力向上を図りながら生涯にわたって運動に親しむ態度を育んでいきたい。

未来社会を創造する生徒の育成

－体育授業、体育的行事の活動を通して－

愛知県立一宮西高等学校

1 はじめに

本校は昭和 39 年 4 月に愛知県立一宮高等学校西分校として開設され、昭和 41 年 4 月に愛知県立一宮西高等学校として独立し、今年度創立 60 周年を迎えた。全日制普通科で各学年 8 クラスが設置され、全校生徒 948 名が在籍しており、「自由で明るく ー規律と責任ー」をスクールモットーに、自ら考え、行動し、未来社会を創造する生徒の育成を目指している。

2 授業カリキュラムについて

本校は「65 分授業×5 限」（月曜日のみ 6 限）、4 パターンの時間割で授業を展開している。50 分授業と比べて授業時間が 15 分長く、体育授業における活動内容の充実にも繋がっている。

体育の単位数は 1 年生 2 単位、2 年生 2 単位、3 年生 3 単位で、1、2 年生は時間割の関係上、週に 1 時間のみの体育授業となることもあるが、運動部に所属している生徒が多いため、運動機会は部活動で補えていると考えている。3 年生は単位数が多いため、週に 3 又は 2 時間の体育授業がある。3 年生での体育の 3 単位実施は、部活動を引退した 3 年生の運動機会確保になり、高校生活を通して体力維持ができるカリキュラムの強みであると思う。日々の体育授業では、生徒が少しでも活動時間を増やしたいと考え、始業前に準備運動を全体で行うなど、授業を楽しむための工夫を主体的に行っている。

3 実践の内容

(1) 補強運動

準備運動に加え、腕立て伏せ、腹筋運動、背筋運動、馬跳び、ランニング、種目の特性に応じたトレーニングなど、担当教員が生徒（集団）の様子に応じて内容を精選して取り組ませている。

(2) 体育授業の充実

前述のとおり、本校は 65 分授業であり、50 分授業と比べて、ゆとりある多様な授業を展開できる特徴がある。試合形式の活動では、時間に余裕があるため複数の試合を実施するなど、授業時間内で活動内容を充実させるだけでなく、運動量の確保にも繋げている。また、試合前や試合間の休憩中に作戦盤を使用して作戦を立てるなど、単に活動するのではなく、戦術や戦略などを考えて活動するよう意識づけをしている。そのような場面では、教員が生徒に全ての情報を与えるのではなく、生徒同士が考えて行動し、成功や失敗から学んだことを振り返り、次に活かすことを重視しながら指導している。

(3) 体育的行事の充実

ア 体育祭

9 月に西高祭として、文化祭 2 日間、体育祭午前 2 日間を実施しており、生徒会執行部を中心に、各クラスの運動委員や運動部活動に所属する生徒が主体的に運営を行っている。生徒数が多いため、実施競技の設定はで、なるべく多くの生徒が参加し、楽しめる種目を考案するなどの工夫をしている。

群団は、3学年を1クラスずつの縦割りにして8群団編成し、3年生から群団長、リーダー長、マスコット長、衣装長、競技長の5人のリーダーを選出する。体育祭の競技に関する競技長は、1日の中で競技に参加しない生徒がいないように配慮するなど、下級生とコミュニケーションを図りながら3学年の橋渡し役として活躍している。競技種目は大勢で参加する種目や多くのリレー種目、応援合戦などがあり、生徒が主体的、意欲的に活動するため、毎年、とても活気のある体育祭となる。



【写真1 応援合戦の様子】

イ 球技大会

年間2回実施しており、6月に行う夏季球技大会は全学年、3月に行う春季球技大会は1、2年生が参加する。体育祭同様、生徒会執行部、運動委員、運動部活動に所属する生徒が中心となり運営を行う。実施競技の該当部活動の生徒は出場人数に制限があり、どのチームが戦っても拮抗した試合をすることが多く、とても見応えのある試合になる。実施競技は、毎回各クラスに希望調査を行い、希望の多い競技を採用しており、以前は、男子がサッカーとドッジボール、女子はバレーボールとドッジボールを実施することが多かった。実施競技に変化がない理由は、前回の球技大会が楽しかったと感じている生徒の割合が高いからである。近年は、毎年同じ競技の実施となり、審判を担当する部活動に所属する生徒の負担が大きいことや、できるだけ多くの競技を経験してほしいという考えを生徒に伝えて調査したところ、様々な意見が出たため、今年度の春季球技大会は、男子がソフトボールとバレーボール、女子はバスケットボールとドッジボールを実施することになった。今後は、純粋に生徒の希望を尊重するのか、審判を担当する運動部員の負担軽減や少数の希望を尊重するのか、数年分の実施競技予定を生徒会執行部や運動委員が決定するのかなどを検討しているところである。

(4) 部活動

本校は部活動が盛んであり、男子14、女子13、合計27の運動部、男女合同で9の文化部が設置されている。多くの生徒は運動部に入部し、多くの部活動が県大会に出場するなどの活躍をしている。

運動部の活動場所は、体育館やグラウンド、武道場やプールなどがあり、特に、体育館の割り振りには苦慮している。本校は体育館を使用する男女合計10の運動部が活動しており、使用時間を休日は3分割、短縮授業日は2分割、通常の平日は同種目の男女で半面ずつ使用したり時間を半分にしてオールコートを使用したりするなどして少しでも効率よく体育館を使用できるよう工夫している。体育館使用時間以外は筋力トレーニングや外周を使ったトレーニングを行う部活動が多く、体力向上には好影響を及ぼしていると考えられる。また、グラウンドを使用する部活動も活動場所を上手く分割し、同時刻に多くの運動部が活動しているため大変活気がある。顧問は、自身の競技経験の有無にかかわらず熱心に指導するが、練習内容や試合の戦術、作戦などを生徒同士で考え実践する部活動が多く、生徒が様々な力を身に付け、大きく成長する機会となっている。

4 おわりに

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類から5類へ移行し、体育授業や学校行事も以前の活気ある様子に戻りつつある。コロナ禍の試行錯誤を乗り越え、実施方法等の選択肢が増えた今だからこそ、教員が生徒に答えを与えるのではなく、自ら考え、自ら行動する生徒の育成に今後も努めていきたい。

豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成

－伝統と価値ある体育的学校行事と授業実践－

愛知県立西尾高等学校

1 はじめに

本校は、創立 105 年目を迎える伝統校であり、校訓「進取 自主 克己 一甘えなき文武両道の実践と自由な校風」のもと、ほとんどの生徒が大学進学を目指し、目標達成のために積極的に学習に取り組んでいる。部活動や生徒会活動も活発で、さまざまな学校行事を通して充実した学校生活を送っている。主な行事は名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク、学校祭（文化祭・体育祭）、スキースクール、球技大会（年 2 回）などがある。また、国際理解講座や大学出前講座、図書館教養講座など知性や感性を磨く多くの講座を開催している。令和 8 年度からは、併設中学校が設置されることで中高一貫教育が導入され、令和 11 年 4 月には、併設中学校からの新入生を迎えるという新たな時代への転換期を迎えることとなっている。

2 実践内容

(1) 体力トレーニング

体育授業時に基礎体力の向上を目的とし、腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワットなどの補強運動を行っている。その中の合言葉は「20 回と言われたら、21 回目からが本当のトレーニング」であり、生徒は指示された回数を超えて積極的にトレーニングするなど主体性を育みながら体力向上を目指している。また、校内には、トレーニングルームやランニングコースがあり、体力向上のためには欠かせない環境となっている。ランニングコースは、創立 100 周年の記念に同窓会から寄贈された 1 周 588m のコースで、授業や部活動の場面以外にも多くの生徒が活用している。



【写真1 ランニングコース】

(2) 生涯スポーツへつながる男女共習の授業実践

本校では、共生社会の実現の観点から勝利や競争にとらわれることなく、球技のゴール型種目においても男女が一緒に運動やスポーツを楽しむことを重視した授業を展開している。性差や体力、運動能力の差もある中で協力・協働して運動することで、コミュニケーション能力を高めたり、運動が苦手な生徒のモチベーションを高めたりするなど、さまざまな資質・能力の向上につながっていると感じる。今後も授業改善を繰り返し、多くの領域や種目で男女共習を実践し、生涯スポーツにつなげていきたいと考えている。



【写真2 男女共習のソフトバレー】



【写真3 男女共習のハンドボール】

(3) 名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク

今年度で15回目となる名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークは、名鉄西尾線・蒲郡線の沿線のコース約20キロをクラスメイトとともに歩く行事である。この行事の目的は、クラスの結束を図りながらたくましい心と体を養いながら高校生の貴重な交通手段である名鉄西尾・蒲郡線の存続を訴えることである。また、本校を含む市内5校のPTAや地域の方々など多くの支援ボランティアの方々との一体感を感じられる行事である。



【写真4 名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク】

(4) 西尾音頭・西高音頭

7月から9月の体育祭までの期間に、全校女子生徒と参加を希望する男子生徒は、「西尾音頭・西高音頭」を習得する。「西尾音頭・西高音頭」の習得は、体育授業において長年にわたり受け継がれており、体育祭で色とりどりの浴衣に着替え、学年色の豆絞りを手にして踊りを発表する。以前は女子生徒のみの参加であったが、令和3年度からは、希望する男子生徒の参加も加わった。



【写真5 西尾音頭・西高音頭】【写真6 男子も浴衣を着て参加】 【写真7 スキースクール】

(5) スキースクール

毎年12月下旬に3泊4日で行われるスキースクールには、多くの1年生が希望して参加する。他校では、このような行事が縮減傾向の中、本校では、年々増加する希望者に対応するために、120名の定員を増員する状況となっている。今年度は1年生360名のうち約260名が参加を希望したため、希望者全員を参加させることとした。スキースクールの開催は、体力向上や生涯スポーツにつながるだけでなく、地球温暖化が進む地球環境と関連づけることで、体育理論の「スポーツと環境」や総合的な探究の時間で実施している「西尾市のゴミ問題」の探究活動などにも関連付けることができ、主体的に課題解決学習に取り組むきっかけにもなっている。

(6) 球技大会

5月と3月には、球技大会を実施している。5月には1日半の開催で十分な活動時間を確保できている。球技大会が近づくと昼休みに体操服に着替え、クラスメイト同士で教え合いながら練習する光景がグラウンドや体育館のいたるところで見られる。

3 おわりに

本校では、伝統ある学校行事やその文化の継承が生徒の自主的なスポーツ活動へとつながり、体力の向上と豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成につながっていると考える。今後は運動部活動の在り方についての検討を重ね、地域の指導者や同窓会と連携し、新たな運動部活動の在り方を創造していきたいと考えている。

系列の枠を超えた学校体育活動の推進

- 学ぶ楽しさを味わう協働的な学びを通して -

愛知県立新城有教館高等学校

1 はじめに

本校は、農業科・商業科・家庭科の職業学科を設置する新城高校と、普通科単独校である新城東高校の統合により平成31年4月に開校した。二つの系（上級学校進学を目指す「文理系」理数系列・文科系列とスペシャリストを育成する「専門系」農業系列・商業系列・家庭系列）をもつ新しいタイプの特色ある総合学科であり、文理系3クラスと専門系3クラスの6クラスを編成している。校訓は「自考自律」—自ら考え、自ら律し、自ら行い、己の途を拓く—を掲げ、多様な学びを身近で感じ取れるよう、各系をそれぞれ別棟に配置することなく、3階は3年生、2階は2年生、1階は1年生の教室が配置され、各々が興味関心の高い系列を選択して学習活動に勤しんでいる。総合学科の原則履修科目「産業社会と人間」は、単元によって系列の枠を超えて地元企業の調べ学習などを行っているが、体育実技においても同講座に文理系と専門系を組み合わせ、他の系列の生徒とも学ぶことができるカリキュラムを編成している。

2 実践内容

(1) 科目「体育」の取組

準備運動はラジオ体操第2を実施し、補強運動として2人組での馬跳びや倒立、腕立て伏せを毎時実施している。学習内容は、球技・陸上競技・器械運動・ダンスなどで、グループ活動を多く取り入れ、1人では気づけない課題などを仲間との協働で発見させたり、個人でのスキルテストを実施したりするなど、目標に向かって努力することや達成感、運動の楽しさや喜びが感じられるよう工夫している。

(2) 特色ある実践

ア 学校設定科目「トレーニング理論」

総合学科の特色の一つに、興味関心がある科目を自由に選択できる仕組みがあり、教科「保健体育」で開講する学校設定科目の「トレーニング理論」は、2年次に選択履修することができる。この科目は、トレーニングに関わる基本的な知識と実践方法の理解を目指し、ベンチプレス、デットリフト、スクワットなどをはじめ、懸垂やベントオーバーロウなど全身を鍛えられるよう多くの種目を教材とし、各種目の基礎技術とトレーニング

効果を習得する。開校時に新設した総合学科棟にあるトレーニングルームを有効活用して、器具の扱い方や実施時における姿勢などの実施方法をきめ細やかに学び、安全に留意してケガや事故の予防に努めるなど安全に配慮しながら実践することにより、自身の健康の保持増進と体力の向上にも繋がっている。【写真1】。

学習の総括では、各自が10分間のトレーニング内容を考案し、まずはグループ内で発表する。その



【写真1 トレーニングルームでの授業風景】

後、全体の前でグループごとに発表し、生徒同士の相互評価も行う。また、本科目を履修した運動部員が学習の成果を各部活動のトレーニングに生かし、身体の各部位を鍛える方法を主体的に考え、実践するなど強靱な体づくりに励む姿をみることができる。

イ 学校設定科目「レクリエーションスポーツ」

3年次に選択履修することができる科目であり、この科目を通して、運動することの楽しさや喜びを感じさせることが目標である。アルティメットやインディアカなど、体育の授業で取り扱わない種目を実施しており、体育が得意ではない生徒も積極的に選択するなど数ある選択科目の中で、特に選択者が多いことが特徴的である。

ウ 有教館 dance

有教館 dance は、令和元年に、「少し頑張れば、全員が踊れる dance」をコンセプトに、ダンスが得意な保健体育科教員が中心となり、地域の方の協力を得て創作したオリジナルダンスである。内容は3分程度の簡易な動きの連続であり、初心者も十分にできる内容としている。ダンスを通して、リズム感の育成と心肺機能や持久力の向上を目指している。令和元年度は体育の授業で、ICT を活用して動画を投影し、基本なステップやリズムの取り方などの反復練習を重ねた。令和2年度はステップアップし、生徒が習得するだけでなく、主体的に取り組めるよう工夫した。具体的には、上級生が練習用動画を作成して、1年生が動画を見て反復練習するグループ学習を取り入れ、生徒同士が学び合う機会を設けた。また、授業外で3日間、自主練習を設け、2年生が指導者となり1年生の希望者を対象に講習会を実施したところ、多くの1年生に技能向上を目指す前向きな姿が見られた。令和3年以降は、全学年の体育の授業で1学期に有教館 dance を行う時間を設けている【写真2】。1年次にはグループを作り、練習と発表の場をもつことで、仲間と協働しながら課題を発見し、課題解決力を育む機会となっている。2学期に行う体育祭の最終種目に有教館 dance を設定し、全校生徒で集団演技を行う。全校生徒で一斉に踊ることは、学校全体の一体感を醸成し、帰属意識や愛校心につながっている。今年度の体育祭は以前の感染症予防対策を緩和し、有教館 dance 後は全校生徒で写真撮影することができた【写真3】。達成感と成就感溢れる生徒達の穏やかな表情が印象深い。



【写真2 有教館 dance 練習風景】



【写真3 体育祭での全校写真】

3 おわりに

開校1年目から新型コロナウイルス感染症の影響で、社会生活の多くの活動が停止を余儀なくされる中、学校体育の活動も大いに煽りを受けたが、本校は感染予防を最大限に発揮しながら学びを止めることなく知徳体を育み続けた。近年、子供の体力や運動技能の低下が課題となっているが、今後も生徒の実態に応じて学習内容を工夫し、運動やスポーツの楽しさや喜びを深く味わわせながら体力向上を図っていきたい。

全校児童生徒の笑顔あふれる運動会

-個々の実態に合わせた活動を通して-

愛知県立豊橋特別支援学校

1 はじめに

本校は、東三河地区にある身体に障害がある児童生徒が通う特別支援学校である。所在地は豊橋市だが、分教室として北設楽郡に山嶺教室、田原市に潮風教室を設置している。児童生徒数は、訪問施設内教育を含め小学部62名、中学部28名、高等部45名で、近年、障害の程度は重



度化している。スクールキャラクター「とよまつ」(資料)をつながりのシンボルとして、「笑顔あふれる学校」を目指し、笑顔を大切にされた教育活動を展開している。本校には、痰の吸引や栄養注入、導尿などの医療的ケアを必要とする児童生徒が、20名在籍している。5年前までは、運動会をグラウンドで実施していたが、児童生徒の障害の重度化や天候によりグラウンドでの練習や運動会当日の活動に支障をきたすことが多くなったため、全ての児童生徒が、安全で安心して活動できる屋内施設で開催する運動会へのニーズが高まり、自校の体育館で運動会を実施することとなった。

【資料 とよまつ】

2 体育館の実施の計画の留意事項

運動会を体育館で行う利点をしっかり整理し、一日を通して運動に親しむ日にする工夫を考えた。体育館での競技、演技の活動以外の教室待機時間を利用して、各部のクラス単位で運動に親しむことができるようなレクリエーションの時間「とよパラタイム」を企画した。

3 各部運動会競技のプログラム

プログラム競技		会場
部	プログラム名	
小学部競技①	みんなのパン屋さん	体育館
小学部競技②	仲間をつなげ! とよとくサーキット2023	
中学部競技	チームでP o i P o iシュート	
高等部競技①	どうなる! ジャイアンツクラッシュ	
高等部競技②	とよまつBリーグ	
全校演技	とよまつらっせーらー	ロータリー
「とよパラタイム」 ※各部のクラス単位で運動に親しむ時間 「ボッチャ」、「ごろ卓球」、「風船キャッチ」		会議室、職業教室、 自立活動室

競技は、児童生徒の障害や実態に応じた内容を設定した。競技中は、児童生徒が協働的な活動ができるよう、できる限り児童生徒同士が協力して勝利を目指す場面を多く設ける工夫をしており、児童生徒は、仲間と共に自分自身のできることを最大限発揮している様子であった。また、競技で使用する道具を児童生徒自身に作成させ、その道具を用いて競技させることで、競技に対する内発的動機を刺激した。

4 競技種目、活動例

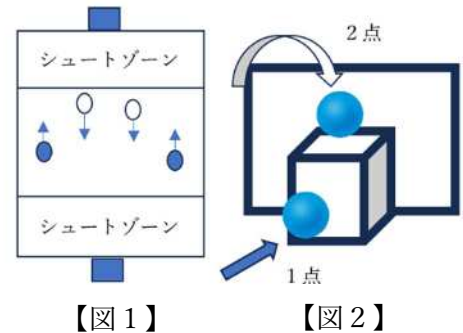
(1) 高等部競技②「とよまつBリーグ」の実践

高等部競技②は、教育課程A・Bグループの競技である。体育館での実施によるメリットを生かして、バスケットボールの実施を決定し、生徒の実態に合わせてルールを変更して取り組ませた。競技は、三つのグループ（ダンク、クラッチ、ブザービーター）に分け、それぞれのルールに合わせて行われた。また、生徒自身が主体的に考えて取り組めるように支援や補助の程度を工夫した。練習では、生徒同士がミーティングや作戦会議、振り返りを行うなど改善を重ね、良い試合を展開するための工夫がみられた。

● 「ダンクグループ」の実践例

ダンクグループは、パスをしたり、移動したりする際に介助が必要な生徒で構成されている。

ルールは、図1のように二人一組となり、パスを行いながらシュートゾーンまで持ち込み、床面に置いてあるゴール（図2）に投げ入れ、ゴールの入り方により得点が異なることとした。投げることができない生徒は、傾斜台を使ってパスやシュートをさせた。



生徒は、練習を積み重ねていく中で、名前を呼んでパスをしたり、膝の上に乗せたボールを味方の方向に転がしたり、車いすの向きや手の動かし方を変えたりするなど、味方へ正確なパスをするための工夫が見られた。また、相手へボールを投げないように様々な工夫をしながらパスをする様子が多く見られた。全力で競技する生徒達の姿は、応援する生徒や保護者を感動させ、競技終了後は体育館全体に、笑顔があり、拍手が鳴り響いていた。

(2) 「とよパラタイム」の実践

競技を実施していない児童生徒が、校内に設置されている3か所の会場に移動し、運動に親しめる環境を設置した。活動内容は、「ボッチャ」と「ごろ卓球」、「風船キャッチ」で、パラスポーツで人気がある種目や、参加しやすいレクリエーションなどを採用した。

● 「風船キャッチ」の実践例

「風船キャッチ」は、台の上から落ちてくる風船を手や網でキャッチして、風船の動きや感触を楽しめるように工夫した。視覚で風船を捉えながら、一生懸命落下地点に移動する児童生徒の姿は真剣そのもので、訪問教育の児童生徒も、ストレッチャーの上に何個乗せることができるかと、保護者や職員と協力しながら取り組んでいた。風船が体に触れる感覚と周りの声を楽しんでいて、個々の児童生徒から意思の表出を見取ることができ、発達や成長に良い影響を及ぼしたのではないかと考えている。



【写真 風船キャッチ】

5 まとめ

青空の下で、全校児童生徒が一堂に会して運動会を実施できることが理想であるが、安心して安全な学校行事とすることも重要である。今回の取組を改善しながら継続し、運動会当日に児童生徒や保護者、職員が、様々な活動を通して笑顔あふれる一日となるように今後も努めていきたい。

東邦高校における体力づくりの取り組み

—挑む！東邦！！—

私立東邦高等学校

1 はじめに

本校は 1923 年に東邦商業学校として創立し、「真に信頼して事を任せうる人格の育成」を建学の精神に掲げ、「真面目」を校訓として、自治を重んじ、真面目に行動し、愛と平和を希求する、誰からも「信頼される人」の育成を目指して教育活動を行っている。今年創立 100 周年を迎え、現在は普通科と美術科があり、普通科の中に普通コース、文理特進コース、国際探究コース、硬式野球部と男子サッカー部が在籍する人間健康コースがあり、全校生徒 1870 人が在籍している。教科保健体育として、保健体育の授業を通して生徒一人ひとりの運動に対する意欲と関心を高め、卒業後も継続してスポーツに取り組む生徒を増やすことを目標としている。

2 実践の内容

(1) 学園体操

入学後、その他の種目と並行して、本校独自の準備体操兼補強運動として学園体操に取り組んでいる。iPad を活用して、手本動画を見ながら生徒同士で動きを確認し合い、ペアでお互いに動画を撮って振り返りをするなど、活発なコミュニケーションを促しながら、各体操の動きの習得をさせている。習得した体操は、怪我の防止と体力向上のため、毎時の準備体操として 3 年間取り組んでいる。

(2) 球技種目の充実

本校では、様々な球技に取り組む機会をもちながら、複数の年次にわたって同じ種目に取り組むことで、段階的な指導を通じ、更に体力・技能が向上し理解が深まり、各種目が持つそれぞれの魅力を最大限味わうことが出来るように工夫をしている。男女ともに 3 年間で 5 種目に取り組んでおり、そのうち、男子はサッカー、女子はテニスを、2 ヶ年にわたって、人工芝のグラウンドを利用して学習している。複数年次にわたり取り組むことで、基礎的な練習～簡易的なゲーム、個人戦術・集団戦術を取り入れた練習～本格的なゲーム、といった充実した内容で実践することができている。単年度実施種目についても基礎的な練習ばかりでなく、ゲーム形式でルールや道具にアレンジを加えるなどし、その種目の魅力が味わえるような工夫をして実践している。また、生徒会行事として競技大会を学年ごとに 7 月に行っており、体育の授業で



【写真 1 サッカー 半面ゲームの様子】



【写真 2 テニス 基礎練習の様子】

身に付けた各種目の技能を発揮する場として、生徒のモチベーションの一つにもなっている。

(3) 温水プールを活用した水泳授業

本校は25m7レーンの温水プールがあり一年を通して水泳の授業を行うことができる。男子は3ヶ年、女子は2ヶ年にわたり水泳を実施しており、それぞれ4泳法の習得と100m個人メドレーの完泳を目指して取り組んでいる。水泳部や水泳経験者が泳ぎの苦手な生徒を積極的に指導するなど、生徒同士での学びの機会を設けたり、教員管理のもとiPadで動画を撮影し、自分の泳ぎを客観的に確認してそれぞれの課題に取り組んだりしながら、4泳法の習得を目指している。また、速く泳ぐだけでなく長い距離を



【写真3 iPadを利用した水泳授業の様子】

泳ぐことにも挑戦するなど、多様な取り組みを行っている。男子は3年次、女子は2年次の授業の終盤に100m個人メドレーに挑戦し、毎年、多くの生徒が完泳している。

(4) マラソン大会と持久走授業

本校では、毎年、愛・地球博記念公園でのマラソン大会を実施している。コロナ禍で2020～2022年度は中止となったが、2023年度は開催を予定している。大会で走行する距離は年度により多少の変更があるが、男子は5～7キロ、女子は3～5キロの起伏に富んだコースを走破する。授業でトレーニングを積んでから大会に臨むことで、ほとんどの生徒が最後まで走り抜くことができている。持久走の授業では、タイム測定だけでなく、20分間走などの時間走も行い、それぞれの生徒の体力やその日の体調に合わせた取り組み方ができるようにしている。また、ペア活動としてiPadを用いてお互いのラップタイムを測定し、自分に合ったペース配分やそれぞれの課題などが見つけられるような取り組みもしている。



【写真4 マラソン大会の様子】

3 おわりに

本校においては、体育的行事や授業以外にも、充実した体育施設を活用した盛んな運動部活動など、スポーツに触れる機会が多くあり、すでに継続してスポーツに取り組んでいる生徒も数多くいる。だが、それらの生徒だけでなく、本校に通う全ての生徒がスポーツの楽しさに触れられる機会を増やしていくために、競技大会や体育祭、マラソン大会などの体育的行事を、より一層充実させ、喜びや感動を仲間と共有できる瞬間を作り、一人ひとりの成長が実感できるものにしていきたい。また、日々の保健体育の授業を、より生徒が主体的に取り組めるものへと発展させていく必要があると考えている。保健体育の学習を通じて、全ての生徒が、知識の習得、体力や技能の向上を図り、他者と共に楽しさや喜びを分かち合い、互いを尊重して、スポーツを楽しむ姿勢を身に付けられるように指導していきたい。そして、卒業後も何らかのスポーツに継続して取り組み、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現していく生徒を育てていきたい。

体力づくり優良校一覧

●昭和53年度

名古屋市立幡下小学校
名古屋市立浮野小学校
名古屋市立村雲小学校
名古屋市立野立小学校
稲沢市立稲沢東小学校
一宮市立貴船小学校
犬山市立犬山北小学校
西春日井郡西枇杷島町立西枇杷島小学校
東海市立横須賀小学校
知多郡南知多町立豊丘小学校
海部郡弥富町立白鳥小学校
東加茂郡下山村立花山小学校
西加茂郡三好町立北部小学校
岡崎市立連尺小学校
岡崎市立岩津小学校
西尾市立矢田小学校
北設楽郡東栄町立粟代小学校
南設楽郡作手村立開成小学校
豊橋市立吉田方小学校
豊川市立天王小学校
蒲郡市立三谷東小学校
名古屋市立鳴海中学校
愛知郡東郷町立東郷中学校
常滑市立常滑中学校
海部郡弥富町立弥富中学校
東加茂郡下山村立下山中学校
豊田市立松平中学校
岡崎市立甲山中学校
北設楽郡稲武町立稲武中学校
新城市立東郷中学校
蒲郡市立三谷中学校
県立安城東高等学校
県立千種高等学校
県立三好高等学校
県立豊橋東高等学校
県立一宮高等学校
県立東郷高等学校
県立半田商業高等学校定時制課程
名古屋市立桜台高等学校
私立名城大学付属高等学校

●昭和54年度

名古屋市立千種小学校
名古屋市立富士見台小学校
名古屋市立伝馬小学校
名古屋市立太白小学校
一宮市立千秋小学校
中島郡祖父江町立長岡小学校
丹羽郡大口町立大口西小学校
春日井市立篠木小学校
知多市立岡田小学校
海部郡美和町立正則小学校
東加茂郡下山村立羽布小学校
東加茂郡足助町立足助小学校
豊田市立元城小学校
安城市立志貴小学校
刈谷市立亀城小学校
額田郡額田町立宮崎小学校
北設楽郡東栄町立中央小学校
南設楽郡作手村立協和小学校
宝飯郡音羽町立長沢小学校
渥美郡渥美町立清田小学校
名古屋市立日比野中学校
丹羽郡大口町立大口中学校

知多郡美浜町立野間中学校
海部郡甚目寺町立甚目寺中学校
豊田市立朝日丘中学校
知立市立竜北中学校
北設楽郡設楽町立田口中学校
南設楽郡作手村立作手中学校
豊川市立南部中学校
豊橋市立高豊中学校
県立三好高等学校
県立一宮高等学校
県立小坂井高等学校
県立太白高等学校
県立豊橋東高等学校
県立一宮商業高等学校
県立熱田高等学校定時制課程
名古屋市立若宮商業高等学校
私立中京高等学校

●昭和55年度

名古屋市立旗屋小学校
名古屋市立松原小学校
名古屋市立西味鏡小学校
名古屋市立高木小学校
中島郡平和町立三宅小学校
一宮市立丹陽西小学校
岩倉市立岩倉東小学校
瀬戸市立古瀬戸小学校
春日市市立高森台小学校
知多市立旭南小学校
海部郡弥富町立弥生小学校
東加茂郡旭町立敷島小学校
豊田市立市木小学校
岡崎市立梅園小学校
北設楽郡豊根村立豊根小学校
南設楽郡鳳来町立中部小学校
豊橋市立鷹丘小学校
名古屋市立宝神中学校
一宮市立奥中学校
愛知郡日進町立日進中学校
知多郡美浜町立河和中学校
東海市立加木屋中学校
海部郡佐織町立佐織中学校
東加茂郡足助町立足助中学校
豊田市立猿投中学校
岡崎市立矢作中学校
北設楽郡津具村立津具中学校
新城市立八名中学校
蒲郡市立中部中学校
豊川市立代田中学校
県立安城東高等学校
県立西尾東高等学校
県立一宮北高等学校
県立惟進高等学校
県立岡崎商業高等学校
県立太白高等学校
県立岡崎高等学校定時制課程
名古屋市立向陽高等学校
私立名古屋短期大学附属高等学校

●昭和56年度

名古屋市立矢田小学校
名古屋市立山吹小学校
名古屋市立千代田橋小学校
名古屋市立八事小学校
中島郡祖父江町立山崎小学校

海部郡蟹江町立学戸小学校
東加茂郡旭町立小渡小学校
豊田市立畝部小学校
岡崎市立城南小学校
北設楽郡設楽町立田口小学校
一宮市立富士小学校
丹羽郡扶桑町立山名小学校
西春日井郡師勝町立師勝東小学校
小牧市立桃ヶ丘小学校
大府市立大府小学校
知多郡阿久比町立草木小学校
新城市立八名小学校
宝飯郡小坂井町立小坂井西小学校
渥美郡渥美町立神戸小学校
春日井市立松原中学校
常滑市立鬼崎中学校
海部郡立田村立立田中学校
東加茂郡旭町立旭中学校
豊田市立逢妻中学校
幡豆郡幡豆町立幡豆中学校
豊橋市立南部中学校
蒲郡市立蒲郡中学校
名古屋市立笹島中学校
名古屋市立南光中学校
尾西市立第一中学校
県立瀬戸高等学校
県立春日井東高等学校
県立犬山南高等学校
県立碧南高等学校
県立豊橋南高等学校
県立豊丘高等学校
県立新城高等学校
県立第二愛知工業高等学校
名古屋市立西陵商業高等学校
県立春日台養護学校

●昭和57年度

名古屋市立上野小学校
名古屋市立御園小学校
名古屋市立しまだ小学校
名古屋市立神の倉小学校
名古屋市立千鳥小学校
瀬戸市立東明小学校
愛知郡日進町立西小学校
春日井市立鳥居松小学校
江南市立古知野南小学校
稲沢市立坂田小学校
知多郡南知多町立日間賀小学校
知多郡東浦町立生路小学校
海部郡七宝町立伊福小学校
東加茂郡足助町立萩野小学校
西加茂郡三好町立中部小学校
碧南市立大浜小学校
北設楽郡津具村立津具小学校
渥美郡渥美町立和地小学校
豊川市立東部小学校
豊橋市立東田小学校
名古屋市立御幸山中学校
名古屋市立城山中学校
名古屋市立猪高中学校
尾張旭市立西中学校
葉栗郡木曾川町立木曾川中学校
一宮市立萩原中学校
半田市立青山中学校
西加茂郡藤岡町立藤岡中学校

安城市立安城北中学校
宝飯郡音羽町立音羽中学校
県立千種高等学校
県立西春高等学校
県立常滑北高等学校
県立安城東高等学校
県立西尾東高等学校
県立三好高等学校
県立東海商業高等学校
県立稲沢高等学校定時制課程
県立名古屋聾学校

●昭和58年度

名古屋市立戸笠小学校
名古屋市立梅森坂小学校
名古屋市立砂田橋小学校
名古屋市立伊勝小学校
名古屋市立本郷小学校
豊明市立大宮小学校
小牧市立三ツ淵小学校
豊田市立土橋小学校
東加茂郡旭町立築羽小学校
新城市立庭野小学校
蒲郡市立竹島小学校
豊橋市立下地小学校
西春日井郡西春町立西春小学校
丹羽郡扶桑町立扶桑東小学校
海部郡甚目寺町立西小学校
知多市立佐布里小学校
幡豆郡吉良町立吉田小学校
名古屋市立桜田中学校
名古屋市立明豊中学校
名古屋市立守山中学校
春日井市立坂下中学校
中島郡祖父江町立祖父江中学校
海部郡蟹江町立蟹江北中学校
東海市立上野中学校
西尾市立福地中学校
一宮市立浅井中学校
北設楽郡東栄町立東栄中学校
豊川市立西部中学校
県立東郷高等学校
県立旭野高等学校
県立一宮高等学校
県立横須賀高等学校
県立豊田北高等学校
県立豊橋東高等学校
県立半田農業高等学校
県立東山工業高等学校
県立岡崎高等学校定時制課程
県立岡崎養護学校

●昭和59年度

瀬戸市立深川小学校
一宮市立末広小学校
海部郡立田村立南部小学校
東海市立加木屋南小学校
安城市立里町小学校
豊田市立滝脇小学校
渥美郡赤羽根町立高松小学校
名古屋市立昭和橋小学校
名古屋市立平和が丘小学校
名古屋市立東山小学校
海部郡七宝町立北中学校
知多郡東浦町立北部中学校

刈谷市立雁が音中学校
宝飯郡一宮町立一宮中学校
名古屋市立北山中学校
県立豊明高等学校
県立江南高等学校
県立安城高等学校
県立半田商業高等学校
県立小牧養護学校

●昭和60年度

春日井市立勝川小学校
西春日井郡清洲町立清洲小学校
江南市立宮田小学校
東海市立加木屋小学校
高浜市立港小学校
額田郡額田町立大雨河小学校
東加茂郡足助町立御蔵小学校
南設楽郡鳳来町立鳳来小学校
名古屋市立正色小学校
名古屋市立正保小学校
小牧市立小牧中学校
中島郡平和町立平和中学校
豊田市立若園中学校
豊橋市立羽田中学校
名古屋市立東陵中学校
県立高蔵寺高等学校
県立五条高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊川工業高等学校
県立一宮養護学校

●昭和61年度

一宮市立西成東小学校
尾張旭市立城山小学校
海部郡佐屋町立佐屋西小学校
西尾市立西野町小学校
豊田市立童子山小学校
北設楽郡東栄町立下川小学校
豊川市立御油小学校
名古屋市立大須小学校
名古屋市立鶴舞小学校
名古屋市立吹上小学校
瀬戸市立東中学校
東海市立富木島中学校
碧南市立東中学校
名古屋市立八王子中学校
名古屋市立本城中学校
県立春日井高等学校
県立佐屋高等学校
県立半田東高等学校
県立刈谷東高等学校
県立豊橋西高等学校

●昭和62年度

尾西市立開明小学校
春日井市立玉川小学校
豊明市立三崎小学校
岩倉市立五条川小学校
刈谷市立東刈谷小学校
豊田市立青木小学校
蒲郡市立西浦小学校
宝飯郡音羽町立赤坂小学校
名古屋市立東白壁小学校
名古屋市立中川小学校
犬山市立城東中学校
海部郡佐屋町立佐屋中学校

岡崎市立竜南中学校
渥美郡渥美町立福江中学校
名古屋市立港明中学校
県立桃陵高等学校
県立豊田南高等学校
県立作手高等学校
県立豊川養護学校
名古屋市立名東高等学校

●昭和63年度

稲沢市立大塚小学校
小牧市立一色小学校
海部郡甚目寺町立甚目寺小学校
知多郡武豊町立緑丘小学校
安城市立桜井小学校
豊田市立寿恵野小学校
豊橋市立飯村小学校
名古屋市立大野木小学校
名古屋市立味鋤小学校
名古屋市立愛知小学校
一宮市立北方中学校
愛知郡日進町立日進中学校
額田郡幸田町立幸田中学校
新城市立新城中学校
名古屋市立神丘中学校
県立津島高等学校
県立岡崎北高等学校
県立愛知商業高等学校
県立国府高等学校
県立武豊高等学校

●平成元年度

一宮市立今伊勢小学校
春日井市立神領小学校
半田市立雁宿小学校
岡崎市立竜谷小学校
幡豆郡一色町立一色南部小学校
渥美郡渥美町立中山小学校
北設楽郡設楽町立名倉小学校
名古屋市立西山小学校
名古屋市立滝川小学校
名古屋市立福田小学校
東海市立平洲中学校
豊田市立高岡中学校
豊橋市立石巻中学校
名古屋市立川名中学校
名古屋市立はとり中学校
県立昭和高等学校
県立一宮西高等学校
県立半田高等学校
県立西尾高等学校
県立成章高等学校

●平成2年度

西春日井郡豊山町立新栄小学校
岩倉市立曾野小学校
愛知郡日進町立東小学校
海部郡弥富町立栄南小学校
岡崎市立六ツ美南部小学校
東加茂郡足助町立大河原小学校
豊川市立国府小学校
豊橋市立天伯小学校
名古屋市立東桜小学校
名古屋市立大磯小学校
瀬戸市立光陵中学校
知多郡阿久比町立阿久比中学校

西尾市立東部中学校
豊橋市立南稜中学校
名古屋市立南陽東中学校
県立名古屋南高等学校
県立五条高等学校
県立常滑北高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊橋工業高等学校

●平成3年度

豊川市立金屋小学校
豊橋市立植田小学校
安城市立桜林小学校
名古屋市立猪高小学校
名古屋市立八社小学校
名古屋市立鳴海東部小学校
大府市立石ヶ瀬小学校
海部郡蟹江町立蟹江小学校
一宮市立今伊勢西小学校
尾張旭市立端鳳小学校
渥美郡田原町立田原中学校
刈谷市立刈谷東中学校
名古屋市立扇台中学校
春日井市立岩成台中学校
海部郡佐屋町立永和中学校
県立一宮高等学校
県立武豊高等学校
県立岡崎北高等学校
県立豊丘高等学校
県立春日台養護学校

●平成4年度

名古屋市立御器所小学校
名古屋市立表山小学校
名古屋市立前山小学校
稲沢市立小正小学校
西春日井郡新川町立新川小学校
知多市立八幡小学校
豊田市立東山小学校
安城市立作野小学校
蒲郡市立三谷小学校
豊橋市立大崎小学校
名古屋市立原中学校
名古屋市立八幡中学校
犬山市立南部中学校
瀬戸市立水無瀬中学校
岡崎市立新香山中学校
県立美和高等学校
県立岡崎西高等学校
県立時習館高等学校
県立桃陵高等学校校定時制課程
私立栄徳高等学校

●平成5年度

知多郡美浜町立奥田小学校
愛知県東郷町立東郷小学校
岩倉市立岩倉北小学校
小牧市立篠岡小学校
碧南市立日進小学校
豊田市立五ヶ丘小学校
南設楽郡鳳来町立連谷小学校
豊橋市立多米小学校
名古屋市立植田北小学校
名古屋市立枇杷島小学校
知多市立旭南中学校
稲沢市立稲沢西中学校
岡崎市立葵中学校

豊橋市立豊城中学校
名古屋市立東星中学校
県立瑞陵高等学校
県立横須賀高等学校
県立刈谷北高等学校
県立豊橋商業高等学校
県立名古屋盲学校

●平成6年度

尾西市立起小学校
豊明市立豊明小学校
海部郡弥富町立弥生小学校
半田市立雁宿小学校
宝飯郡一宮町立一宮南部小学校
安城市立新田小学校
岡崎市立細川小学校
名古屋市立鳴海小学校
名古屋市立南押切小学校
名古屋市立神宮寺小学校
一宮市立大和南中学校
瀬戸市立祖東中学校
豊川市立西部中学校
額田郡額田町立額田中学校
名古屋市立天神山中学校
県立日進西高等学校
県立丹羽高等学校
県立岡崎東高等学校
県立新城東高等学校
県立一宮東養護学校

●平成7年度

一宮市立神山小学校
尾張旭市立城山小学校
知多郡阿久比町立東部小学校
額田郡幸田町立中央小学校
東加茂郡足助町立大蔵小学校
豊田市立上鷹見小学校
豊橋市立二川南小学校
名古屋市立榎小学校
名古屋市立御園小学校
名古屋市立大清水小学校
海部郡蟹江町立蟹江中学校
幡豆郡一色町立一色中学校
豊橋市立豊岡中学校
名古屋市立御田中学校
名古屋市立鳴海中学校
県立春日井南高等学校
県立新川高等学校
県立阿久比高等学校
県立知立東高等学校
県立豊田工業高等学校

●平成8年度

渥美郡渥美町立福江小学校
岡崎市立六ツ美中部小学校
豊橋市立賀茂小学校
幡豆郡吉良町立白浜小学校
稲沢市立稲沢西小学校
西春日井郡西春日町立栗島小学校
犬山市立犬山西小学校
海部郡佐織町立北河田小学校
名古屋市立港楽小学校
名古屋市立那古野小学校
豊田市立末野原中学校
南設楽郡鳳来町立鳳来中学校
日進市立日進東中学校
東海市立横須賀中学校

名古屋市立山王中学校
県立天白高等学校
県立木曾川高等学校
県立刈谷高等学校
県立御津高等学校
県立一宮豊学校

●平成9年度

小牧市立桃ヶ丘小学校
瀬戸市立八幡小学校
中島郡祖父江町立領内小学校
常滑市立大野小学校
西尾市立寺津小学校
豊田市立五ヶ丘東小学校
蒲郡市立形原小学校
名古屋市立瀬古小学校
名古屋市立平田小学校
名古屋市立中島中学校
一宮市立今伊勢中学校
海部郡美和町立美和中学校
知立市立知立南中学校
豊橋市立石巻中学校
名古屋市立一柳中学校
県立明和高等学校
県立半田高等学校
県立成章高等学校
県立岡崎商業高等学校
県立春日井高等養護学校

●平成10年度

名古屋市立白金小学校
名古屋市立橋小学校
名古屋市立小幡北小学校
西春日井郡西春日町立栗島小学校
一宮市立葉栗小学校
知多郡武豊町立富貴小学校
刈谷市立小垣江東小学校
岡崎市立矢作南小学校
豊田市立寺部小学校
豊川市立豊小学校
名古屋市立南光中学校
名古屋市立白山中学校
愛知県長久手町立長久手中学校
丹羽郡扶桑町立扶桑中学校
宝飯郡一宮町立一宮中学校
県立旭野高等学校
県立一宮興道高等学校
県立東海南高等学校
県立豊田西高等学校
県立豊橋商業高等学校

●平成11年度

名古屋市立稻生小学校
名古屋市立楠小学校
豊明市立唐竹小学校
知多郡東浦町立藤江小学校
岡崎市立常磐小学校
北設楽郡津具村立津具小学校
名古屋市立有松中学校
海部郡蟹江町立蟹江中学校
岡崎市立六ツ美中学校
蒲郡市立塩津中学校
県立昭和高等学校
県立津島高等学校
県立安城東高等学校
県立国府高等学校
県立安城養護学校

●平成12年度

稲沢市立稲沢東小学校
海部郡大治町立大治小学校
西加茂郡三好町立緑丘小学校
豊橋市立大崎小学校
名古屋市立本郷小学校
名古屋市立笠寺小学校
瀬戸市立南山中学校
知多郡美浜町立河和中学校
刈谷市立富士松中学校
名古屋市立沢上中学校
県立松蔭高等学校
県立丹羽高等学校
県立東海商業高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊川工業高等学校

●平成13年度

高浜市立高浜小学校
蒲郡市立三谷東小学校
名古屋市立野立小学校
名古屋市立八熊小学校
尾張旭市立本地原小学校
一宮市立丹陽南小学校
西加茂郡三好町立南中学校
渥美郡渥美町立福江中学校
名古屋市立振甫中学校
江南市立古知野中学校
県立千種高等学校
県立一宮西高等学校
県立西尾高等学校
県立時習館高等学校
県立三好養護学校

●平成14年度

名古屋市立諏訪小学校
名古屋市立小碓小学校
愛知郡東郷町立高嶺小学校
大府市立共長小学校
東加茂郡足助町立萩野小学校
新城市立舟着小学校
名古屋市立原中学校
中島郡祖父江町立祖父江中学校
西春日井郡西枇杷島町立西枇杷島中学校
豊川市立中部中学校
県立明和高等学校
県立一宮興道高等学校
県立半田高等学校
県立刈谷高等学校
県立豊橋東高等学校

●平成15年度

江南市立古知野北小学校
半田市立有脇小学校
豊田市立根川小学校
宝飯郡一宮町立一宮南部小学校
名古屋市立筒井小学校
名古屋市立守山小学校
豊明市立豊明中学校
岡崎市立甲山中学校
北設楽郡豊根村立豊根中学校
名古屋市立浄心中学校
県立天白高等学校
県立木曾川高等学校
県立知多東高等学校
県立豊田北高等学校
県立小坂井高等学校

●平成16年度

刈谷市立亀城小学校
豊橋市立高師小学校
名古屋市立猪高小学校
名古屋市立東丘小学校
海部郡基目寺町立南小学校
瀬戸市立品野台小学校
碧南市立新川中学校
名古屋市立鳴海中学校
一宮市立中部中学校
知多郡南知多町日間賀中学校
県立瑞陵高等学校
県立一宮高等学校
県立岡崎高等学校
県立新城東高等学校
県立佐織養護学校

●平成17年度

名古屋市立篠原小学校
名古屋市立長根台小学校
稲沢市立牧川小学校
清須市立星の宮小学校
額田郡幸田町立豊坂小学校
田原市立若戸小学校
名古屋市立宮中学校
大山市立東部中学校
豊田市立竜神中学校
豊橋市立羽田中学校
県立愛知商業高等学校
県立五条高等学校
県立横須賀高等学校
県立刈谷北高等学校
県立豊橋南高等学校
私立東邦高等学校

●平成18年度

豊田市立加納小学校
豊川市立千両小学校
名古屋市立成章小学校
名古屋市立明德小学校
丹羽郡扶桑町立山名小学校
知多市立新知小学校
新城市立千郷中学校
名古屋市立名南中学校
津島市立神守中学校
日進市立日進西中学校
県立東郷高等学校
県立西春高等学校
県立豊田高等学校
県立成章高等学校
県立豊橋豊学校

●平成19年度

名古屋市立正木小学校
名古屋市立春日野小学校
美和町立美和小学校
小牧市立北里小学校
知立市立八ツ田小学校
蒲郡市立竹島小学校
名古屋市立山田東中学校
美浜町立野間中学校
岡崎市立福岡中学校
小坂井町立小坂井中学校
県立豊明高等学校
県立津島東高等学校
県立阿久比高等学校
県立岡崎西高等学校
県立国府高等学校

●平成20年度

江南市立門弟山小学校
東海市立平洲小学校
西尾市立鶴城小学校
豊橋市立下池小学校
名古屋市立杉村小学校
名古屋市立天白小学校
東郷町立春木中学校
稲沢市立大里東中学校
豊田市立前橋中学校
名古屋市立川名中学校
県立旭丘高等学校
県立一宮南高等学校
県立半田養護学校
県立豊田西高等学校
県立蒲郡東高等学校
私立杜若高等学校

●平成21年度

名古屋市立大須小学校
名古屋市立呼続小学校
一宮市立浅井南小学校
豊明市立杏掛小学校
一色町立一色南部小学校
新城市立八名小学校
名古屋市立あづま中学校
愛西市立佐織西中学校
岡崎市立北中学校
田原市立野田中学校
県立旭野高等学校
県立一宮工業高等学校
県立常滑高等学校
県立豊田東高等学校
県立豊橋工業高等学校
私立至学館高等学校

●平成22年度

名古屋市立笠寺小学校
名古屋市立大森小学校
あま市立七宝小学校
東海市立大田小学校
岡崎市立矢作北小学校
豊川市立御津南部小学校
名古屋市立南陽東中学校
大山市立犬山中学校
瀬戸市立水野中学校
蒲郡市立大塚中学校
県立春日井高等学校
県立津島高等学校
県立岡崎北高等学校
県立三谷水産高等学校
県立名古屋養護学校
私立名城大学附属高等学校

●平成23年度

稲沢市立六輪小学校
春日井市立小野小学校
豊田市立野見小学校
田原市立衣笠小学校
名古屋市立西城小学校
名古屋市立猪高小学校
名古屋市立御田中学校
知多市立知多中学校
安城市立安城西中学校
設楽町立設楽中学校
県立昭和高等学校
県立尾北高等学校
県立半田商業高等学校
県立三好高等学校
県立みあい養護学校
私立大成高等学校

●平成24年度

岡崎市立岡崎小学校
蒲郡市立蒲郡南部小学校
名古屋市立栄生小学校
名古屋市立天白小学校
岩倉市立五条川小学校
津島市立高台寺小学校
幸田町立北部中学校
名古屋市立扇台中学校
一宮市立尾西第一中学校
豊明市立栄中学校
愛知県立松蔭高等学校
愛知県立一宮西高等学校
愛知県立西尾高等学校
愛知県立時習館高等学校
愛知県立名古屋豊学校
私立愛知啓成高等学校

●平成25年度

名古屋市立清水学校
名古屋市立植田東小学校
一宮市立千秋南小学校
美浜町立河和小学校
みよし市立緑丘小学校
設楽町立清嶺小学校
名古屋宝神中学校
江南市立布袋中学校
豊田市立猿投中学校
新城市立作手中学校
愛知県立明和高等学校
愛知県立一宮工業高等学校
愛知県立大府高等学校
愛知県立知立東高等学校
愛知県立岡崎養護学校
私立豊田大谷高等学校

●平成26年度

名古屋市立高見小学校
名古屋市立西築地小学校
江南市立藤里小学校
尾張旭市立瑞鳳小学校
刈谷市立平成小学校
豊橋市立豊小学校
名古屋市立桜田中学校
あま市立七宝北中学校
南知多町立師崎中学校
豊川市立東部中学校
愛知県立名古屋西高等学校
愛知県立一宮興道高等学校
愛知県立大府東高等学校
愛知県立岡崎東高等学校
愛知県立豊川工業高等学校
愛知県立豊川特別支援学校本宮校舎

●平成27年度

名古屋市立平子小学校
名古屋市立野田小学校
稲沢市立稲沢北小学校
あま市立伊福小学校
西尾市立中畑小学校
新城市立東郷西小学校
名古屋市立山王中学校
豊山町立豊山中学校
岡崎市立美川中学校
豊橋市立高師台中学校
愛知県立天白高等学校
愛知県立一宮北高等学校
愛知県立安城東高等学校
愛知県立豊橋商業高等学校
愛知県立千種豊学校
私立中京大学附属中京高等学校

●平成28年度

名古屋市立桶狭間小学校
名古屋市立下志段味小学校
春日井市立西山小学校
東海市立船島小学校
知立市立知立小学校
豊川市立萩小学校
名古屋市立原中学校
江南市立古知野中学校
一宮市立南部中学校
刈谷市立刈谷南中学校
愛知県立愛知商業高等学校
愛知県立木曾川高等学校
愛知県立横須賀高等学校
愛知県立鶴城丘高等学校
豊田市立豊田特別支援学校
名古屋大谷高等学校

●平成29年度

名古屋市立千石小学校
名古屋市立旭丘小学校
犬山市立犬山南小学校
津島市立蛭間小学校
幸田町立坂崎小学校
豊橋市立八町小学校
名古屋市立志段味中学校
小牧市立味岡中学校
常滑市立青海中学校
西尾市立吉良中学校
愛知県立日進西高等学校
愛知県立一宮高等学校
愛知県立刈谷北高等学校
愛知県立豊橋東高等学校
愛知県立いなざわ特別支援学校
星城高等学校

●平成30年度

名古屋市立砂田橋小学校
名古屋市立正保小学校
一宮市立北方小学校
東郷町立兵庫小学校
豊田市立東広瀬小学校
田原市立田原東部小学校
名古屋市立桜丘中学校
あま市立甚目寺中学校
蒲郡市立大塚中学校
田原市立泉中学校
愛知県立中村高等学校
愛知県立西春高等学校
愛知県立知多翔洋高等学校
愛知県立豊田北高等学校
愛知県立小坂井高等学校
愛知県立岡崎豊学校

●令和元年度

名古屋市立小坂小学校
名古屋市立蓬来小学校
犬山市立犬山西小学校
愛西市立草平小学校
豊田市立岩倉小学校
蒲郡市立蒲郡北部小学校
名古屋市立鳴海中学校
美浜町立野間中学校
岡崎市立北中学校
豊橋市立吉田方中学校
愛知県立旭丘高等学校
愛知県立一宮南高等学校
愛知県立阿久比高等学校
愛知県立知立高等学校
愛知県立ひいらぎ特別支援学校
私立岡崎城西高等学校

●令和2年度

新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。

●令和3年度

名古屋市立浦里小学校
名古屋市立六郷小学校
瀬戸市立幡山西小学校
東浦町立森岡小学校
刈谷市立小高原小学校
設楽町立田口小学校
名古屋市立名塚中学校
稲沢市立治郎丸中学校
愛西市立佐織中学校
岡崎市立額田中学校
愛知県立千種高等学校
愛知県立尾北高等学校
愛知県立刈谷高等学校
愛知県立宝陵高等学校
愛知県立豊田高等特別支援学校
私立滝高等学校

●令和4年度

名古屋市立楠小学校
名古屋市立本郷小学校
一宮市立起小学校
扶桑町立扶桑東小学校
みよし市立黒笹小学校
豊橋市立汐田小学校
名古屋市立長良中学校
北名古屋市立西春中学校
刈谷市立依佐美中学校
東栄町立東栄中学校
愛知県立瑞陵高等学校
愛知県立津島高等学校
愛知県立半田東高等学校
愛知県立三好高等学校
愛知県立岡崎盲学校
私立豊川高等学校

●令和5年度

名古屋市立御器所小学校
名古屋市立前山小学校
日進市立香山小学校
南知多町立内海小学校
豊田市立浄水小学校
新城市立東陽小学校
名古屋市立高針台中学校
江南市立富田中学校
津島市立神守中学校
豊川市立一宮中学校
愛知県立春日井高等学校
愛知県立一宮西高等学校
愛知県立西尾高等学校
愛知県立新城有教館高等学校
愛知県立豊橋特別支援学校
私立東邦高等学校

愛知県教育委員会学校体育研究委嘱校の研究主題一覧

(小・中学校)

昭和33年度

- ・愛知郡長久手村立長久手小学校
- ・望ましい体育環境における学習指導
- ・額田郡幸田町立坂崎小学校
- ・体育学習における段階指導
- ・知多郡大府町立大府中学校
- ・パーソナリティーと技術向上をめざした体育教育
- ・蒲郡市立蒲郡中学校
- ・体育管理10年のあゆみ

昭和34年度

- ・知多郡美浜町立布土小学校
- ・基礎的運動技能向上をめざしての体育学習指導
- ・渥美郡田原町立北部小学校
- ・器械運動における系統的段階指導
- ・一宮市立中部中学校
- ・体育活動への意欲的参加
- ・豊田市立朝日丘中学校
- ・基礎的技術の養成

昭和35年度

- ・中島郡祖父江町立丸甲小学校
- ・せまい運動場での体育学習
- ・岡崎市立男川小学校
- ・基礎到達をめざしての体育学習指導
- ・愛知郡日進町立日進中学校
- ・特別教育活動における科学的な体育クラブ活動
- ・渥美郡田原町立田原中学校
- ・器械運動における基礎的技術向上をめざしての学習指導

昭和36年度

- ・一宮市立大和西小学校
- ・学習効果を高めるための指導法並びに施設について
- ・豊川市立牛久保小学校
- ・学習意欲を高めるための体育指導
ー体育管理ー
- ・常滑市立鬼崎中学校
- ・望ましい体育の体験をめざす学習指導
- ・西尾市立平坂中学校
- ・学習効果を高めるための体育指導法
ーバレーボールの学習指導法ー

昭和37年度

- ・西春日井郡春日村立春日小学校
- ・器械運動の効果的指導のための問題点について
- ・幡豆郡吉良町立横須賀小学校
- ・基礎運動能力を伸ばす学習指導はいかにあるべきか
- ・丹羽郡岩倉町立岩倉中学校
- ・学習指導要領にそくした指導はいかにしたらよいか
ーバスケットボールをととしてー
- ・南設楽郡鳳来町立長篠中学校
- ・球技（バスケットボール）の評価はどのようにしたらよいか

昭和38年度

- ・豊橋市立福岡小学校
- ・認識を深める体育学習
ー水泳の初心者指導についてー
- ・海部郡大治村立大治小学校
- ・体育学習における効果的指導の一考察
ー陸上運動を中心としてー
- ・小牧市立味岡中学校
- ・器械運動と格技（相撲）の効果的指導について
- ・碧海郡高浜町立高浜中学校
- ・サッカーの効果的指導について

昭和39年度

- ・知多郡大高町立大高小学校
- ・体育科における集団行動の指導
ー生涯化をめざしてー
- ・刈谷市立富士松南小学校
- ・基礎到達をめざしての体育指導
ー器械運動の学習を深めるための効果的指導ー
- ・海部郡弥富町立弥富中学校
- ・陸上競技における評価を通しての学習指導
ー運動技能を中心としてー

- ・蒲郡市立三谷中学校
- ・中学校における格技（剣道）の効果的指導法

昭和40年度

- ・丹羽郡大口町立大口北小学校
- ・学習効果を高めるための諸施設の管理と活用
- ・宝飯郡小坂井町立小坂井西小学校
- ・器械運動の効果的指導
ー特に鉄棒運動を中心としてー
- ・知多郡知多町立知多中学校
- ・器械運動の効果的指導
- ・岡崎市立葵中学校
- ・体力増強をめざした体育教育
ー陸上・器械運動を中心としてー

昭和41年度

- ・春日井市立篠木小学校
- ・器械運動の技能を伸ばすための体育指導
- ・西加茂郡三好町立北部小学校
- ・体力増強をめざした体育指導
ー器械運動をととしてー
- ・中島郡祖父江町立祖父江中学校
- ・能力差に応じた体育指導
ー器械運動・バスケットボールを中心としてー
- ・北設楽郡津具村立津具中学校
- ・到達基準に関する研究
ー学習の動機づけについて（陸上競技）ー

昭和42・43年度

- ・尾西市立三条小学校
- ・リズム運動の効果的指導について
ー表現を主体としてー
- ・渥美郡渥美町立中山小学校
- ・体育的学校の効果的な指導管理について
ー運動会を中心としてー
- ・東春日井郡旭町立旭中学校
- ・体育クラブにおける運営と管理
- ・安城市立安城南中学校
- ・徒手体操における体力づくり

昭和44・45年度

- ・知多郡東浦町立緒川小学校
- ・体操をととしての体力づくり
- ・碧南市立大浜小学校
- ・進んで体力づくりのできる子
ー陸上運動の指導を中心に体育の生活化をめざしてー
- ・江南市立古知野中学校
- ・基礎体力を養成するためには如何にしたらよいか
- ・豊川市立東部中学校
- ・体操による体力づくり
ー主体的な学習活動をととしてー

昭和46・47年度

- ・一宮市立浅井南小学校
- ・個々の体力向上をめざす体育指導
- ・豊橋市立高師小学校
- ・豊かな活動力をめざして
ー自主性を育てる体育学習ー
- ・知多郡美浜町立河和中学校
- ・自発性をもった体育学習
ー自分の力を知り、自ら努める姿を求めてー
- ・豊田市立上郷中学校
- ・技能向上をめざす体育学習
ー自主性の開発をめざして（陸上・器械）ー

昭和48・49年度

- ・岡崎市立岩津小学校
- ・活動力あるからだづくり
ーボール運動ー
- ・一宮市立奥中学校
- ・体育的行事の望ましいあり方

昭和50・51年度

- ・海部郡弥富町立白鳥小学校
- ・ねばり強くたくましいからだづくり
ースポーツ領域を通してー
- ・北設楽郡稲武町立稲武中学校
- ・ひとりひとりの技能を高める体育学習

<p>昭和52・53年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡市立三谷東小学校 ・春日井市立西部中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきとした活動をめざす体育指導 ・心身ともにたくましい生徒の育成をめざして ー体育的諸活動を通してー 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市立高岡中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に問題を解決し、高め合う生徒をめざして ー集団とのかかわりを通して、個を生かし、伸ばす学校教育ー
<p>昭和54・55年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大府市立大府小学校 ・安城市立安城北中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともにたくましく、生き生きと活動する児童の育成をめざして ・たくましい心とからだを育成する学校教育のあり方 ー生活化をめざし生徒と教師がともに実現する体育活動ー 	<p>平成7・8年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市立かりがね小学校 ・知多郡南知多町立豊浜中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に親しむ子を育てる学校体育 ・意欲的に学び、学ぶことの楽しさを味わう生徒の育成 ーとらえる、かかわる、高め合う学校体育ー
<p>昭和56・57年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊川市立東部小学校 ・海部郡蟹江町立蟹江北中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の生活化とたくましい子どもづくり ー自らとりくみ、確かめ、伸びる活動を通してー ・たくましく、さとく、明るい生徒の育成をめざして ー教育活動全体をとおしての体づくりー 	<p>平成9・10年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海部郡佐織町立北河田小学校 ・宝飯郡一宮町立一宮中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わい、めあてをもって運動に親しむ子を育てる学校体育 ー集団の中で教え合ったり学び合ったりする活動を通してー ・生きる力をはぐくむ学校体育 ー生き生きした眼・生き生きした顔・生き生きした動きをめざしてー
<p>昭和58・59年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉栗郡木曾川町立黒田小学校 ・豊田市立衣丘小学校 ・豊田市立若園中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくましく、生き生きとした黒田っ子の育成 ーわかる、できる、創造する喜びを旨とした体育の授業ー ・ひとりひとりが、運動の楽しさを味わい、意欲的に取り組む体育学習 ー指導方法の工夫を通してー ・一人ひとりが運動の楽しさや喜びを知る体育学習を求めて 	<p>平成11・12年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張旭市立旭中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生きと活動できる生徒の育成 ー自己を見つめ、互いに高め合う活動を通してー
<p>昭和60・61年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝飯郡音羽町立赤坂小学校 ・豊田市立杏掛中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己学習能力を育てる体育学習をめざして ー指導と評価の一本化ー ・能力開発のための指導過程のあり方 ー適切な課題・適度な負荷の研究ー 	<p>平成13・14年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新城市立舟着小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・やっつるで！ ー体が動く 心が動くー
<p>昭和62・63年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市立小豆坂小学校 ・東海市立平洲中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかで、活力あふれる子どもの育成をめざして ー一人ひとりが生き生きと取り組む体育学習ー ・生徒が意欲的・主体的に活動する授業の展開をめざして ー体育学習メニューの活用を通してー 	<p>平成15・16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一宮市立大和東小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育み、未来に向けて、たくましく生きる児童の育成 ー心と体、一体となって成長する体育学習をめざしてー
<p>平成元・2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸市立水野小学校 ・知立市立竜北中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな心身を自らつくりあげる児童の育成 ー主として体育活動をとおしてー ・自ら学ぶ力を育てる授業をめざして ー自主選択を取り入れた体育学習ー 	<p>平成17・18年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碧南市立南中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間とともに学び合い、生き生きと活動できる生徒の育成 ー運動生活習慣づくりを目指してー
<p>平成3・4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡市立三谷小学校 ・稲沢市立大里東中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ力を育てる指導 ー一人ひとりができる喜びを味わえる体育学習をめざしてー ・個性を發揮し、主体的にとりくむ生徒の育成 ー一人一人が学習課題を選択・設定し、自らの力を伸ばし、發揮できる授業の創造を中心としてー 	<p>平成19・20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江南市立北部中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・心と体を鍛え、たくましく生きぬく生徒の育成 ー一人とのかかわりを大切にする「みずまる教育活動」を通してー
<p>平成5・6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市立岩倉北小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わえる子を育てる学校教育 ー個が生きる、ひびきあう場の設定を通してー 	<p>平成21・22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安城市立梨の里小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動大好き！たくましい梨っ子の育成 ーできる・わかる・かかわる体育学習を通してー
		<p>平成23・24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大府市立神田小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで運動 みんなで健康 神田っ子 ーわかる・できる・かかわる体育の授業を通してー
		<p>平成25・26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田原市立泉中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら、進んで体を動かそうとする生徒の育成 ー『チーム泉』を活用した学校体育の充実ー
		<p>平成27・28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あま市立美和中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい 高めたい 続けたい」と自ら学ぶとする生徒の育成 ー自他を大切にする「あまっ子」をめざしてー

平成29・30年度

- ・豊橋市立吉田方小学校
- ・心と体の健康に関心をもち、運動やスポーツに親しむ子どもを育成する体育活動
- 授業改善・運動施設の有効活用・学校独自の体育的行事を柱に据えた取り組みを通して-

令和元年度以降指定なし

(高等学校)

昭和32・33年度

- ・県立名古屋西高等学校

<協力校>

- ・渥美農, 岡崎商, 小牧, 猿投農, 新城, 津島商工, 豊川工, 西尾実, 碧南, 津島

昭和34・35年度

- ・県立松蔭高等学校

<協力校>

- ・豊橋工, 刈谷, 昭和稲沢

昭和36・37年度

- ・県立端陵高等学校

昭和38・39年度

- ・県立熱田高等学校

<協力校>

- ・尾北, 一宮商, 半田東山工, 足助, 猿投農, 碧南, 蒲郡, 豊橋商

昭和40・41年度

- ・県立時習館高等学校
- ・県立明和高等学校
- ・県立瀬戸窯業高等学校
- ・県立横須賀高等学校

昭和42・43年度

- ・県立愛知商業高等学校
- ・県立刈谷高等学校
- ・県立西尾高等学校

<協力校>

- ・安城農, 西尾実

昭和44・45年度

- ・県立豊橋東高等学校
- ・県立木曾川高等学校
- ・県立名古屋西高等学校

昭和46・47年度

- ・県立東郷高等学校
- ・県立半田農業高等学校
- ・県立古知野高等学校

昭和48・49年度

- ・県立中村高等学校
- ・県立岡崎北高等学校

昭和50・51年度

- ・県立豊橋工業高等学校
- ・県立緑丘商業高等学校

昭和52・53年度

- ・県立第二愛知工業高等学校

- ・県立刈谷東高等学校

昭和54・55年度

- ・県立春日井西高等学校
- ・県立衣台高等学校

- ・体育の学習活動と集団行動
- ・学校教育の評価
- ・地域及び学校の現状に即した体育科年間指導計画の樹立

- ・基礎体力を向上させるための方策

- ・高等学校教育課程改訂に伴う諸問題

- ・高等学校体育の運動技能到達目標設定について

- ・高等学校体育の運動技能到達目標の設定について

- ・高等学校体育の運動技能到達目標の設定について

- ・体力の向上はどのようにしたらよいか

- ・体育的クラブ活動の指導はどのようにしたらよいか

- ・体育施設の効果的利用と安全管理について

- ・職業課程高等学校生徒の体力・運動能力と普通課程高等学校生徒の体力・運動能力との比較考察
- ・職業課程高等学校における女子生徒の体力向上をめざす指導はどのようにしたらよいか

- ・多様化してきている定時制の体育はいかにあるべきか

- ・保健体育授業における生徒選択について

昭和56・57年度

- ・県立犬山南高等学校
- ・県立太白高等学校

昭和58・59年度

- ・県立豊田北高等学校

昭和60・61年度

- ・県立知多高等学校

平成元・2年度

- ・県立半田東高等学校

平成3・4年度

- ・県立美和高等学校

平成5・6年度

- ・県立岡崎東高等学校

平成7・8年度

- ・県立半田高等学校

平成9・10年度

- ・県立小坂井高等学校

平成11年度以後指定なし

- ・選択制導入に伴う評価について

- ・生徒が主体的・意欲的に取り組む体育授業のあり方

- ・生徒が意欲的に取り組む体力つくりのあり方について
- ― 体育授業の中で自ら進んでおこなう体力つくり―

- ・本校における体育的行事の実践について
- ― 教育目標の具現化を目指して―

- ・新指導要領における「体育の選択制授業」のあり方について
- ― 選択制授業の導入実践―

- ・選択制授業の展開について
- ― より進んだ生徒選択による授業の展開及びそれに伴う新しい評価の考え方―

- ・選択制授業の充実を目指して
- ― 選択制授業における男女共習の展開とその評価について―

- ・男女共習授業における指導法の改善と評価

令和5年度

学 校 体 育 報 告 書

発行 愛知県教育委員会

(担当 保健体育課)